

# 令和2年 消防年報

FIRE SERVICE ANNUAL REPORT 2020



津波・大規模風水害対策車(令和2年8月 納車)



津波・大規模風水害対策車に積載されている「水陸両用バギー」

## 久留米広域消防本部

(令和3年度発行)

## はじめに

この消防年報は、当消防本部が管轄する4市2町の現勢、当消防本部の消防力の現状及び令和2年中の災害統計等を広く紹介するとともに、将来の消防行政の基本資料とするために編集したものです。

統計資料は暦年、予算に関する事項は会計年度、それ以外は各表に記した年月日現在の内容を表しています。

消防防災関係機関をはじめ、多くの皆さまに当消防行政をご理解いただく一助となれば幸いです。

令和3年8月

久留米広域消防本部

### 「やすらぎの鐘」

この半鐘は、直径45cm、高さ77cm、重さ60kgの青銅製で、明治21年に植木政則氏によって作成されたものです。

愛称「やすらぎの鐘」は、消防庁舎のシンボルとして地上高25mの先端に位置し、皆さまの安全を見守り続けています。



— やすらぎの鐘 —





# 久留米広域市町村圏事務組合 久留米広域消防本部

昭和45年10月に設立した久留米広域市町村圏事務組合は、圏域の一体的な発展に資する事業を展開してきましたが、平成21年4月の久留米市消防本部と福岡県南広域消防組合消防本部の統合に伴い新たに消防事務が追加され、久留米広域消防本部による消防行政を開始しました。

組合章は、久留米広域の「久」の字をデザイン化したもので、青色は母なる川「筑後川」、緑色は緑豊かな「筑後平野」、赤色は圏域住民の活力と発展そして郷土を愛する情熱と団結を表したものです。

## ～ 構成市町章 ～



久 留 米 市



大 川 市



小 郡 市



う き は 市

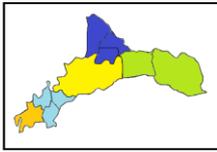


大 刀 洗 町



大 木 町

# 一 目 統 計



**管内面積**  
467.83 k㎡



**管内人口**  
455,898人



**管内世帯**  
198,122世帯



**消防本部の位置**  
東経130° 31' 08"  
北緯 33° 19' 13"



**消防予算**  
49億7千7百万円



**署・所**  
1本部5署7出張所



**職員数**  
定数 464人  
実員 430人



**団員数**  
定員 2,969人  
実員 2,774人



**ポンプ車等**  
ポンプ車 15台  
水槽付ポンプ車 10台  
指揮車 5台  
ホース延長車 4台  
資材搬送車 5台



**主な特殊車両**  
化学車 1台  
はしご車 4台  
救助工作車 6台  
大型水槽車 1台  
支援車 3台  
津波・大規模風水害対策車 1台



**救急車**  
救急車 20台



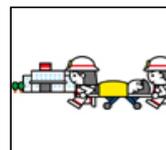
**水 利**  
消火栓 5,191基  
防火水槽 1,466基  
その他 647基



**119受信件数**  
26,322件



**火 災**  
1位 たき火 15件  
2位 電灯・電話等の配線 10件  
3位 こんろ 7件



**救 急**  
出場件数 19,243件  
搬送人員 18,099人



**救 助**  
出場件数 305件  
救助人員 323人



**防火対象物数**  
19,661件  
(うち防火管理者が必要な対象物)  
3,773件



**危険物数**  
製造所 8件  
貯蔵所 557件  
取扱所 358件



**建築同意数**  
682件  
(令和2年度)



**関係団体数**  
消防設備士会 74事業所  
防災協会 1,295事業所  
女性防火クラブ 33クラブ  
幼年消防クラブ 121団体  
少年消防クラブ 3団体

# 目 次

## 総務編

管内の概要	1
管轄署所配置図	2
消防署所の現状	3
組織系統図	5
消防吏員等の配置状況	6
職員の階級別年齢	7
職員の階級別勤続年数	7
職員研修派遣状況	8
職員の資格・免許保有状況	9
消防力の整備指針と現有消防力の比較	9
久留米広域消防本部予算	10
構成市町別負担金	10
久留米広域消防音楽隊	11

## 予防編

防火対象物の状況	12
防火対象物査察状況	13
防火管理者の選任状況	14
防火管理者資格取得講習会受講者数	15
消防同意等の状況	16
危険物施設査察状況	17
危険物規制事務処理状況	18
政令・条例に基づく事務処理状況	19
関係団体の状況	20

## 警防編

消防車両等配置状況	21
救助資機材保有状況	22
緊急消防援助隊の登録隊数	23
消防水利の現況	24

## 通信編

消防通信指令業務の共同運用の概要	25
消防指令システム及び無線運用イメージ図 (デジタル無線回線構成図)	26
1 1 9 受信状況 (構成市町等別)	27
1 1 9 受信状況 (月別)	28
気象状況	29

## 火災統計

火災の概要	30
火災発生状況	32
過去5年間の火災発生状況	33
過去5年間の火災発生状況 (構成市町別)	34
月別火災発生状況	40
火災種別・出火原因別件数	41
構成市町別・出火原因別件数	42
月別・出火原因別件数	43
校区別・火災種別件数	44
月別・火災種別件数	46
曜日別・火災種別件数	47

時間帯別・火災種別件数	48
その他の災害出動状況	49

## 救急統計

救急の概要	50
事故種別出動件数	52
署別出動件数	52
構成市町別出動件数	52
出動件数・搬送人員の推移	53
救急搬送時間の推移	53
事故種別・月別出動件数・搬送人員	54
事故種別・曜日別出動件数・搬送人員	55
事故種別・時間帯別出動件数・搬送人員	56
事故種別・傷病程度別搬送人員	57
事故種別・年齢区分別搬送人員	57
事故種別・性別搬送人員	57
年齢区分別・傷病程度別搬送人員	58
署所別出動件数・搬送人員	59
事故種別応急処置状況	60
事故種別・校區別出動件数	61
普通救命講習実施状況	63
普通救命講習受講者の推移	63

## 救助統計

救助の概要	64
事故種別出動件数	65
署別出動件数	65
構成市町別出動件数	65

月別出動件数	66
曜日別出動件数	66
時間帯別出動件数	67
傷病程度別救出人員	68
年齢別救出人員	68
救出時間別人員	68
校區別出動件数	69

## 資料編

歴代消防長	71
消防本部沿革	73
消防本部施策概要	94
消防本部・消防署の事務分掌	96
久留米広域消防本部管内消防団の概要	98
構成市町消防団配置図	98
構成市町消防団組織系統図	99

# 總務編

## 管内の概要

当消防本部は九州の北部、福岡県南西部に位置（東経 130 度 31 分 08 秒、北緯 33 度 19 分 13 秒）し、東西に連なる耳納の山々から望む管内は、有明海に注ぐ九州一の大河筑後川が貫流し、筑後川に沿って広大な筑紫平野が広がる温暖で四季の変化に富んだ気候風土に恵まれた地域です。

管内の中心都市である中核市久留米市は、城下町から軍都、ゴム工業都市、さらには近代商工業都市として発展し、福岡県南部地域の産業・経済・文化の拠点都市として位置付けられています。

管内の構成市町は、この久留米市を中心に、豊かな自然を持ち、歴史的資源にも恵まれ、フルーツや苗木などの主産地である東部エリア（うきは市、久留米市田主丸地区）、都市圏からの人口流入による都市化傾向が見られ、多様な野菜、園芸作物の生産が盛んな北部エリア（小郡市、大刀洗町、久留米市北野地区）、農業地帯としての特色を持ち、木工関連産業及び酒造業などの伝統的地場産業が盛んな西部エリア（大川市、大木町、久留米市城島・三潴地区）といった特色が豊かな4市2町で形成されています。

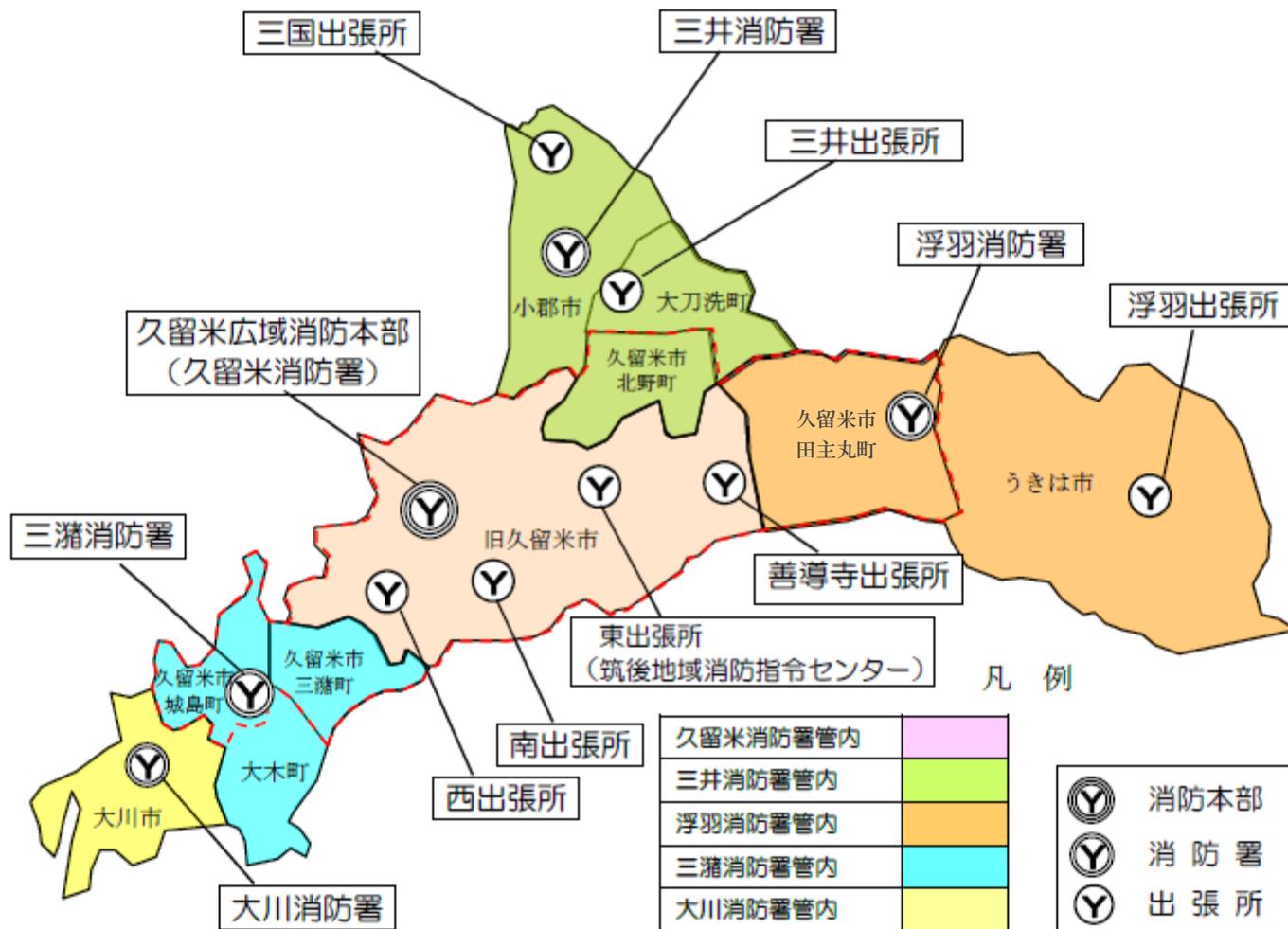
また、筑後川によって形成された肥沃な沖積地では、米・麦のほか多種類の野菜や果物の生産が盛んであり、県内でも有数の生産地となっています。

（令和3年1月1日現在）

	面積 (k m <sup>2</sup> )	人口 (人)	世帯数 (世帯)
久留米市	229.96	304,131	137,233
大川市	33.62	33,376	13,799
小郡市	45.51	59,584	24,971
うきは市	117.46	28,892	11,213
大刀洗町	22.84	15,828	5,802
大木町	18.44	14,087	5,104
合計	467.83	455,898	198,122

# 管轄署所配置図 (5 署 7 出張所)

令和3年4月1日現在



# 消防署所の現状

令和3年4月1日現在



## 久留米広域消防本部・久留米消防署

所在地	久留米市東櫛原町999番地1
敷地面積	3,300.74m <sup>2</sup>
建築面積	1,052.42m <sup>2</sup>
延面積	3,564.72m <sup>2</sup>
建築年月日	平成6年10月1日



## 東出張所（筑後地域消防指令センター）

所在地	久留米市山川杢形町3番15号
敷地面積	2,326.73m <sup>2</sup>
建築面積	(庁舎) 624.61m <sup>2</sup> (訓練塔) 71.86m <sup>2</sup>
延面積	(庁舎) 2,721.02m <sup>2</sup> (訓練塔) 238.39m <sup>2</sup>
建築年月日	平成26年11月28日



## 南出張所

所在地	久留米市上津1丁目5番20号
敷地面積	1,443.77m <sup>2</sup>
建築面積	561.50m <sup>2</sup>
延面積	793.96m <sup>2</sup>
建築年月日	平成10年7月1日



## 西出張所

所在地	久留米市大善寺町宮本96番地44
敷地面積	936.00m <sup>2</sup>
建築面積	399.46m <sup>2</sup>
延面積	815.49m <sup>2</sup>
建築年月日	平成16年11月1日



## 善導寺出張所

所在地	久留米市善導寺町島188番地1
敷地面積	2,510.76m <sup>2</sup>
建築面積	653.5m <sup>2</sup>
延面積	928.76m <sup>2</sup>
建築年月日	平成28年12月20日



## 三井消防署

所在地	小郡市大板井279番地2
敷地面積	4,828.35m <sup>2</sup>
建築面積	705.09m <sup>2</sup>
延面積	1,083.07m <sup>2</sup>
建築年月日	昭和47年8月1日



### 三井出張所

所在地	三井郡大刀洗町大字下高橋381番地1
敷地面積	7,974.97㎡
建築面積	(庁舎) 666.50㎡ (訓練塔) 42.00㎡
延面積	(庁舎) 888.92㎡ (訓練塔) 126.00㎡
建築年月日	平成13年2月28日



### 三国出張所

所在地	小郡市三沢4626番地5
敷地面積	3,318.97㎡
建築面積	283.01㎡
延面積	395.86㎡
建築年月日	昭和63年11月1日



### 浮羽消防署

所在地	久留米市田主丸町鷹取682番地1
敷地面積	4,550.41㎡
建築面積	672.36㎡
延面積	1,061.70㎡
建築年月日	昭和47年8月1日



### 浮羽出張所

所在地	うきは市浮羽町東隈上419番地7
敷地面積	4,194.00㎡
建築面積	381.04㎡
延面積	381.04㎡
建築年月日	昭和48年5月1日



### 三潯消防署

所在地	久留米市城島町江上上165番地1
敷地面積	7,449.00㎡
建築面積	1,236.39㎡
延面積	1,681.17㎡
建築年月日	平成30年2月13日



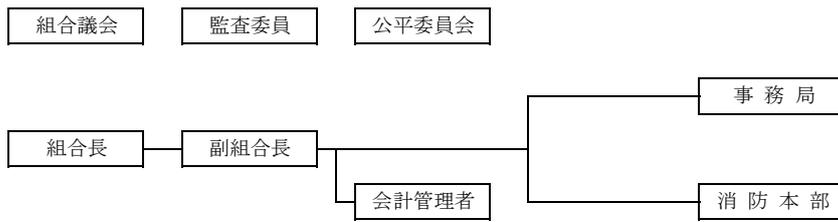
### 大川消防署

所在地	大川市大字郷原483番地5
敷地面積	2,980.42㎡
建築面積	367.88㎡
延面積	979.60㎡
建築年月日	昭和48年3月15日

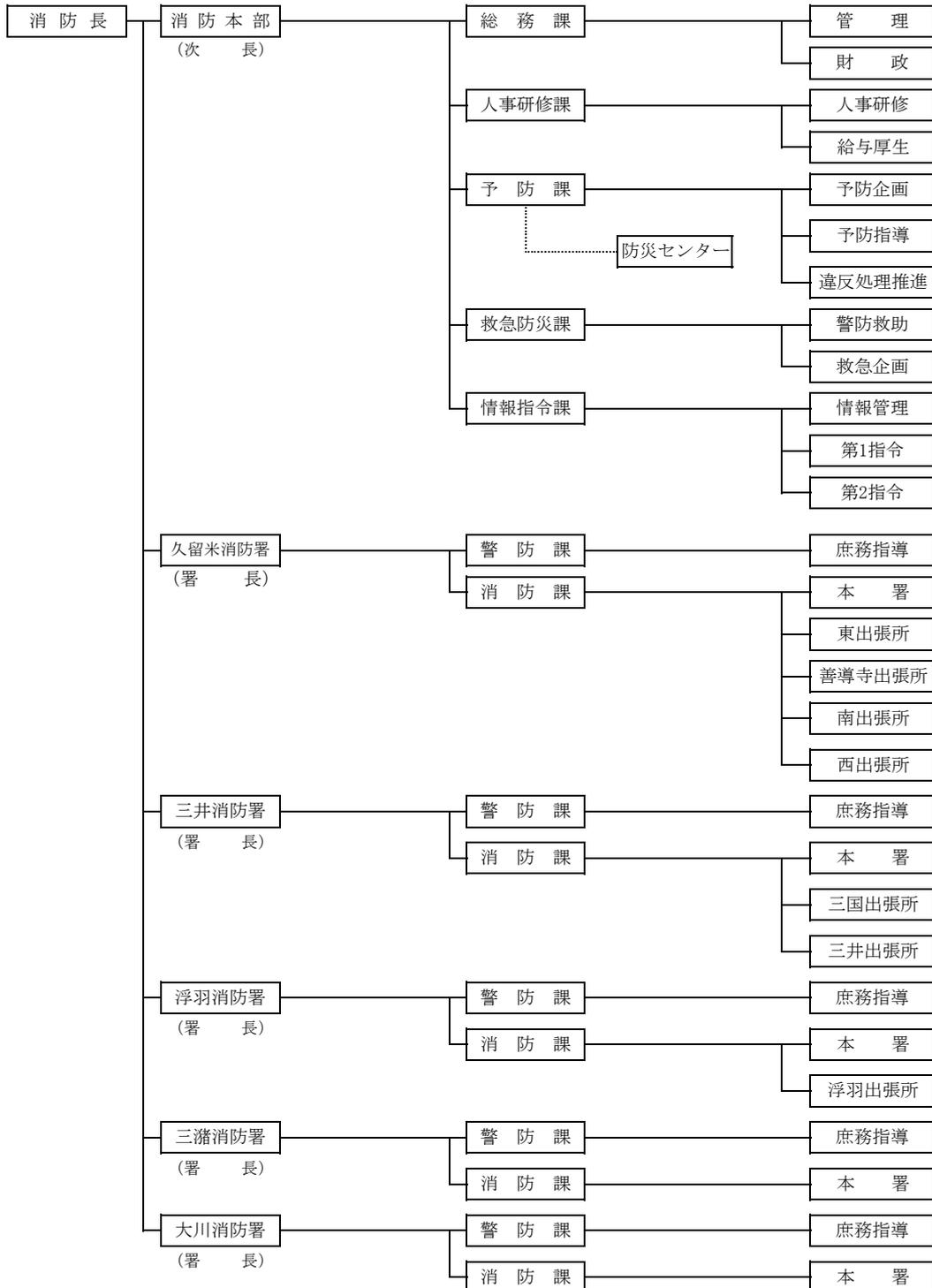
# 組織系統図

令和3年4月1日現在

## 1 久留米広域市町村圏事務組合の組織



## 2 久留米広域消防本部の組織



# 消防吏員等の配置状況

(令和3年4月1日現在)

階 級		消 防 正 監	消 防 監	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	小 計	消 防 職 員	任 会 用 計 職 年 員 度	
所 属													
久留米広域市町村圏事務組合 事務局											2		
消 防 本 部	消 防 長	1								1			
	次 長		1							1			
	総 務 課		1		4	1	3			9		3	
	人 事 研 修 課 (付職員)			1	3	1	3		(12)	16		1	
	予 防 課			1	7	1	6		2	17		4	
	救 急 防 災 課			2	9	5	2			18	1		
	情 報 指 令 課		1		8	4	5	1		19			
小 計		1	3	4	31	12	19	1	14	85	1	8	
久 留 米 消 防 署	署 長		1							1			
	警 防 課			1	2	2	2			7		1	
	消防課 (第1・第2)	本 署			4	2	6	15	1	12	40		
		東 出 張 所				6	8	15		5	34		
		善 導 寺 出 張 所				4	4	4	1	5	18		
		南 出 張 所				6	2	10		6	24		
	西 出 張 所				4	4	7		3	18			
小 計		0	1	5	24	26	53	2	31	142	0	1	
三 井 消 防 署	署 長		1							1			
	警 防 課				2		1			3			
	消防課 (第1・第2)	本 署			2	6	9	11	1	5	34		
		三 国 出 張 所				4	2	5	1	4	16		
		三 井 出 張 所			1	4	3	6		4	18		
小 計		0	1	3	16	14	23	2	13	72	0	0	
浮 羽 消 防 署	署 長		1							1			
	警 防 課				2	1				3		1	
	消防課 (第1・第2)	本 署			2	6	6	14	2	4	34		
		浮 羽 出 張 所				4	4	5		3	16		
小 計		0	1	2	12	11	19	2	7	54	0	1	
三 瀧 消 防 署	署 長		1							1			
	警 防 課				2				1	3		1	
	消防課 (第1・第2)	本 署		2	6	6	13		7	34			
	小 計		0	1	2	8	6	13	0	8	38	0	1
大 川 消 防 署	署 長		1							1			
	警 防 課				2		1			3			
	消防課 (第1・第2)	本 署		2	6	6	17		7	38			
	小 計		0	1	2	8	6	18	0	7	42	0	0
合 計		1	8	18	99	75	145	7	80	433	3	11	

※ 合計欄433人は、実員430人に再任用短時間勤務の消防吏員5名を含み、久留米広域市町村圏事務組合事務局職員2人を除いた数

## 職員の階級別年齢

(令和3年4月1日現在)

階級 年齢	消 正	防 監	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	計
30歳未満							12	2	78	92
30歳～・ 40歳未満					4	40	101	3	2	150
40歳～・ 50歳未満				1	58	34	22	2		117
50歳以上	1		8	17	38	1	11			76
計	1		8	18	100	75	146	7	80	435
平均年齢	58.0		58.6	54.7	48.2	39.8	36.1	35.8	24.6	38.7

## 職員の階級別勤続年数

(令和3年4月1日現在)

階級 年数	消 正	防 監	消防監	消 防 司令長	消 防 司 令	消 防 司令補	消 防 士 長	消 防 副士長	消防士	計
10年未満			1		3		32	4	80	120
10年～・ 20年未満					10	47	87	1		145
20年～・ 30年未満				2	54	27	18	2		103
30年以上	1		7	16	33	1	9			67
計	1		8	18	100	75	146	7	80	435
平均年数	36.0		34.0	35.7	26.4	18.7	14.4	13.5	4.0	17.3

※ 各表の合計欄435人は、実員430人に再任用短時間勤務の消防吏員5人を含んだ数

## 職員研修派遣状況

区分	研修機関	研修内容	平成30年度	令和元年度	令和2年度
学 校	消防大学校	上級幹部科			
		幹部科			
		新任消防長・学校長科			
		警防科		1	
		予防科			
		救急科	1		
		救助科	1		
		火災調査科	1	1	
		危険物科			
		高度救助・特別高度救助コース	1		
		NBCコース			
		査察業務マネジメントコース			
		女性消防吏員活躍推進講習会			
		教 育	福岡県消防学校	初任教育	10
初級幹部科（A）	2			4	1
初級幹部科（B）	2			3	1
中級幹部科				2	
上級幹部科	1				1
特殊災害科				2	
救助科				6	
救急科	12			10	9
予防科					
危険物科	3				
予防査察科					
火災調査科				5	
消防操法指導者研修会	8				
警防実務研修	2			3	
はしご自動車教育	3				
救急救命士処置拡大講習	7	7			
そ の 他	救急救命研修所	救急救命士	3	3	3
		指導救命士養成研修	2	2	1
	福岡県市町村職員研修所		11	13	6
	安全運転中央研修所	消防・救急緊急自動車運転技能者課程	1	1	0
計			71	72	31

## 職員の資格・免許保有状況

(令和3年4月1日現在)

資格・免許の種類	保有者数
救急標準課程（Ⅱ課程含む）	279
救 急 救 命 士	111
自動車運転免許（大 型）	262
自動車運転免許（中 型）	98
自動車運転免許（8トン限定）	33
自動車運転免許（普 通）	17
小 型 船 舶 操 縦 士	183
潜 水 士	325
移 動 式 ク レ ー ン	220
玉 掛 け	228
特 殊 無 線 技 士	200
高圧ガス製造保安責任者	16
特定化学物質等作業主任者	19
衛 生 管 理 者	33

## 消防力の整備指針と現有消防力の比較

区 分	指 針	現 有	充 足 率
署所の数	14署所	12署所	85.7%
消防隊員数	685人	433人	63.2%
消防ポンプ 自動車	ポンプ車	11台	95.2%
	タンク車	9台	
化学車	1台	1台	100.0%
はしご車	5台	4台	80.0%
救助工作車	5台	5台	100.0%
救急自動車	17台	17台	100.0%
指揮車	5台	5台	100.0%
非常用消防ポンプ自動車	5台	5台	100.0%
非常用救急自動車	4台	3台	75.0%
消防水利	5499箇所	4462箇所	81.1%

※ 「消防力の整備指針と現有消防力の比較」の数値は、令和元年度消防施設整備計画実態調査の調査結果

## 令和3年度 久留米広域消防本部 予算

歳入

(単位:千円)

	令和3年度	令和2年度	増減
分担金及び負担金	4,512,449	5,194,526	△ 682,077
使用料及び手数料	3,850	3,850	0
国庫支出金	1	1	0
県支出金	1	1	0
財産収入	2,519	741	1,778
繰入金	1	108,008	△ 108,007
繰越金	348,455	230,451	118,004
諸収入	28,324	27,922	402
組合債	81,400	915,500	△ 834,100
歳入合計	4,977,000	6,481,000	△ 1,504,000

歳出

(単位:千円)

	令和3年度	令和2年度	増減
消 防 費	4,432,640	5,981,388	△ 1,548,748
常備消防費	4,210,796	5,273,919	△ 1,063,123
消防施設費	221,844	707,469	△ 485,625
公 債 費	394,360	349,161	45,199
予 備 費	150,000	150,451	△ 451
歳 出 合 計	4,977,000	6,481,000	△ 1,504,000

## 令和3年度 構成市町別負担金

《市町負担金内訳》

(単位:千円)

負担金種別	久留米市	大川市	小郡市	うきは市	大刀洗町	大木町	合計	
経常費負担金	2,553,573	401,716	444,423	331,130	153,486	128,271	4,012,599	
特別負担金	退職手当特別負担金 (旧県南職員)	31,747	/	20,501	16,844	7,707	6,415	83,214
	退職手当特別負担金 (第一広域化後)	46,198	/	7,901	5,965	2,780	2,307	65,151
	地域医療連携事業 特別負担金	3,490	/	/	/	/	/	3,490
	現給保障特別負担金 (大川市派遣職員)	/	6,201	/	/	/	/	6,201
	特殊車両整備事業 特別負担金	46,173	0	0	0	0	0	46,173
	3市2町に係る組合債 元利償還特別負担金	43,947	/	7,515	5,674	2,645	2,195	61,976
	投資的経費に係る組合債 元利償還特別負担金	119,041	/	18,635	233	4,869	21,522	164,300
合計	2,844,169	407,917	498,975	359,846	171,487	160,710	4,443,104	

## 久留米広域消防音楽隊

久留米広域消防音楽隊は、前身の久留米市消防音楽隊として音楽演奏による防火・防災広報を目的に昭和54年6月に発足しました。管内の各地域で行われる行事、小学校での演奏など、幅広い活動を展開しています。



### 令和2年度 音楽隊出場状況

出場先	回数
消 防 関 係	0
構 成 市 町 関 係	0
学 校 関 係	0
そ の 他	0
合 計	0

演奏形式	回数
式 典	0
ス テ ー ジ 演 奏	0
パ レ ー ド	0
そ の 他	0
合 計	0

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、出場なし。

予 防 編

# 防火対象物の状況

(令和2年4月1日)

用途(項)			区分		対象物総数 (R2.4.1現在)		久留米消防署		三井消防署		浮羽消防署		三潞消防署		大川消防署	
			棟数	敷地数	棟数	敷地数	棟数	敷地数	棟数	敷地数	棟数	敷地数	棟数	敷地数	棟数	敷地数
1	イ	劇場・映画館・観覧場等	25	11	18	4	2	2	3	3	1	1	1	1		
	ロ	公会堂・集会場	225	194	111	99	41	34	32	28	24	18	17	15		
2	イ	キャバレー・クラブ等	3	3	3	3										
	ロ	遊技場・ダンスホール	37	30	23	18	8	6	2	2			4	4		
	ハ	風俗営業関係														
	ニ	カラオケボックス等	16	13	8	7	2	2	2	2	1	1	3	1		
3	イ	待合・料理店等	18	15	11	8	2	2	1	1	1	1	3	3		
	ロ	飲食店	816	784	464	450	87	77	117	110	28	27	120	120		
4		百貨店・店舗・マーケット	837	774	481	448	109	96	104	92	51	46	92	92		
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	152	78	65	44	51	6	28	22			8	6		
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	5,491	4,051	4,090	3,035	737	537	249	163	224	160	191	156		
6	イ	(1) 特定診療科名を有する病院等	69	26	57	18	5	3	3	2	2	1	2	2		
		(2) 特定診療科名を有する有床診療所等	29	29	14	14	6	6	4	4	2	2	3	3		
		(3) (1)、(2)以外の病院、有床診療所及び有床助産所	132	46	95	27	19	10	13	5	2	2	3	2		
		(4) 無床診療所及び無床助産所	353	340	212	205	58	56	35	33	22	22	26	24		
	ロ	(1) 特別養護老人ホーム等	259	210	132	108	40	33	19	18	43	31	25	20		
		(2) 救護施設														
		(3) 乳児院	1	1			1	1								
		(4) 障害児入所施設	1				1									
		(5) 障害者支援施設等	51	29	18	10	12	9	6	2	14	7	1	1		
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター等	115	100	57	53	22	18	18	15	7	7	11	7		
		(2) 更生施設														
		(3) 保育所等	220	142	115	71	45	27	19	16	20	13	21	15		
		(4) 児童発達支援センター等	27	22	10	10	10	6	4	4	2	1	1	1		
		(5) 身体障害者福祉センター等	107	78	35	32	34	19	20	13	6	4	12	10		
	ニ	幼稚園・特別支援学校	83	36	51	23	18	7	4	3	8	3	2			
	7		小中高大学・専修学校等	726	153	404	71	118	28	90	22	58	16	56	16	
8		図書館・美術館等	20	12	5	4	5	2	4	1	3	3	3	2		
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等	8	6	1	1					2	2	5	3		
	ロ	イ以外の公衆浴場	27	4	5	2	2		20	2						
10		停車場・航空機等の発着場	1	1			1	1								
11		神社・寺院・教会等	343	236	170	124	85	54	41	18	32	26	15	14		
12	イ	工場・作業場	2,358	1,481	1,027	578	271	195	351	213	359	228	350	267		
	ロ	映画・テレビスタジオ														
13	イ	自動車庫車・駐車場	174	103	87	71	34	9	46	20	3	2	4	1		
	ロ	飛行機等の格納庫														
14		倉庫	1,916	1,159	698	524	278	125	351	127	202	137	387	246		
15		前各項に該当しない事務所	2,139	1,315	1,097	726	464	296	337	138	115	74	126	81		
16	イ	特定複合用途防火対象物	1,670	1,400	1,143	904	212	202	155	142	89	79	71	73		
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	1,169	934	911	728	91	73	72	56	65	51	30	26		
16-2		地下街														
16-3		準地下街														
17		文化財等	40	23	25	11	5	3	5	4			5	5		
18		アーケード(50m以上)	3	3	3	3										
19		市町村長の指定する山林														
20		総務省令で定める舟車														
合計			19,661	13,842	11,646	8,434	2,876	1,945	2,155	1,281	1,386	965	1,598	1,217		

# 防火対象物査察状況

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

用途(項)	区分	対象物数 (棟数) (R2.4.1現在)	査察数 (棟数)	久留米消防署		三井消防署		浮羽消防署		三潁消防署		大川消防署		
				対象物数	査察数	対象物数	査察数	対象物数	査察数	対象物数	査察数	対象物数	査察数	
1	イ	劇場・映画館・観覧場等	25	1	18		2		3		1		1	1
	ロ	公会堂・集会場	225	66	111	27	41	14	32	8	24	8	17	9
2	イ	キャバレー・クラブ等	3		3									
	ロ	遊技場・ダンスホール	37	9	23	3	8	4	2				4	2
	ハ	風俗営業関係												
	ニ	カラオケボックス等	16	6	8	5	2	1	2		1		3	
3	イ	待合・料理店等	18		11		2		1		1		3	
	ロ	飲食店	816	5	464	2	87	1	117	1	28		120	1
4		百貨店・店舗・マーケット	837	135	481	63	109	23	104	23	51	11	92	15
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	152	40	65	24	51	10	28	4			8	2
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	5,491	437	4,090	183	737	71	249	41	224	129	191	13
6	イ	(1) 特定診療科名を有する病院等	69	10	57	8	5	2	3		2		2	
		(2) 特定診療科名を有する有床診療所等	29	9	14	4	6	5	4		2		3	
		(3) (1)、(2)以外の病院、有床診療所及び有床助産所	132	20	95	15	19	5	13		2		3	
		(4) 無床診療所及び無床助産所	353	29	212	22	58	7	35		22		26	
	ロ	(1) 特別養護老人ホーム等	259	75	132	52	40	20	19		43	2	25	1
		(2) 救護施設												
		(3) 乳児院	1	1			1	1						
		(4) 障害児入所施設	1				1							
		(5) 障害者支援施設等	51	6	18		12	5	6		14	1	1	
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター等	115	15	57	11	22	4	18		7		11	
		(2) 更生施設												
		(3) 保育所等	220	67	115	41	45	18	19	3	20	4	21	1
		(4) 児童発達支援センター等	27	9	10	2	10	5	4	1	2	1	1	
		(5) 身体障害者福祉センター等	107	21	35	9	34	9	20	3	6		12	
	ニ	幼稚園・特別支援学校	83	24	51	14	18	5	4	3	8	2	2	
7		小中高大学・専修学校等	726	97	404	86	118		90		58	11	56	
8		図書館・美術館等	20	1	5		5		4		3	1	3	
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等	8	1	1	1					2		5	
	ロ	イ以外の公衆浴場	27	2	5		2	1	20	1				
10		停車場・航空機等の発着場	1				1							
11		神社・寺院・教会等	343	46	170	31	85	14	41	1	32		15	
12	イ	工場・作業場	2,358	429	1,027	193	271	34	351	90	359	61	350	51
	ロ	映画・テレビスタジオ												
13	イ	自動車車庫・駐車場	174	27	87	8	34	11	46	6	3		4	2
	ロ	飛行機等の格納庫												
14		倉庫	1,916	395	698	140	278	42	351	96	202	42	387	75
15		前各項に該当しない事務所	2,139	552	1,097	440	464	23	337	57	115	8	126	24
16	イ	特定複合用途防火対象物	1,670	284	1,143	184	212	52	155	20	89	7	71	21
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	1,169	117	911	88	91	11	72	8	65	5	30	5
16-2		地下街												
16-3		準地下街												
17		文化財等	40	25	25	18	5		5	1			5	6
18		アーケード(50m以上)	3	3	3	3								
19		市町村長の指定する山林												
20		総務省令で定める舟車												
合 計			19,661	2,964	11,646	1,677	2,876	398	2,155	367	1,386	293	1,598	229

# 防火管理者の選任状況

(令和3年3月31日)

用途 (項)	区分	法第8条 該当対象物	届出済 対象物	久留米消防署		三井消防署		浮羽消防署		三潁消防署		大川消防署		
				法第8条 該当対象物	届出済 対象物									
1	イ	劇場・映画館・観覧場等	11	11	4	4	2	2	3	3	1	1	1	1
	ロ	公会堂・集会場	182	174	87	80	34	34	29	28	18	18	14	14
2	イ	キャバレー・クラブ等	3	2	3	2								
	ロ	遊技場・ダンスホール	26	25	18	17	5	5					3	3
	ハ	風俗営業関係												
	ニ	カラオケボックス等	11	11	7	7	2	2	1	1			1	1
3	イ	待合・料理店等	12	12	6	6	2	2	1	1			3	3
	ロ	飲食店	342	256	245	188	30	25	44	26	5	3	18	14
4		百貨店・店舗・マーケット	457	359	233	184	59	52	65	51	36	29	64	43
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	55	54	34	34	4	4	11	10			6	6
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	520	426	399	329	57	51	14	8	15	12	35	26
6	イ	(1) 特定診療科名を有する病院等	25	25	17	17	3	3	2	2	1	1	2	2
		(2) 特定診療科名を有する有床診療所等	27	27	15	15	4	4	4	4	2	2	2	2
		(3) (1)、(2)以外の病院、有床診療所及び有床助産所	41	41	24	24	10	10	4	4	1	1	2	2
		(4) 無床診療所及び無床助産所	38	38	22	22	7	7	5	5	1	1	3	3
	ロ	(1) 特別養護老人ホーム等	207	205	104	103	32	32	19	18	33	33	19	19
		(2) 救護施設												
		(3) 乳児院	1	1			1	1						
		(4) 障害児入所施設												
		(5) 障害者支援施設等	24	24	7	7	9	9	2	2	5	5	1	1
	ハ	(1) 老人デイサービスセンター等	50	48	26	25	8	8	9	9	3	3	4	3
		(2) 更生施設												
		(3) 保育所等	131	128	65	65	26	23	14	14	12	12	14	14
		(4) 児童発達支援センター等												
		(5) 身体障害者福祉センター等	23	21	7	7	7	5	4	4	2	2	3	3
	ニ	幼稚園・特別支援学校	34	34	21	21	7	7	3	3	3	3		
	7		小中高大学・専修学校等	148	134	68	60	30	27	20	19	15	15	15
8		図書館・美術館等	10	10	4	4	2	2	1	1	1	1	2	2
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等	3	3	1	1							2	2
	ロ	イ以外の公衆浴場	5	5	2	2			3	3				
10		停車場・航空機等の発着場												
11		神社・寺院・教会等	151	125	80	75	35	24	15	11	11	9	10	6
12	イ	工場・作業場	94	87	47	44	16	15	19	18	7	7	5	3
	ロ	映画・テレビスタジオ												
13	イ	自動車車庫・駐車場	1	1	1	1								
	ロ	飛行機等の格納庫												
14		倉庫	30	27	14	13	7	7	4	3	4	4	1	
15		前各項に該当しない事務所	395	349	220	197	73	66	49	40	21	21	32	25
16	イ	特定複合用途防火対象物	621	458	411	286	72	57	56	46	35	34	47	35
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	84	71	68	60	6	4	7	6			3	1
16-2		地下街												
16-3		準地下街												
17		文化財等	11	10	2	2	1	1	3	3			5	4
18		アーケード (50m以上)												
19		市町村長の指定する山林												
20		総務省令で定める舟車												
合 計			3,773	3,202	2,262	1,902	551	489	411	343	232	217	317	251

## 防火管理者資格取得講習会受講者数（過去5ヵ年）

### 久留米広域消防本部

年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度 <sup>※</sup>
新規	講習会（回）	5	5	5	5	1
	受講者（人）	453	457	487	475	62
再講習	講習会（回）	1	1	1	1	
	受講者（人）	40	45	65	52	

※ 新型コロナウイルス感染症の影響により、講習会を中止したため開催回数が減少。

### 大川市消防本部

年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度
新規	講習会（回）	1	1	1
	受講者（人）	25	18	19
再講習	講習会（回）		1	
	受講者（人）		15	

# 消防同意等の状況

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

用途(項)		管轄署	計	久留米消防署	三井消防署	浮羽消防署	三潞消防署	大川消防署
1	イ	劇場・映画館・観覧場等						
	ロ	公会堂・集会場	5	3		1		1
2	イ	キャバレー・クラブ等						
	ロ	遊技場・ダンスホール						
	ハ	風俗営業関係						
	ニ	カラオケボックス等						
3	イ	待合・料理店等	1					1
	ロ	飲食店	5	4	1			
4		百貨店・店舗・マーケット	20	11	6	2	1	
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所	1			1		
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	49	33	10	2		4
6	イ	病院・診療所	17	15	1	1		
	ロ	老人短期	8	4	3	1		
	ハ	デイサービス	24	9	7	4		4
	ニ	幼稚園	2	1			1	
7		小中高大学・専修学校等	9	7	1		1	
8		図書館・美術館等						
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場等						
	ロ	イ以外の公衆浴場	1	1				
10		停車場・航空機等の発着場						
11		神社・寺院・教会等	7	3	2		1	1
12	イ	工場・作業場	28	11	6	7	1	3
	ロ	映画・テレビスタジオ						
13	イ	自動車車庫・駐車場	5	2	1	1		1
	ロ	飛行機等の格納庫						
14		倉庫	43	12	12	9	7	3
15		前各項に該当しない事務所	100	49	23	17	6	5
16	イ	特定複合用途防火対象物	15	12		2		1
	ロ	イ以外の複合用途防火対象物	4	3				1
17		文化財等						
上記以外			153	60	40	36	15	2
専用住宅			185	144	25	6	3	7
小計			682	384	138	90	36	34
消防通知			1,651					
合計			2,333					

※ 事務処理については、消防本部（予防課）で実施

# 危険物施設査察状況

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

製造所の別		施設数 (R2.4.1現在)	査察数	久留米消防署		三井消防署		浮羽消防署		三瀬消防署		大川消防署	
				施設数	査察数	施設数	査察数	施設数	査察数	施設数	査察数	施設数	査察数
製造所		8	2	4	1	1	1			3			
貯蔵所	屋内貯蔵所	123	53	57	14	10	10	20	18	12	1	24	10
	屋外タンク貯蔵所	102	50	45	15	10	10	24	23	21	2	2	
	屋内タンク貯蔵所	20	9	12	4	1		6	5			1	
	地下タンク貯蔵所	195	52	106	36	28	6	26		16	4	19	6
	簡易タンク貯蔵所												
	移動タンク貯蔵所	107	49	60	21	11	10	7	7	14	6	15	5
	屋外貯蔵所	10	4	3	1	1		3	3	3			
取扱所	給油取扱所	190	68	82	34	34	11	30	2	18	10	26	11
	第1種販売取扱所	6	2	2				1	1	1	1	2	
	第2種販売取扱所	2	2									2	2
	移送取扱所												
	一般取扱所	160	61	79	27	24	19	26	4	16	6	15	5
合計		923	352	450	153	120	67	143	63	104	30	106	39

## 危険物規制事務処理状況

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

製造所等の別	事務処理状況														
	許可申請		完成検査		仮使用 承認	水圧 検査	水張 検査	仮貯蔵 仮取扱	廃止届	各種 届出					
	設置	変更	設置	変更											
製造所		1		1	67	3	19	68	15	378					
貯蔵所	屋内貯蔵所		3	4							3				2
	屋外タンク貯蔵所	4	1	1							1				
	屋内タンク貯蔵所	6	1								1				
	地下タンク貯蔵所		5	3							5				3
	簡易タンク貯蔵所	3													
	移動タンク貯蔵所		6	7							4				2
	屋外貯蔵所	6													
	小計	19	16	15							14				7
取扱所	給油取扱所	1	36	1							30				3
	第1種販売取扱所														
	第2種販売取扱所														
	移送取扱所														
	一般取扱所	8	34	3							37				5
	小計	9	70	4	67				8						
合計	28	87	19	82				15							
手数料金額	811,000	2,006,000	265,000	941,000	362,000	33,000	134,000	367,000							
手数料合計	4,919,000														

※ 手数料金額については、千円未満は四捨五入して表記

# 政令・条例に基づく事務処理状況

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

区 分		計	予防課	久留米消防署	三井消防署	浮羽消防署	三滝消防署	大川消防署
政 令 関 係	消防用設備等着工届出書	393	393					
	消防用設備等設置届出書	727	727					
	消防用設備等点検結果報告書	5,509		3,375	807	597	381	349
	防火(防災)管理者選解任届出書	507		316	69	51	35	36
	消防計画作成(変更)届出書	563		343	82	62	38	38
	統括防火(防災)管理者選解任届出書	2		2				
	全体についての消防計画作成(変更)届出書	1		1				
	自衛消防組織設置(変更)届出書	2		1		1		
	避難訓練等通知書	2,318		1,348	395	235	194	146
	防火対象物点検結果報告書	282		147	33	46	32	24
	防災管理点検結果報告書	17		16				1
	法9条の3関係届出	105		53	27	17		8
	り災証明願(発行数)	107(271)		59(129)	7(22)	21(71)	11(26)	9(23)
	小計	10,533	1,120	5,661	1,420	1,030	691	611
条 例 関 係	防火対象物使用開始届	368		182	74	54	28	30
	炉・厨房設備等設置届	75		31	10	19	7	8
	変電設備等設置届	93		42	18	21	10	2
	ネオン管灯設備設置届							
	水素ガス気球設置届							
	火災とまぎらわしい煙等の届	205		75	20	74	24	12
	煙火打上げ等届	52		8	22	9	11	2
	催物開催届							
	水道断水等届	5		1	3		1	
	道路工事届	377		169	7	97	82	22
	露店等の開設届出書	55		35	8	6	3	3
	少量危険物等届	73		19	10	28	12	4
	禁止行為の解除申請	21		20				1
小計	1,324		582	172	308	178	84	
合計	11,857	1,120	6,243	1,592	1,338	869	695	

## 関係団体の状況

令和3年4月1日

区分	目的・活動	団体名等
消防設備士会	<p>消防設備士会は、消防設備士の地位向上とその業務の進歩改善を促進し、もって消防設備士制度の発展を図り、社会公共の福祉に資することを目的として活動しています。</p> <p>筑後地区消防設備士会は、(一財)福岡県消防設備安全協会の構成団体としても、活動しています。</p>	<p>久留米消防設備士会 41 事業所 121 名</p> <p>浮羽消防設備士会 13 事業所 13 名</p> <p>大川市消防設備士会 18 事業所 18 名</p> <p>筑後地区消防設備士会 209 事業所 289 名</p> <p>9 部会 (久留米、大牟田、大川、筑後、浮羽、八女、柳川、みやま、朝倉)</p>
防災協会	<p>防災協会は、火災その他各種災害の予防対策及び研究並びに防火・防災の普及宣伝に寄与し、会員相互の融和及び親睦を図ることを目的として活動しています。</p> <p>石油、塗料、灯油等の危険物を取り扱う事業所や一般の事業所で構成されています。</p>	<p>久留米市防災協会連合会 4 部会 181 事業所</p> <p>三井・小郡地区防災協会 207 事業所</p> <p>浮羽地区防災協会 206 事業所</p> <p>三潞地区防災協会 8 部会 277 事業所</p> <p>大川市防災協会 32 部会 424 事業所</p>
女性(婦人)防火クラブ	<p>女性(婦人)防火クラブは、一般家庭の火災を予防する目的で設立されました。</p> <p>会員相互の融和及び親睦を図り、火災予防の普及に努めるとともに、あらゆる災害に対する知識を深め、安全・安心なまちづくりを目指して活動しています。</p>	<p>久留米市女性防火クラブ連合会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・久留米支部 27 クラブ 581 名</li> <li>・城島支部(久留米市城島町婦人防火クラブ) 97 名</li> </ul> <p>三井・小郡地区女性防火クラブ 355 名</p> <p>久留米市田主丸町婦人防火クラブ 270 名</p> <p>うきは市婦人防火クラブ 100 名</p> <p>三潞郡大木町婦人防火クラブ 12 名</p> <p>大川市女性防火クラブ 371 名</p>
幼年消防クラブ	<p>幼年消防クラブは、幼年期からの火災予防と幼年者を通じて家庭内の火災予防を両立させ、災害のない明るく住みよい、そして快適な地域のまちづくりを推進することを目的として活動しています。</p> <p>管轄内の公私立の保育園児及び幼稚園児を対象としたクラブです。</p>	<p>久留米市幼年消防クラブ連合会 48 団体 6,080 名</p> <p>三井・小郡地区幼年消防クラブ 27 団体 787 名</p> <p>浮羽地区幼年消防クラブ 16 団体 404 名</p> <p>三潞地区幼年消防クラブ 16 団体 1,603 名</p> <p>大川市幼年消防クラブ 14 団体 1,207 名</p>
少年消防クラブ	<p>少年消防クラブは、小学生の児童で構成され、団体活動を通して、クラブ員の相互の連帯、融和及び親睦を図るとともに、火災予防の普及に努め、災害のない明るく住みよいまちづくりを目的として、活動しています。</p>	<p>城島町少年消防クラブ 5 支部 167 名</p> <p>大木町大莞校区少年消防クラブ 1 支部 56 名</p> <p>大川市少年消防クラブ 47 名</p>

# 警 防 編

# 消防車両等配置状況

(令和3年4月1日)

種別 所属		合 計	ポ ン プ 車	タ ン ク 車	化 学 車	は し ご 車	救 助 工 作 車	救 急 車	指 揮 車	大 型 水 槽 車	風 津 水 波 害 ・ 大 規 模 車	ホ ー ス 延 長 車	広 報 車	資 材 搬 送 車	支 援 車	連 絡 車	訓 練 指 導 車
合 計		98	15	10	1	4	6	20	5	1	1	4	7	5	3	14	2
本 部		11											2			7	2
久留米消防署	本 署	10	1	1		2		2	1				1	1		1	
	東出張所	6	1	1			2	1			1						
	南出張所	6	1	1				3							1		
	西出張所	3	1		1			1									
	善導寺出張所	4	2					1				1					
	小 計	29	6	3	1	2	2	8	1		1	1	1	1	1	1	1
三井消防署	本 署	12	2	1		1	1	2	1				1	1	1	1	
	三井出張所	4	1	1				1							1		
	三国出張所	3		1				1				1					
	小 計	19	3	3		1	1	4	1			1	1	1	2	1	
浮羽消防署	本 署	14	2	1		1	1	2	1	1		1	1	1		2	
	浮羽出張所	3	1					1				1					
	小 計	17	3	1		1	1	3	1	1		2	1	1		2	
三瀨消防署		10	2	1			1	2	1				1	1		1	
大川消防署		12	1	2			1	3	1				1	1		2	

# 救助資機材保有状況

(令和3年4月1日)

種別	署	署					合計	種別	署	署					合計
		久留米消防署	三井消防署	浮羽消防署	三潞消防署	大川消防署				久留米消防署	三井消防署	浮羽消防署	三潞消防署	大川消防署	
一般救助用	かぎ付はしご	7	3	2	2	1	15	除染用	除染シャワー	2	1	0	0	0	3
	三連はしご	6	6	3	3	3	21		除染剤散布器	0	0	0	0	0	0
	ワイヤはしご	2	1	1	1	0	5	水難救助用	潜水器具一式	19	7	10	9	11	56
	空気式救助マット	1	0	0	0	0	1		救命胴衣	140	54	31	28	46	299
	救命索発射銃	1	1	1	1	0	4		救命浮環	34	19	8	8	5	74
	救助用縛帯	16	5	5	4	4	34		浮標	6	5	9	3	2	25
	平担架	22	0	0	9	0	31		救命ボート	7	2	2	2	2	15
重量物排除用	油圧ジャッキ	11	7	1	8	0	27	船外機	7	4	1	2	2	16	
	油圧スプレッダー	1	1	0	1	1	4	山岳用	登山器具一式	1	1	1	1	0	4
	可搬ウインチ	2	1	2	2	2	9		バスケット担架	6	3	3	2	1	15
	マンホール救助器具	2	1	1	1	0	5	重量物排除用	マット型空気ジャッキ一式	2	1	1	1	2	7
切断・破壊用	油圧切断機	2	1	1	1	0	5		大型油圧スプレッダー	2	1	2	1	1	7
	エンジンカッター	13	5	4	3	3	28		救助用支柱器具	2	1	1	1	0	5
	ガス溶断器	2	0	0	0	0	2	切断用	空気鋸	0	1	2	1	0	4
	チェーンソー	11	2	3	4	3	23		大型油圧切断機	2	1	1	1	1	6
	携帯用コンクリート破壊器具	3	2	1	1	0	7		空気切断機	1	1	0	4	1	7
検知・測定用	生物剤検知器	1	0	0	0	0	1	コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー	1	0	0	0	0	1	
	化学剤検知器	1	0	0	0	0	1	破壊用	削岩機	1	1	1	1	1	5
	可燃性ガス測定器	10	7	5	3	3	28		ハンマドリル	2	1	1	1	1	6
	有毒ガス測定器	10	7	5	3	3	28	呼吸保護用	酸素呼吸器	0	0	0	0	0	0
	酸素濃度測定器	10	7	5	3	3	28		送排風機	3	1	1	2	1	8
	放射線測定器	30	15	1	0	2	48		エアラインマスク	1	0	0	0	0	1
呼吸・隊員保護用	空気呼吸器	50	26	23	14	14	127	高度救助用	画像探索機	2	1	0	0	0	3
	防毒マスク	25	5	5	3	5	43		地中音響探知機	1	0	0	0	0	1
	化学防護服	113	67	82	46	40	348		熱画像直視装置	1	1	2	1	0	5
	陽圧式化学防護服	7	3	0	0	0	10		夜間用暗視装置	1	0	0	0	0	1
	耐熱服	4	0	2	0	0	6		地震警報器	1	0	0	0	0	1

## 緊急消防援助隊の登録隊数

令和3年4月1日

	隊名 (車両)	隊数	隊員数	編成担当 消防署
1	福岡県大隊指揮隊 (兼) 統合機動部隊指揮隊 (指揮車)	1 隊	3 名	久留米署本署
2	消火小隊 (タンク車)	1 隊	4 名	久留米署東出張所
3	消火小隊 (ポンプ車)	1 隊	4 名	浮羽署浮羽出張所
4	消火小隊 (タンク車)	1 隊	4 名	大川署
5	消火小隊 (ポンプ車)	1 隊	4 名	大川署
6	救助小隊 (兼) 毒劇物対応小隊 (救助工作車Ⅲ型)	1 隊	5 名	久留米署東出張所
7	土砂・風水害機動支援部隊 救助小隊 (津波・大規模風水害対策車)	1 隊	5 名	久留米署東出張所
8	救助小隊 (救助工作車Ⅱ型)	1 隊	5 名	三井署本署
9	救急小隊 (高規格救急車)	1 隊	3 名	久留米署善導寺出張所
10	救急小隊 (高規格救急車)	1 隊	3 名	浮羽署本署
11	救急小隊 (高規格救急車)	1 隊	3 名	三潞署
12	特殊装備小隊 (梯子車 40m級)	1 隊	4 名	久留米署本署
13	特殊装備小隊 (梯子車 30m級)	1 隊	4 名	三井署本署
14	後方支援小隊 (支援車Ⅰ型)	1 隊	4 名	三井署三井出張所
15	後方支援小隊 (支援車Ⅲ型)	1 隊	4 名	久留米署南出張所
16	後方支援小隊 (支援車Ⅲ型)	1 隊	4 名	三井署本署
17	後方支援小隊 (資機材搬送車)	1 隊	2 名	三井署本署
18	後方支援小隊 (資機材搬送車)	1 隊	2 名	久留米署本署
	<b>登録隊計 《兼務含む》</b>	<b>18 隊 《20 隊》</b>	<b>67 名 《75 名》</b>	
※	活動支援隊 (警防車等)	1 隊	2 名	消防本部

※ 活動支援隊は、帯同隊であるため、国への登録はしていない。

## 消防水利の現況

(令和3年4月1日)

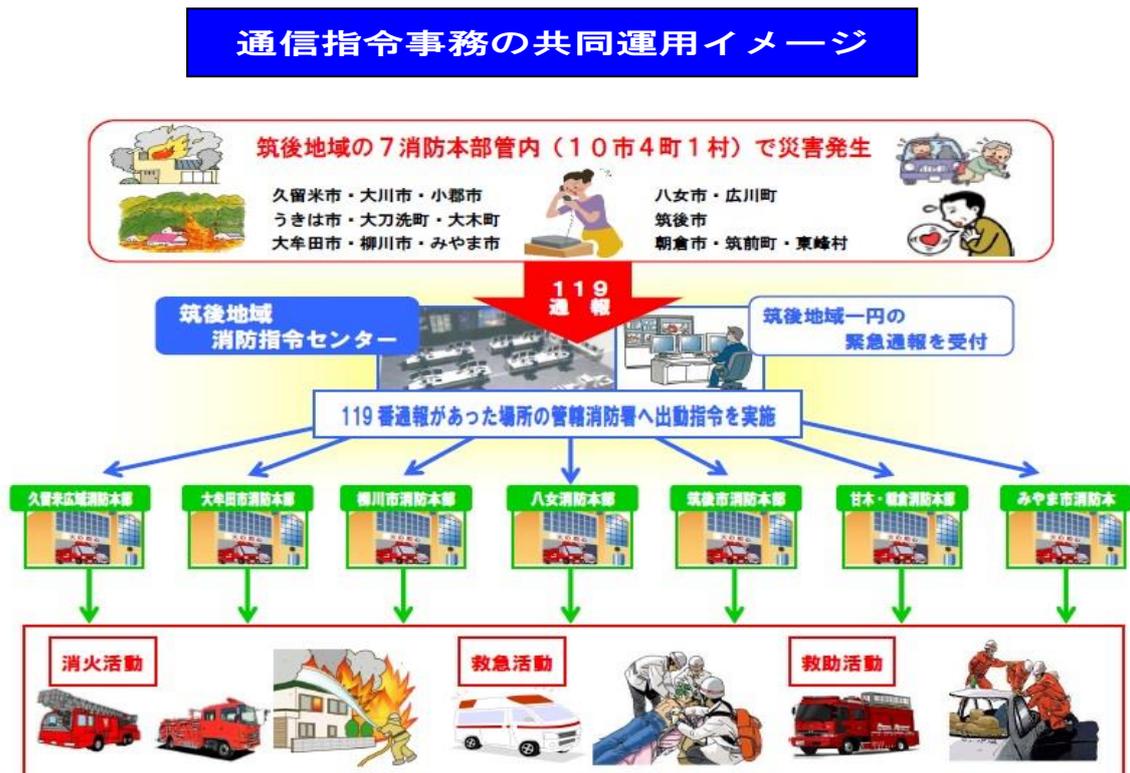
署 別		久留米消防署	三井消防署	浮羽消防署	三潞消防署	大川消防署	合 計
項 目							
消火栓		2,924	1,346	101	516	304	5,191
現有 公設 水利	40m <sup>3</sup> 未満	47 ( 0 )	12 ( 4 )	112 ( 0 )	21 ( 0 )	54 ( 0 )	246 ( 4 )
	40m <sup>3</sup> ～100m <sup>3</sup>	183 ( 30 )	411 ( 18 )	201 ( 14 )	269 ( 35 )	124 ( 10 )	1,188 ( 107 )
	100m <sup>3</sup> 以上	10 ( 10 )	0 ( 0 )	17 ( 0 )	0 ( 0 )	5 ( 2 )	32 ( 12 )
	小計	240 ( 40 )	423 ( 22 )	330 ( 14 )	290 ( 35 )	183 ( 12 )	1,466 ( 123 )
	その他(プール、井戸、河川等)	59	68	378	100	42	647
合計		3,223	1,837	809	906	529	7,304

# 通 信 編

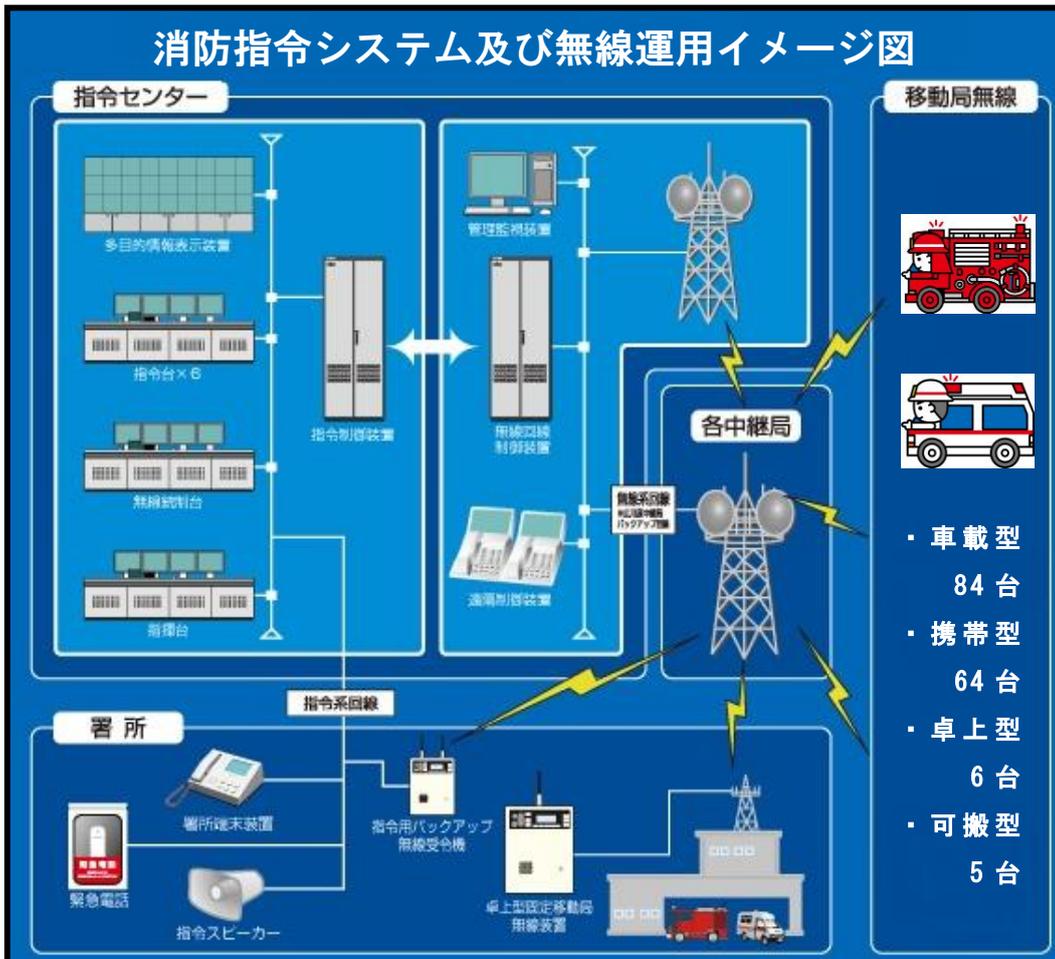
## 消防通信指令業務の共同運用の概要

当消防本部は、筑後地域の 6 消防本部と福岡県内初となる消防通信指令業務の共同運用を行うため、最新の高性能消防指令システムと消防救急デジタル無線システムを備えた「筑後地域消防指令センター」を共同で整備し、平成 28 年 4 月 1 日から運用しています。

消防通信指令業務の共同運用とは、複数の消防本部が 1ヶ所の指令センターで 119 番通報を受信し、各消防本部の消防車や救急車に出動指令などを行うものです。

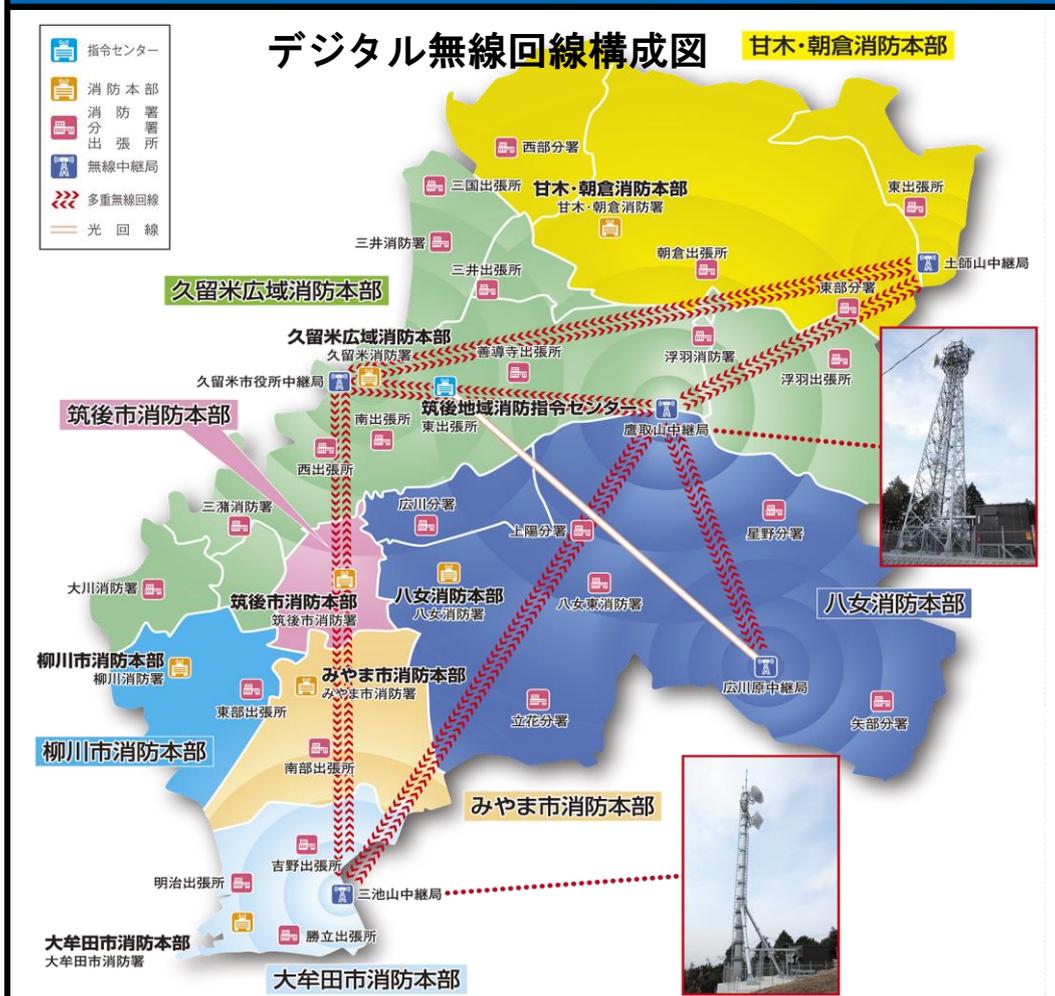


# 消防指令システム及び無線運用イメージ図



## デジタル無線回線構成図

甘木・朝倉消防本部



### 119受信状況（災害種別：構成市町等別）

区分		久留米市	通報割合 ※1	大川市	通報割合 ※1	小郡市	通報割合 ※1	うきは市	通報割合 ※1	大刀洗町	通報割合 ※1	大木町	通報割合 ※1	計	通報割合 ※2
災害通報	火災	203	1.1%	30	1.6%	20	0.7%	25	1.6%	7	0.9%	14	2.3%	299	1.1%
	救急	13,471	73.0%	1,495	77.9%	2,318	77.7%	1,169	73.4%	585	76.1%	478	78.0%	19,516	74.1%
	救助	247	1.3%	11	0.6%	18	0.6%	20	1.3%	13	1.7%	6	1.0%	315	1.2%
	その他災害	395	2.1%	34	1.8%	68	2.3%	40	2.5%	10	1.3%	14	2.3%	561	2.1%
その他	問合せ	181	1.0%	19	1.0%	21	0.7%	13	0.8%	5	0.7%	5	0.8%	244	0.9%
	通報訓練・テスト	2,294	12.4%	178	9.3%	284	9.5%	192	12.1%	83	10.8%	48	7.8%	3,079	11.7%
	間違い・その他	1,654	9.0%	152	7.9%	254	8.5%	134	8.4%	66	8.6%	48	7.8%	2,308	8.8%
構成市町別 通報割合※3		18,445	70.1%	1,919	7.3%	2,983	11.3%	1,593	6.1%	769	2.9%	613	2.3%	26,322	

### 119受信状況（覚知別：構成市町等別）

区分		久留米市	通報割合 ※1	大川市	通報割合 ※1	小郡市	通報割合 ※1	うきは市	通報割合 ※1	大刀洗町	通報割合 ※1	大木町	通報割合 ※1	計	通報割合 ※2
固定	119固定	5,087	27.6%	525	27.4%	918	30.8%	532	33.4%	238	30.9%	221	36.1%	7,521	28.6%
	119 I P	9,217	50.0%	824	42.9%	1,275	42.7%	648	40.7%	346	45.0%	281	45.8%	12,591	47.8%
携帯 119		3,447	18.7%	525	27.4%	711	23.8%	353	22.2%	156	20.3%	102	16.6%	5,294	20.1%
その他	緊急通報システム	38	0.2%	2	0.1%	2	0.1%	7	0.4%	2	0.3%	1	0.2%	52	0.2%
	駆け込み	47	0.3%	3	0.2%	10	0.3%	7	0.4%	11	1.4%	0	0.0%	78	0.3%
	一般加入電話	29	0.2%	2	0.1%	5	0.2%	4	0.3%	1	0.1%	1	0.2%	42	0.2%
	専用電話	57	0.3%	5	0.3%	7	0.2%	5	0.3%	3	0.4%	0	0.0%	77	0.3%
	その他	523	2.8%	33	1.7%	55	1.8%	37	2.3%	12	1.6%	7	1.0%	667	2.5%
構成市町別 通報割合※3		18,445	70.1%	1,919	7.3%	2,983	11.3%	1,593	6.1%	769	2.9%	613	2.3%	26,322	

※1 構成市町別通報件数における各区分通報件数の割合を示す。

※2 全通報件数における各区分通報件数の割合を示す。

※3 全通報件数における構成市町別通報件数の割合を示す。

(注) 四捨五入により※1～※3における割合の合計が100%とならない場合がある。

### 119受信状況（災害等：月別）

区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
災害通報	火災	10	29	16	16	41	34	28	21	18	35	19	32	299
	救急	1,930	1,672	1,545	1,339	1,367	1,436	1,695	1,860	1,602	1,686	1,628	1,756	19,516
	救助	23	15	20	13	14	28	110	14	24	17	20	17	315
	その他災害	41	40	24	27	31	57	108	47	77	38	30	41	561
その他	問合せ	20	13	23	15	21	21	41	19	22	15	13	21	244
	通報訓練・テスト	157	211	234	201	202	288	234	188	279	350	408	327	3,079
	間違い・その他	180	159	190	173	198	201	247	233	179	195	157	196	2,308
計		2,361	2,139	2,052	1,784	1,874	2,065	2,463	2,382	2,201	2,336	2,275	2,390	26,322

### 119受信状況（覚知別：月別）

区分		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
固定	119固定	647	603	623	551	514	616	648	643	635	699	676	666	7,521
	119 I P	525	456	411	359	388	403	472	425	407	402	505	541	5,294
携帯 119		1,116	1,022	948	818	892	960	1,253	1,234	1,061	1,163	1,019	1,105	12,591
その他	緊急通報システム	3	5	5	1	6	3	3	9	6	4	1	6	52
	駆け込み	5	3	4	9	10	10	5	9	13	3	6	1	78
	一般加入電話	3	3	3	2	3	7	8	2	4	3	1	3	42
	専用電話	10	2	6	6	4	10	1	3	11	6	11	7	77
	その他	52	45	52	38	57	56	73	57	64	56	56	61	667
計		2,361	2,139	2,052	1,784	1,874	2,065	2,463	2,382	2,201	2,336	2,275	2,390	26,322

## 気 象 状 況

	最 多	風 速(m/s)		温 度(℃)			相 対 湿 度 (%)			雨 量(mm)		
	風 位	最 大	平 均	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低	平 均	日最大	月雨量	累計雨量
1月	北北東	20.6	2.0	18.3	-0.4	8.3	99.1	49.1	86.4	18.0	85.5	85.5
2月	北北東	14.1	1.9	20.3	-1.4	8.5	98.8	25.2	80.6	39.0	126.0	211.5
3月	北北東	17.1	2.5	21.3	0.1	11.4	98.8	17.5	78.0	50.0	116.0	327.5
4月	北北東	20.3	2.7	24.7	2.8	13.4	98.6	15.5	69.7	20.5	72.5	400.0
5月	北北東	16.0	2.3	30.7	10.9	20.6	98.6	12.7	75.2	43.5	150.0	550.0
6月	南	18.3	2.9	34.8	16.0	24.9	98.6	25.0	82.2	179.5	547.5	1097.5
7月	南	20.4	2.8	34.0	18.5	25.3	98.6	53.0	90.7	264.0	1157.0	2254.5
8月	南	19.9	2.7	37.8	23.5	29.5	98.0	31.1	79.5	31.5	98.5	2353.0
9月	北北東	34.5	2.9	35.7	14.2	23.9	98.3	32.4	83.1	55.5	190.0	2543.0
10月	北北東	24.1	2.5	28.6	7.6	18.4	98.3	35.5	77.1	57.0	72.0	2615.0
11月	北北東	21.4	1.8	25.8	3.9	14.0	98.8	30.0	80.7	23.5	38.0	2653.0
12月	北北東	13.8	1.8	15.6	-1.6	6.8	98.8	47.2	79.6	8.0	23.0	2676.0

※ 上記気象状況の各データは、当消防本部設置(久留米市東櫛原町)の気象情報観測装置によるもの。

# 火災統計

# 火災の概要

この統計は、令和2年中に当消防本部管内において発生した、火災について分類・集計したものです。

## 1 火災発生件数は108件、前年より36件減少

火災発生件数は108件（前年144件）で、前年より36件減少し、平成21年の広域化以降、最も少ない件数となりました。

発生頻度は3.4日に1件の割合で発生し、出火率（人口1万人あたりの火災件数）は2.4件（前年3.2件）となります。

なお、令和2年中の全国の火災件数は34,602件で、出火率は2.72件となっています。（概数値）

火災種別件数は、建物火災70件（前年73件）、林野火災1件（前年0件）、車両火災9件（前年12件）、その他の火災28件（前年59件）となっています。

火災種別	建物火災	林野火災	車両火災	その他火災
発生件数	70	1	9	28
発生割合	64.8%	0.9%	8.3%	25.9%

※ 発生割合は、四捨五入しているため、合計が100%とならない場合があります。

## 2 建物火災の焼損棟数は100棟、前年より11棟増加

建物火災による焼損棟数は100棟（前年89棟）で、前年より11棟増加しています。

なお、焼損面積は4,243㎡（前年3,491㎡）で、前年より752㎡増加しています。

また、建物の焼損程度別にみると、全焼24棟（前年15棟）、半焼6棟（前年8棟）、部分焼は34棟（前年28棟）、ぼや36棟（前年38棟）となっています。

焼損程度別	全焼	半焼	部分焼	ぼや
発生棟数	24	6	34	36
発生割合	24%	6%	34%	36%

## 3 損害見積額は201,856千円、前年より13,969千円増加

全ての火災の損害見積額は201,856千円（前年171,669千円）で、前年より30,187千円増加しています。

## 4 死者数は4人、前年と同人数

火災による死者数は4人（前年4人）、負傷者は15人（前年15人）で、ともに前年と同人数です。

5 出火原因第1位は『たき火』、第2位は『電気機器』と『電灯・電話等の配線』、第3位は『こんろ』

出火原因別にみると、「たき火」15件（前年13件）、「電気機器」10件（前年4件）、「電灯・電話等の配線」10件（前年15件）、「こんろ」7件（前年7件）の順となっています。

	令和2年		令和元年		平成30年		平成29年		平成28年	
1位	たき火		放火の疑い		放火の疑い		たき火		放火(放火の疑い)	
	15件	13.9%	16件	11.1%	15件	10.6%	25件	15.8%	22件	18.6%
2位	電気機器／ 電灯・電話等の配線		電灯・電話等の配線		たばこ		こんろ		たき火	
	10件	9.3%	15件	10.4%	14件	9.9%	16件	10.1%	11件	9.3%
3位	こんろ		たき火		たき火		放火の疑い／火入れ		たばこ／ 電灯・電話等の配線	
	7件	6.5%	13件	9.0%	12件	8.5%	各11件	7.0%	各7件	6.0%
4位	放火の疑い		火入れ		こんろ／ 電灯・電話等の配線		たばこ／ストーブ ／配線器具		こんろ	
	6件	5.6%	12件	8.3%	各10件	7.1%	各7件	4.4%	6件	5.1%
5位	たばこ／火入れ		たばこ		火入れ／配線器具		電灯・電話等の配線		配線器具	
	5件	4.6%	11件	7.6%	各7件	5.0%	5件	3.2%	6件	5.1%

※ 平成29年以降、「放火」と「放火の疑い」を分けて件数を計上

## 火災発生状況

			久留米市	大川市	小郡市	うきは市	大刀洗町	大木町
出火件数	建物火災	70	48	8	3	7	2	2
	林野火災	1	1					
	車両火災	9	7				2	
	船舶・航空機火災							
	その他の火災	28	14	2	6	3	1	2
	合計	108	70	10	9	10	5	4
焼損棟数	全焼	24	15	2	2	2		3
	半焼	6	4		1	1		
	部分焼	34	23	5		5	1	
	ぼや	36	25	3	1	4	2	1
	合計	100	67	10	4	12	3	4
焼損面積	建物 (㎡)	4,243	2,783	579	228	311	3	339
	林野 (a)	2	2					
死傷者	死者	4	3		1			
	負傷者	15	14	1				
り災世帯	全損	16	13	2				1
	半損	2			1	1		
	小損	33	23	3	1	5	1	
	合計	51	36	5	2	6	1	1
り災人員		116	76	8	7	21	2	2
損害見積額 (千円)	建物火災	196,718	98,594	19,200	8,541	47,659	4	22,720
	林野火災							
	車両火災	4,358	2,843				1,515	
	船舶・航空機火災							
	その他の火災	780	439	5	9	306	21	
	合計	201,856	101,876	19,205	8,550	47,965	1,540	22,720
建物火災1件当たりの損害額 (千円)		2,810	8,049	2,400	2,847	6,808	2	11,360
建物火災1件当たりの焼損面積 (㎡)		60.6	58.0	72.4	76.0	44.4	1.5	169.5
出火率 (人口1万人当たり)		2.4	2.3	3.0	1.5	3.4	3.2	2.8

## 過去5年間の火災発生状況

		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
出 火 件 数	建 物 火 災	71	89	78	73	70
	林 野 火 災		1	1		1
	車 両 火 災	15	15	11	12	9
	船舶・航空機火災					
	その他の火災	36	53	51	59	28
	合 計	122	158	141	144	108
焼 損 棟 数	全 焼	18	29	28	15	24
	半 焼	7	8	5	8	6
	部 分 焼	23	35	20	28	34
	ぼ や	40	44	51	38	36
	合 計	88	116	104	89	100
焼 損 面 積	建 物 (㎡)	2,841	5,942	7,887	3,491	4,243
	林 野 (a)		5	22		2
死 傷 者	死 者	4	4	1	4	4
	負 傷 者	30	22	15	15	15
り 災 世 帯	全 損	12	25	14	12	16
	半 損	3	5	2	3	2
	小 損	39	47	52	47	33
	合 計	54	77	68	62	51
り 災 人 員		136	183	177	180	116
損 害 見 積 額 (千 円)	建 物 火 災	173,951	256,588	345,810	159,892	196,718
	林 野 火 災		23	14		
	車 両 火 災	5,640	5,662	1,630	9,375	4,358
	船舶・航空機火災					
	その他の火災	224	1,982	2,700	2,402	780
	合 計	179,815	264,255	350,154	171,669	201,856

過去5年間の火災発生状況（久留米市）

		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
出 火 件 数	建 物 火 災	50	58	50	42	48
	林 野 火 災					1
	車 両 火 災	8	13	6	7	7
	船舶・航空機火災					
	その他の火災	25	33	30	31	14
	合 計	83	104	86	80	70
焼 損 棟 数	全 焼	14	15	16	6	15
	半 焼	4	2	2	3	4
	部 分 焼	13	25	17	13	23
	ぼ や	33	34	37	23	25
	合 計	64	76	72	45	67
焼 損 面 積	建 物 (㎡)	2,114	2,462	3,600	1,807	2,783
	林 野 (a)					2
死 傷 者	死 者	2	2	1	2	3
	負 傷 者	26	17	10	10	14
り 災 世 帯	全 損	10	18	9	3	13
	半 損		3	2	3	
	小 損	30	36	37	26	23
	合 計	40	57	48	32	36
り 災 人 員		86	124	129	77	76
損 害 見 積 額 (千 円)	建 物 火 災	116,262	141,219	129,977	98,767	98,594
	林 野 火 災					
	車 両 火 災	1,641	5,096	823	1,546	2,843
	船舶・航空機火災					
	その他の火災	148	1,713	1,257	1,793	439
	合 計	118,051	148,028	132,057	102,106	101,876

過去5年間の火災発生状況（大川市）

		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
出 火 件 数	建 物 火 災	4	9	5	10	8
	林 野 火 災					
	車 両 火 災			2		
	船舶・航空機火災					
	その他の火災		3	8	11	2
合 計		4	12	15	21	10
焼 損 棟 数	全 焼		4		3	2
	半 焼		2	1	3	
	部 分 焼	4	3		5	5
	ぼ や		2	4	2	3
	合 計	4	11	5	13	10
焼 損 面 積	建 物 (㎡)	86	1,925	2,068	816	579
	林 野 (a)					
死 傷 者	死 者				1	
	負 傷 者	2	2		2	1
り 災 世 帯	全 損	1	2		4	2
	半 損					
	小 損		1	2	5	3
	合 計	1	3	2	9	5
り 災 人 員		2	7	4	37	8
損 害 見 積 額 (千 円)	建 物 火 災	13,382	40,128	130,489	29,295	19,200
	林 野 火 災					
	車 両 火 災		297	324		
	船舶・航空機火災					
	その他の火災		1	1,366	197	5
	合 計	13,382	40,426	132,179	29,492	19,205

過去5年間の火災発生状況（小郡市）

		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
出 火 件 数	建 物 火 災	6	6	10	7	3
	林 野 火 災					
	車 両 火 災	4	1	1	2	
	船舶・航空機火災					
	その他の火災	3	5	3	8	6
	合 計	13	12	14	17	9
焼 損 棟 数	全 焼	2	1	6	3	2
	半 焼	1	2	1		1
	部 分 焼	2	1	2	3	
	ぼ や	3	3	4	9	1
	合 計	8	7	13	15	4
焼 損 面 積	建 物 (㎡)	264	209	1,239	332	228
	林 野 (a)					
死 傷 者	死 者	1	2			1
	負 傷 者			1	1	
り 災 世 帯	全 損	1	1	3	1	
	半 損	1	1			1
	小 損	6	3	7	8	1
	合 計	8	5	10	9	2
り 災 人 員		27	12	21	38	7
損 害 見 積 額 （ 千 円）	建 物 火 災	18,836	32,380	46,538	6,402	8,541
	林 野 火 災					
	車 両 火 災	3,399	70	3	7,520	
	船舶・航空機火災					
	その他の火災	63	6	4	392	9
	合 計	22,298	32,456	46,545	14,314	8,550

過去5年間の火災発生状況（うきは市）

		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
出 火 件 数	建 物 火 災	8	9	7	12	7
	林 野 火 災		1	1		
	車 両 火 災		1	1	2	
	船舶・航空機火災					
	その他の火災	6	4	5	7	3
	合 計	14	15	14	21	10
焼 損 棟 数	全 焼	1	6	5	3	2
	半 焼	1			1	1
	部 分 焼	3	3	1	7	5
	ぼ や	3	3	2	3	4
	合 計	8	12	8	14	12
焼 損 面 積	建 物 (㎡)	196	819	602	466	311
	林 野 (a)		5	22		
死 傷 者	死 者	1			1	
	負 傷 者	1	2	2	2	
り 災 世 帯	全 損		2	2	4	
	半 損	1	1			1
	小 損	2	3	2	8	5
	合 計	3	6	4	12	6
り 災 人 員		16	16	13	28	21
損 害 見 積 額 (千 円)	建 物 火 災	18,941	20,618	28,171	23,865	47,659
	林 野 火 災		23	14		
	車 両 火 災		199	80	209	
	船舶・航空機火災					
	その他の火災	8		25	20	306
	合 計	18,949	20,840	28,290	24,094	47,965

過去5年間の火災発生状況（大刀洗町）

		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
出 火 件 数	建 物 火 災		6	2	2	2
	林 野 火 災					
	車 両 火 災	3		1	1	2
	船舶・航空機火災					
	その他の火災	2	5	3	2	1
	合 計	5	11	6	5	5
焼 損 棟 数	全 焼		3	1		
	半 焼		2		1	
	部 分 焼		3			1
	ぼ や		1	1	1	2
	合 計		9	2	2	3
焼 損 面 積	建 物 (㎡)		527	285	70	3
	林 野 (a)					
死 傷 者	死 者					
	負 傷 者	1	1			
り 災 世 帯	全 損		2			
	半 損					
	小 損		3	1		1
	合 計		5	1		1
り 災 人 員			19	3		2
損 害 見 積 額 (千 円)	建 物 火 災		22,033	8,007	1,563	4
	林 野 火 災					
	車 両 火 災	600		400	100	1,515
	船舶・航空機火災					
	その他の火災	5	190	27		21
	合 計	605	22,223	8,434	1,663	1,540

過去5年間の火災発生状況（大木町）

		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
出 火 件 数	建 物 火 災	3	1	4		2
	林 野 火 災					
	車 両 火 災					
	船舶・航空機火災					
	その他の火災		3	2		2
	合 計	3	4	6		4
焼 損 棟 数	全 焼	1				3
	半 焼	1		1		
	部 分 焼	1				
	ぼ や	1	1	3		1
	合 計	4	1	4		4
焼 損 面 積	建 物 (㎡)	181		93		339
	林 野 (a)					
死 傷 者	死 者					
	負 傷 者			2		
り 災 世 帯	全 損					1
	半 損	1				
	小 損	1	1	3		
	合 計	2	1	3		1
り 災 人 員		5	5	7		2
損 害 見 積 額 (千円)	建 物 火 災	6,530	210	2,628		22,720
	林 野 火 災					
	車 両 火 災					
	船舶・航空機火災					
	その他の火災		72	21		
	合 計	6,530	282	2,649		22,720

## 月別火災発生状況

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
出 火 件 数	建物火災	70	3	11	3	4	8	8	3	6	5	7	3	9
	林野火災	1		1										
	車両火災	9			1	1	2	1			2	1	1	
	船舶 航空機火災													
	その他の火災	28	2	1	2		5	3	1	1	1	4	2	6
合計	108	5	13	6	5	15	12	4	7	8	12	6	15	
焼 損 棟 数	全 焼	24		5	1	1	3	4	2	1	2	2		3
	半 焼	6					1	1		2		1	1	
	部分焼	34		4	1	4	3	4		3	2	6	1	6
	ぼ や	36	3	6	2	1	6	3	2	2	3	3	2	3
	合計	100	3	15	4	6	13	11	5	6	9	11	4	13
焼 損 面 積	建物 (㎡)	4,243		597	28	192	596	563	757	147	289	135	182	757
	林野 (a)	2		2										
死 傷 者	死 者	4		2								1	1	
	負傷者	15		3		1	1		2		1			7
り 災 世 帯	全 損	16		2		1	2	2	6		1			2
	半 損	2											1	1
	小 損	33	1	5		3	3	2	1	3	2	7		6
	合計	51	1	7		4	5	4	7	3	3	7	1	9
り災人員		116	1	17		9	12	8	12	3	10	15	4	25
損 害 見 積 額 (千 円)	建物火災	196,718	47	27,150	1,129	9,997	27,678	27,762	15,716	33,087	8,805	6,248	7,777	31,322
	林野火災													
	車両火災	4,358			636	400	1,980	20			909	343	70	
	船舶 航空機火災													
	その他の火災	780	26				2	324	2			305	105	16
	合計	201,856	73	27,150	1,765	10,397	29,660	28,106	15,718	33,087	9,714	6,896	7,952	31,338

## 火災種別・出火原因別件数

		建物火災	林野火災	車両火災	その他火災
放 火	2	1			1
放 火 疑 い	6	2	1	2	1
コ ン ロ	7	7			
(うち天ぷら油)	4	4			
た ば こ	5	3			2
か ま ど					
風 呂 か ま ど	1	1			
炉					
焼 却 炉	1	1			
ス ト ー ブ	2	2			
こ た つ					
ボ イ ラ ー					
煙 突 ・ 煙 道	2	2			
排 気 管	2			2	
電 気 機 器	10	8		2	
電 気 装 置	1	1			
電灯・電話等の配線	10	8			2
内 燃 機 関					
配 線 器 具					
火 遊 び					
マ ッ チ ・ ラ イ タ ー	2	2			
た き 火	15	2		2	11
溶 接 機 ・ 溶 断 機					
灯 火					
衝 突 の 火 花					
取 灰					
火 入 れ	5	1			4
そ の 他	17	14		1	2
不 明	20	15			5
合 計	108	70	1	9	28

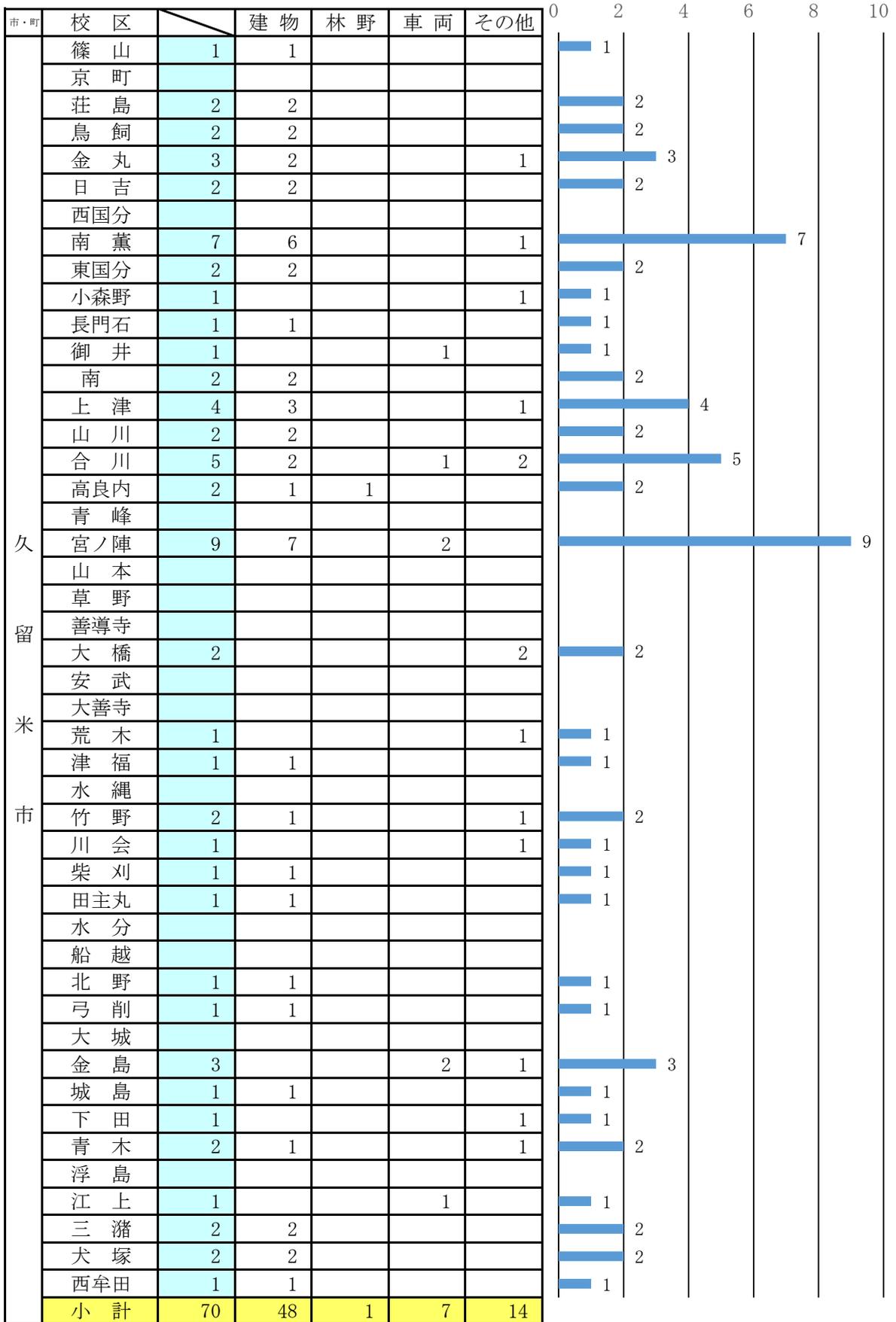
## 構成市町別・出火原因別件数

		久留米市	大川市	小郡市	うきは市	大刀洗町	大木町
放 火	2	2					
放 火 疑 い	6	2		1		3	
コ ン ロ	7	6	1				
(うち天ぷら油)	4	4					
た ば こ	5	4			1		
か ま ど							
風 呂 か ま ど	1					1	
炉							
焼 却 炉	1	1					
ス ト ー ブ	2	1	1				
こ た つ							
ボ イ ラ ー							
煙 突 ・ 煙 道	2				1	1	
排 気 管	2	2					
電 気 機 器	10	8	1		1		
電 気 装 置	1	1					
電 灯 ・ 電 話 等 の 配 線	10	7	2		1		
内 燃 機 関							
配 線 器 具							
火 遊 び							
マ ッ チ ・ ラ イ タ ー	2	1		1			
た き 火	15	8	2	3	2		
溶 接 機 ・ 溶 断 機							
灯 火							
衝 突 の 火 花							
取 灰							
火 入 れ	5	2		1			2
そ の 他	17	11	2		3		1
不 明	20	14	1	3	1		1
合 計	108	70	10	9	10	5	4

## 月別・出火原因別件数

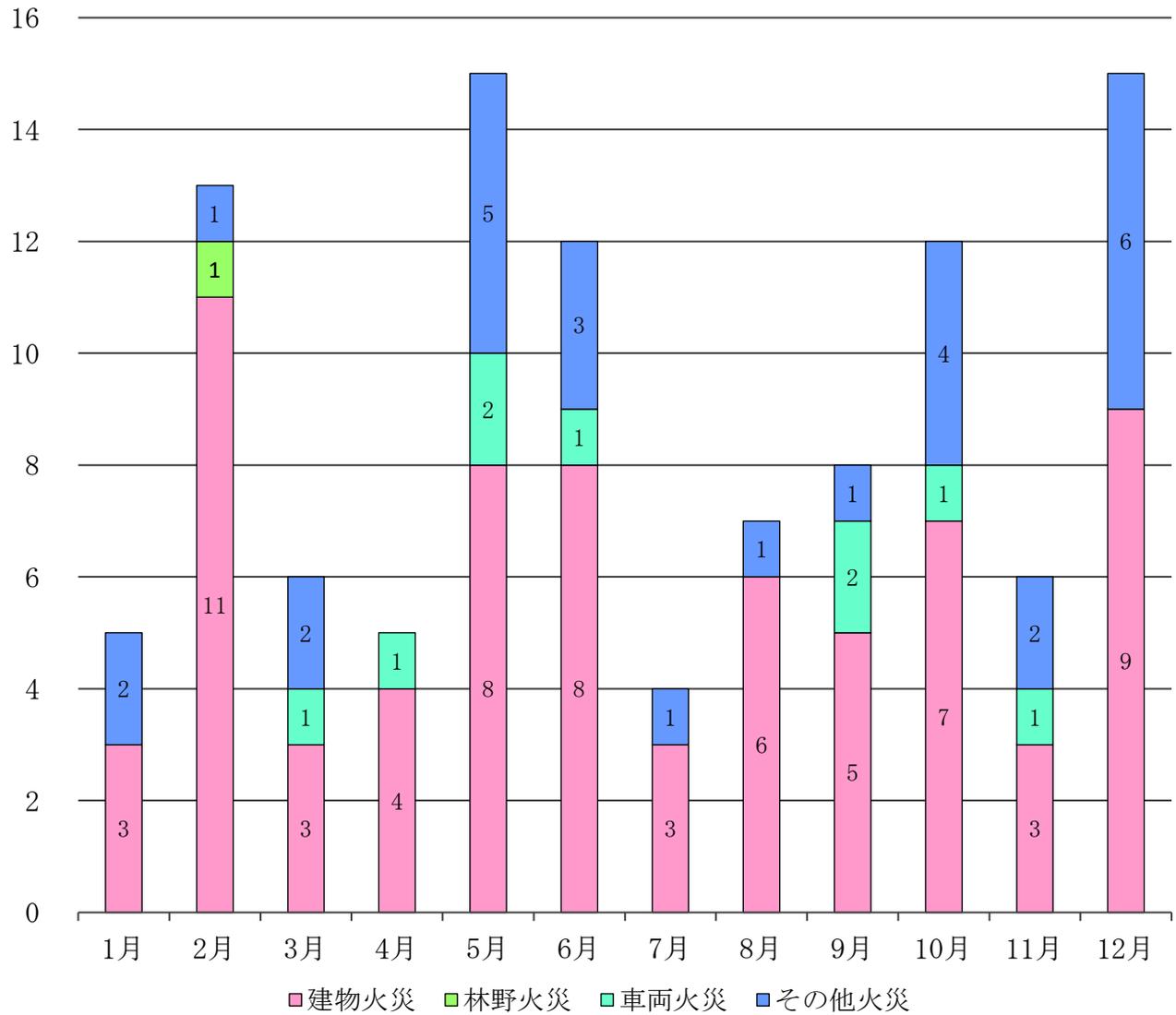
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
放 火	2	1											1
放 火 疑 い	6	1	1	1			1			1		1	
コ ン ロ	7	1	1			1		1	1	2			
(うち天ぷら油)	4					1		1	1	1			
た ば こ	5			1							3	1	
か ま ど													
風 呂 か ま ど	1		1										
炉													
焼 却 炉	1				1								
ス ト ー ブ	2						1						1
こ た つ													
ボ イ ラ ー													
煙 突 ・ 煙 道	2		1							1			
排 気 管	2				1	1							
電 気 機 器	10	1	1			2	3				1	1	1
電 気 装 置	1			1									
電灯・電話等の配線	10		1		1	1	2		1		2		2
内 燃 機 関													
配 線 器 具													
火 遊 び													
マ ッ チ ・ ラ イ タ ー	2										2		
た き 火	15	1	1	1		3	2		3		2	1	1
溶 接 機 ・ 溶 断 機													
灯 火													
衝 突 の 火 花													
取 灰													
火 入 れ	5		1			2	1				1		
そ の 他	17		3	1	1	1			2	2	1	2	4
不 明	20		2	1	1	4	2	3		2			5
合 計	108	5	13	6	5	15	12	4	7	8	12	6	15

## 校区別・火災種別件数



市・町	校区		建物	林野	車両	その他	0	2	4	6	8	10
大川市	大川	2	2				2					
	三又	1				1	1					
	木室	1	1				1					
	田口	2	2				2					
	川口	2	1			1	2					
	大野島	2	2				2					
	小計	10	8			2						
小郡市	小郡	2				2	2					
	三国	3	2			1	3					
	のぞみが丘											
	立石	1				1	1					
	御原											
	味坂	3	1			2	3					
	大原											
	東野											
小計	9	3			6							
うきは市	千年	1	1				1					
	吉井											
	江南											
	福富	4	1			3	4					
	御幸	2	2				2					
	小塩											
	妹川											
	姫治											
	山春	1	1				1					
	大石	2	2				2					
小計	10	7			3							
大刀洗町	大刀洗											
	本郷	2				2	2					
	大堰	1				1	1					
	菊池	2	2				2					
	小計	5	2			2	1					
大木町	木佐木	1				1	1					
	大溝	3	2			1	3					
	大莞											
	小計	4	2			2						
合計	108	70	1	9	28							

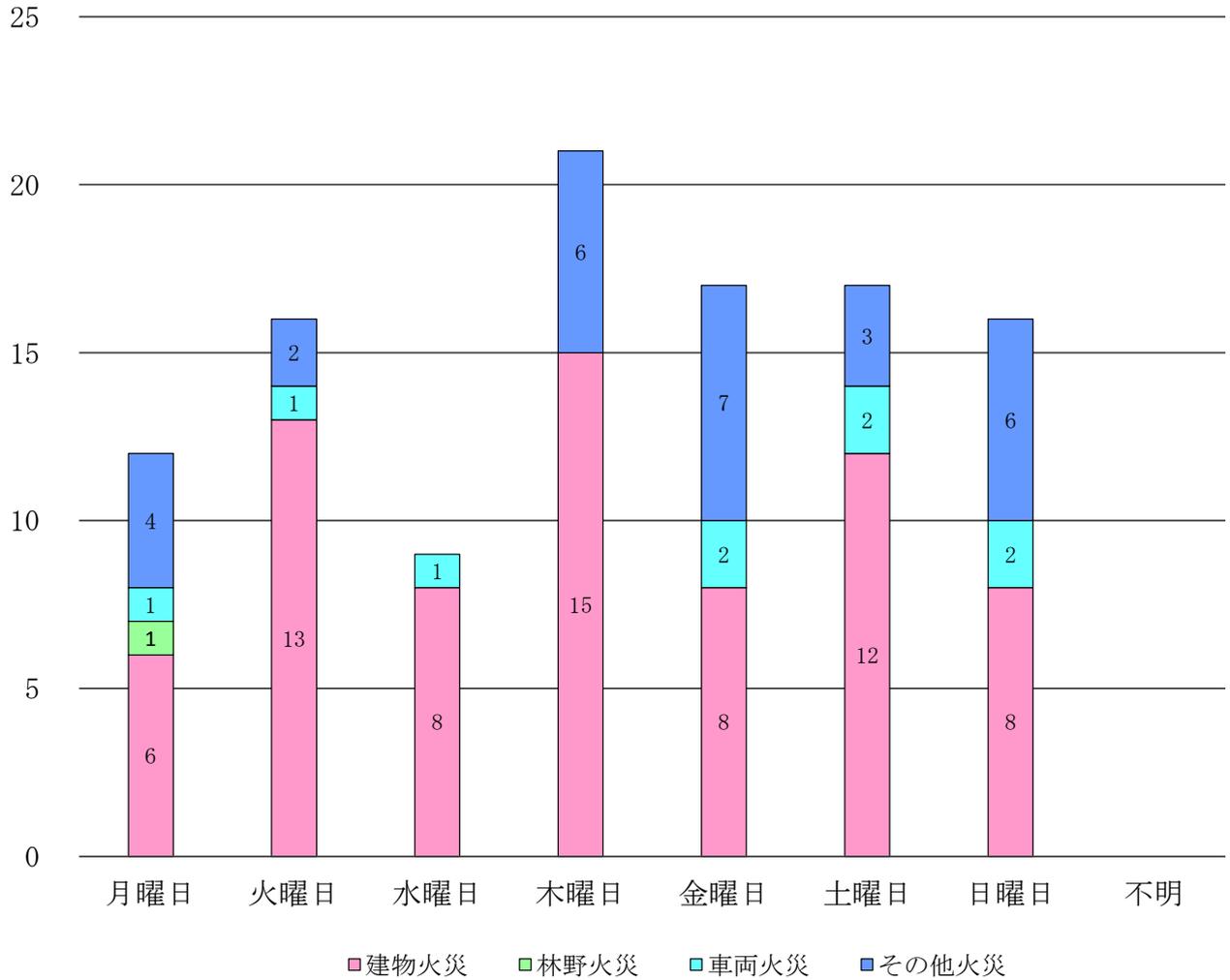
## 月別・火災種別件数



		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
建物火災	70	3	11	3	4	8	8	3	6	5	7	3	9
林野火災	1		1										
車両火災	9			1	1	2	1			2	1	1	
その他火災	28	2	1	2		5	3	1	1	1	4	2	6
合計	108	5	13	6	5	15	12	4	7	8	12	6	15
月別発生率		4.6%	12.0%	5.6%	4.6%	13.9%	11.1%	3.7%	6.5%	7.4%	11.1%	5.6%	13.9%

※ 月別発生率は、四捨五入しているため、割合の合計が100%とならない場合がある。

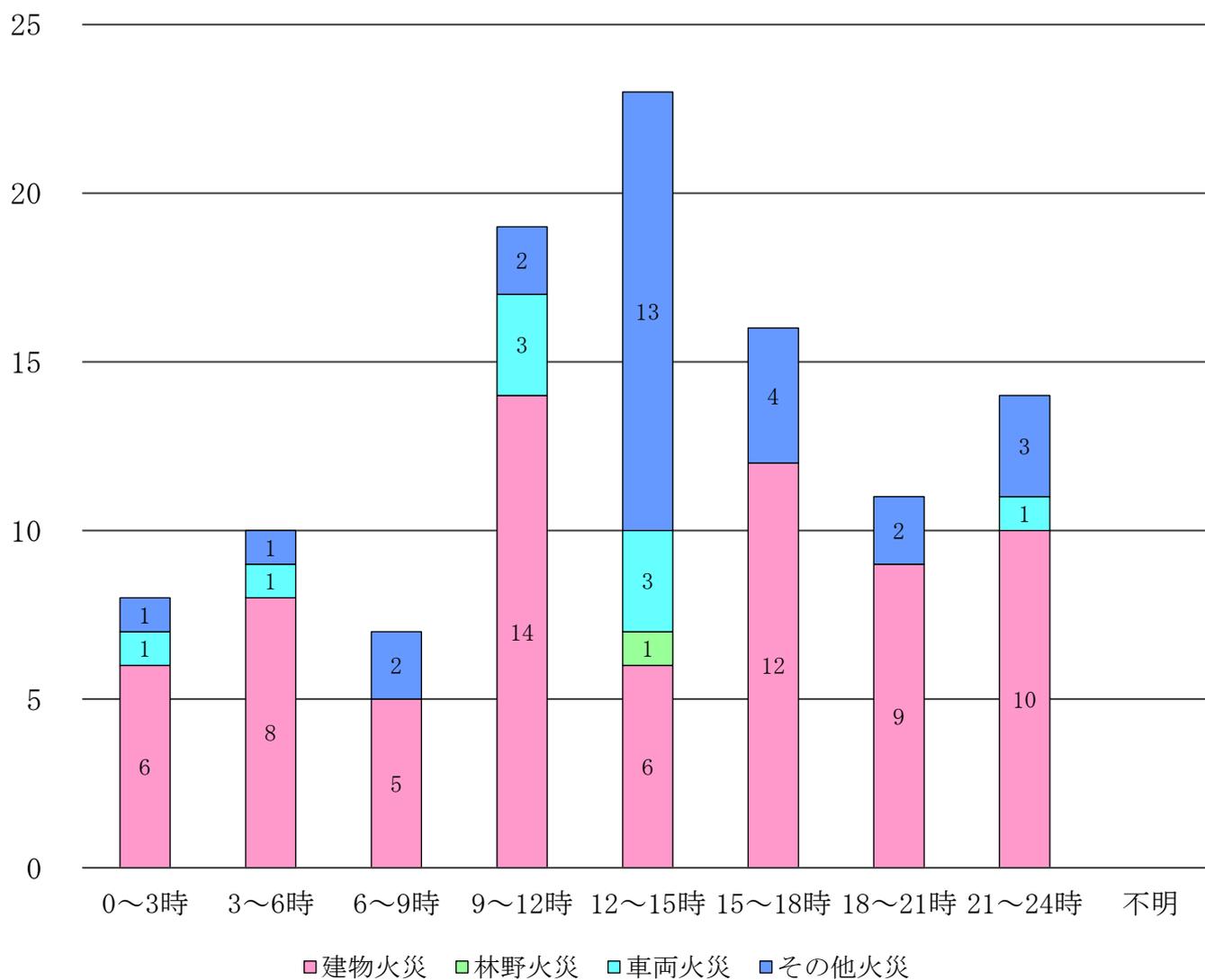
## 曜日別・火災種別件数



		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日	不明
建物火災	70	6	13	8	15	8	12	8	
林野火災	1	1							
車両火災	9	1	1	1		2	2	2	
その他火災	28	4	2		6	7	3	6	
合計	108	12	16	9	21	17	17	16	
曜日別発生率		11.1%	14.8%	8.3%	19.4%	15.7%	15.7%	14.8%	

※ 曜日別発生率は、四捨五入しているため、割合の合計が100%とならない場合がある。

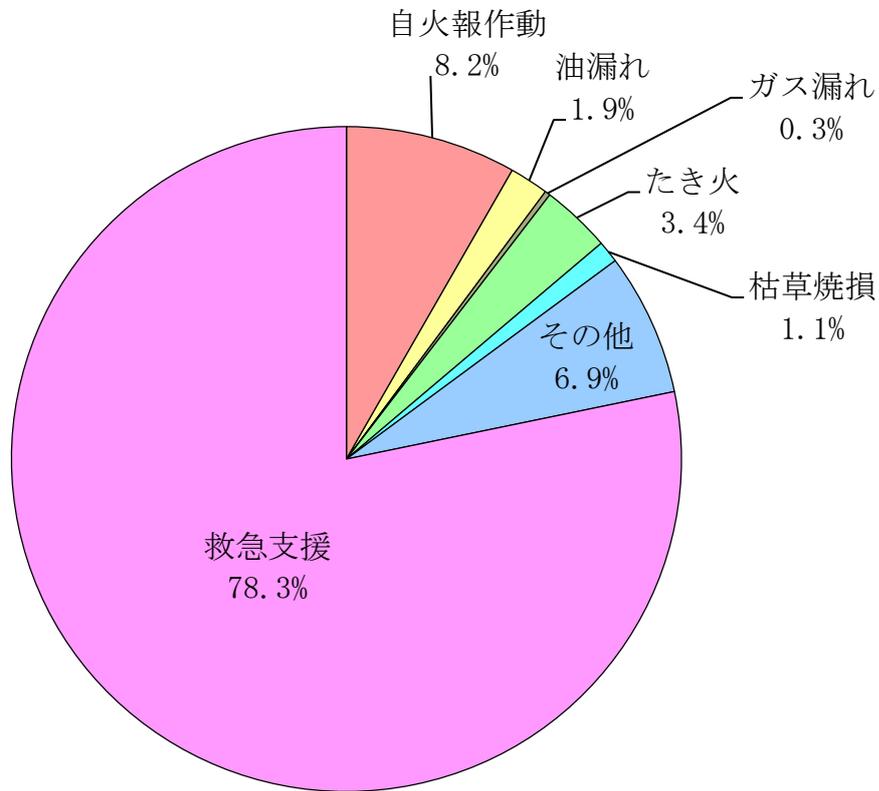
## 時間帯別・火災種別件数



		0時 ～3時	3時 ～6時	6時 ～9時	9時 ～12時	12時 ～15時	15時 ～18時	18時 ～21時	21時 ～24時	不明
建物火災	70	6	8	5	14	6	12	9	10	
林野火災	1					1				
車両火災	9	1	1		3	3			1	
その他火災	28	1	1	2	2	13	4	2	3	
合計	108	8	10	7	19	23	16	11	14	
時間帯別発生率		7.4%	9.3%	6.5%	17.6%	21.3%	14.8%	10.2%	13.0%	

※ 時間帯別発生率は、四捨五入しているため、割合の合計が100%とならない場合がある。

## その他の災害 出動状況



署 種別	久留米署	三井署	浮羽署	三瀨署	大川署	合計
自火報作動	140	18	12	13	10	193
油漏れ	16	13	7	4	4	44
ガス漏れ	4	0	1	0	1	6
たき火	27	20	11	17	4	79
枯草焼損	12	5	3	2	3	25
その他	80	29	19	16	18	162
救急支援	1,078	262	173	141	178	1,832
合 計	1,357	347	226	193	218	2,341

その他の内訳（誤報、風水害警戒、管轄外災害出動、廃棄物焼却等）

※ グラフの種別割合は、四捨五入しているため、割合の合計が100%とならない場合がある。

# 救急統計

# 救急の概要

## 1 救急件数は19,243件で、1日当たり約52.7件

令和2年の管内の救急出動件数は19,243件（前年比-2,061件）で9.7%減となっており、搬送人員は18,099人（前年比-1,685人）で8.5%減となっています。これは、平成21年の久留米広域消防本部発足以降、初めて減少に転じたものです。減少の理由として、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う感染予防意識の向上や不要不急の外出自粛といった住民の行動変容により、急病、交通事故及び一般負傷の減少に繋がったことが考えられます。

1日あたり約52.7件、約27.3分に1件の頻度で救急車が出動し、管内住民の約25人に1人が救急車で搬送されたこととなります。

## 2 救急出動件数の約7割が「久留米市」

構成市町別の救急出動件数は、久留米市13,358件(69.4%)、大川市1,433件(7.4%)、小郡市2,256件(11.7%)、うきは市1,134件(5.9%)、大刀洗町567件(2.9%)、大木町466件(2.4%)、その他が29件(0.2%)となっています。

消防署管内別では、久留米消防署が11,565件(60.1%)、三井消防署が3,178件(16.5%)、浮羽消防署が1,620件(8.4%)、三潞消防署が1,457件(7.6%)、大川署が1,423件(7.4%)となっています。

## 3 事故種別の6割が急病

主な事故種別では、急病が11,834件で全体に占める割合が61.5%と最も多く、次いで一般負傷が3,206件で16.7%、転院搬送が1,828件で9.5%、交通事故が1,370件で7.1%となっており、その構成比は全国と概ね同じ状況となっています。

急病のうち熱中症による搬送人員は、273人（昨年比-30人）となっています。

## 4 搬送人員は軽症、中等症が減少。重症以上は増加

搬送人員18,099人のうち、軽症が7,839人（昨年比-1,275人）で全体の43.3%を占め、次いで中等症が7,666人（昨年比-534人）で42.4%、重症以上が2,591人（昨年比+125人）で14.3%となっています。

## 5 搬送人員の6割が高齢者

搬送人員 18,099 人のうち、高齢者が 11,154 人（昨年比－617 人）と全体の 61.6% を占め、次いで成人が 5,613 人（昨年比－524 人）で 31.0%、乳幼児が 690 人（昨年比－345 人）で 3.8%、少年が 633 人（昨年比－198 人）で 3.5%、新生児が 9 人（昨年比－1 人）で 0.05%となっています。

## 6 全国トップレベルの搬送時間

救急搬送時間（119 番入電～病院到着）は平均 27.8 分で、これは全国 1 位である富山県の平均 31.0 分を大きく上回り、全国トップレベルを維持しています。

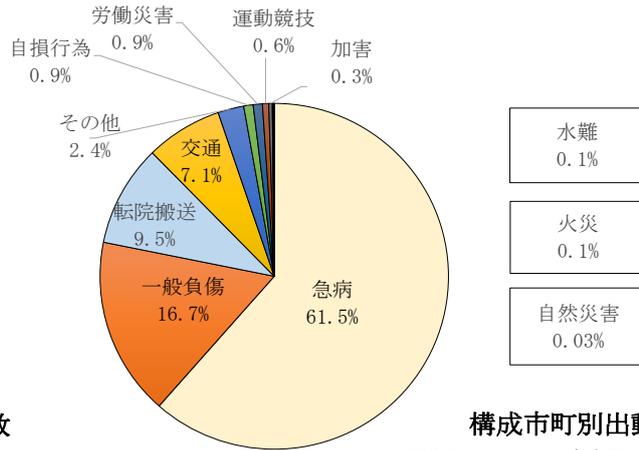
※ 富山県の内容は、令和元年中のもの…総務省消防庁調べ

※ 令和元年中の福岡県は、平均 31.8 分で全国 2 位

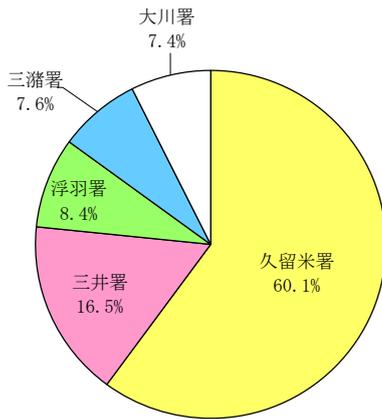
## 7 普通救命講習の受講者が減少

新型コロナウイルス感染防止策により、応急手当普及活動を自粛したため、令和 2 年の普通救命講習受講者は 1,676 人（前年比－3,773 人）で、69.2%減少しました。

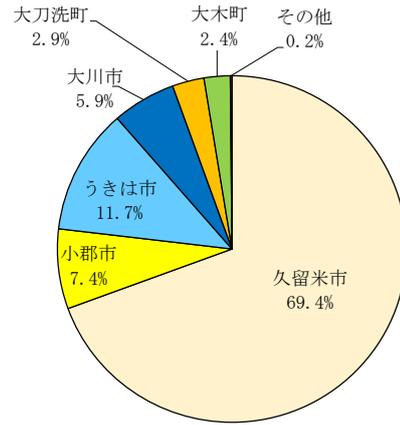
## 事故種別出動件数（総件数19,243件）



### 署別出動件数



### 構成市町別出動件数



※ グラフの割合は四捨五入しているため、割合の合計が100%とならない場合がある。

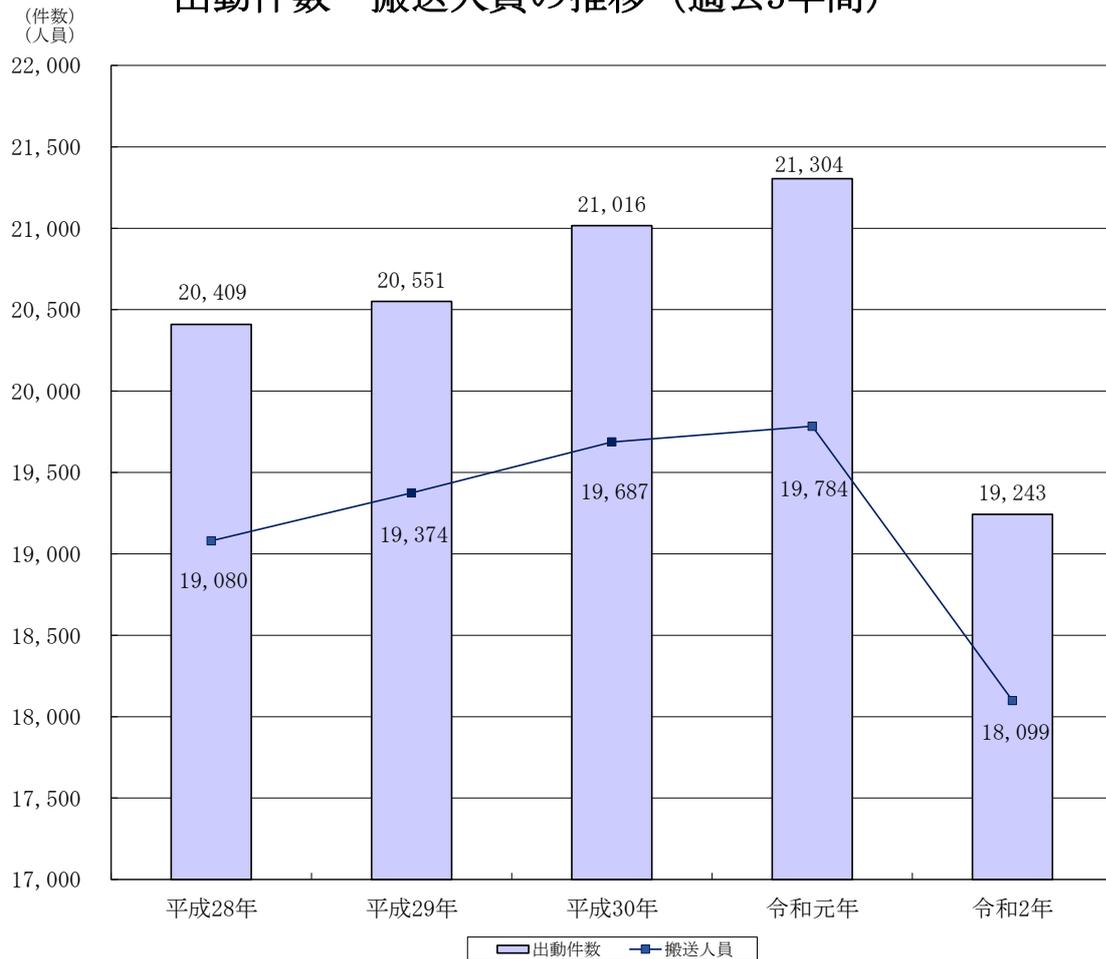
事故種別	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他	
総件数	19,243	14	6	15	1,370	164	112	3,206	62	168	11,834	1,828	464	
署別出動件数	久留米消防署	11,565	12	4	6	887	81	65	1,887	46	124	7,149	975	329
	三井消防署	3,178	1		2	198	21	19	577	6	15	1,828	445	66
	浮羽消防署	1,620		2		104	21	13	276	3	8	1,004	160	29
	三瀬消防署	1,457			4	95	19	12	250	5	6	927	115	24
	大川消防署	1,423	1		3	86	22	3	216	2	15	926	133	16
構成市町別出動件数	久留米市	13,358	12	5	8	983	101	82	2,182	49	132	8,243	1,210	351
	大川市	1,433	1		2	88	22	4	213	2	14	935	134	18
	小都市	2,256	1		2	121	7	16	416	4	10	1,258	369	52
	うきは市	1,134		1		70	17	9	203	3	4	707	99	21
	大刀洗町	567				58	8		110	1	3	366	7	14
	大木町	466			2	25	9	1	82	3	5	322	9	8
	その他	29			1	25						3		

※事故種別のその他は、飲酒によるもの、受傷機転が不明なもの及び誤報などが含まれる。

### 熱中症による搬送人員

	合計	久留米市	大川市	小都市	うきは市	大刀洗町	大木町
令和2年	273	190	23	27	17	7	9
令和元年	303	196	27	37	23	11	9

## 出動件数・搬送人員の推移（過去5年間）



区分	年別	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
出場件数		20,409	20,551	21,016	21,304	19,243
搬送人員		19,080	19,374	19,687	19,784	18,099

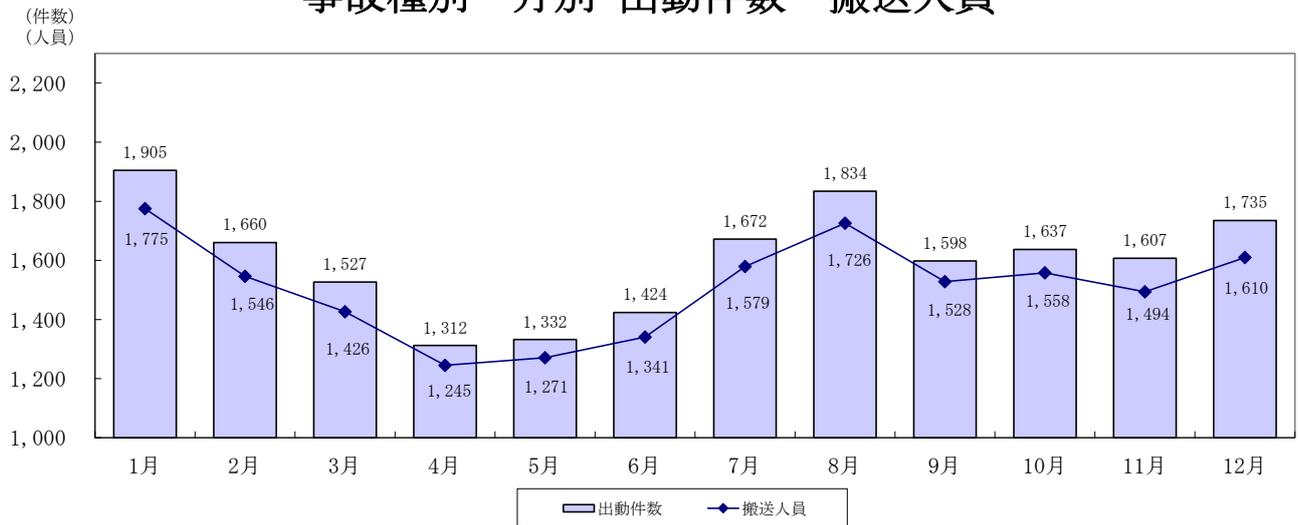
## 救急搬送時間の推移（過去5年間）

入電～病院到着

(分)

市町別	年別	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
久留米広域		26.9	26.5	26.3	27.2	27.8
久留米市		25.5	25.2	24.9	26.0	26.7
大川市		26.8	26.7	27.0	26.5	27.1
小郡市		27.3	26.7	27.2	28.3	27.8
うきは市		38.0	36.3	35.4	35.4	36.6
大刀洗町		32.3	31.0	30.9	30.2	32.4
大木町		29.5	30.3	32.1	32.9	32.4

## 事故種別・月別 出動件数・搬送人員



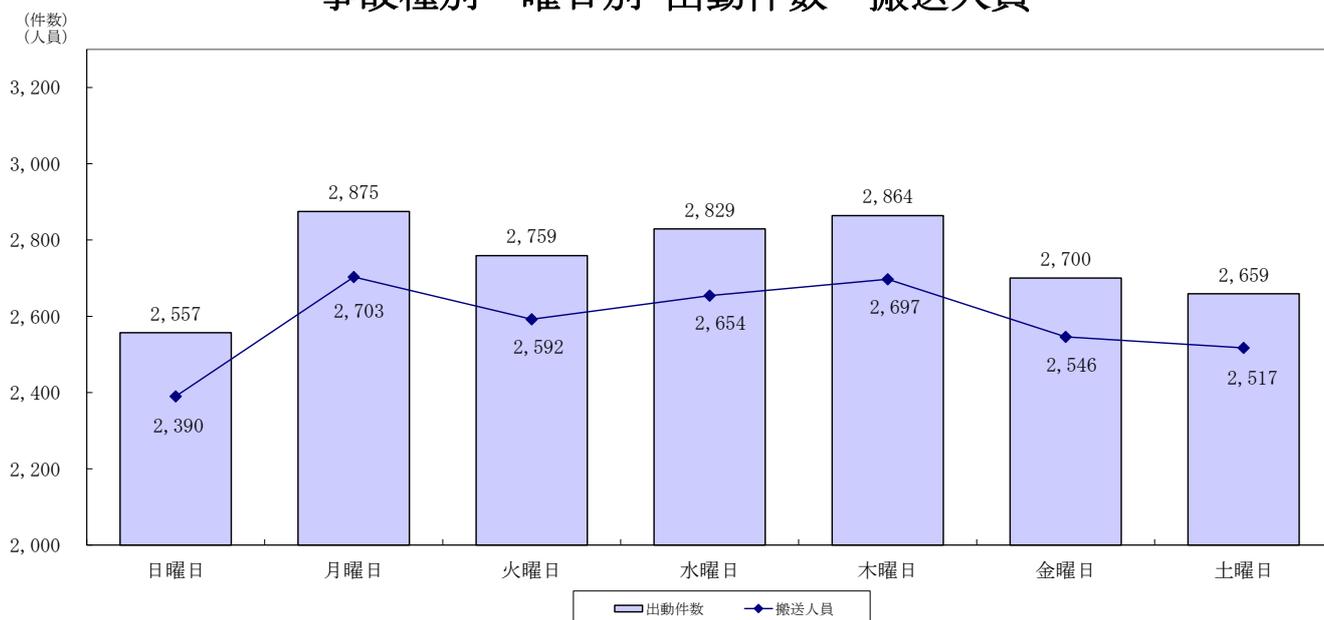
### 月別出動件数

事故種別 月別	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他
合計	19,243	14	6	15	1,370	164	112	3,206	62	168	11,834	1,828	464
1月	1,905			2	112	9	7	334	6	19	1,201	173	42
2月	1,660	4		1	130	7	12	258	4	19	1,011	160	54
3月	1,527			1	107	10	6	237	6	11	929	180	40
4月	1,312				87	10		202	4	12	832	137	28
5月	1,332	1		1	71	8		263	3	7	796	147	35
6月	1,424		2	4	107	15	7	179	7	11	926	135	31
7月	1,672	2	4	1	114	15	13	268	5	21	1,034	155	40
8月	1,834			2	125	39	19	255	6	22	1,158	165	43
9月	1,598	1		1	130	13	10	256	5	16	991	145	30
10月	1,637				127	13	19	320	5	16	990	118	29
11月	1,607	1		2	140	17	14	280	6	6	943	153	45
12月	1,735	5			120	8	5	354	5	8	1,023	160	47

### 月別搬送人員

事故種別 月別	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他
合計	18,099	13	1	4	1,366	163	114	3,102	59	127	11,324	1,824	2
1月	1,775				116	9	7	320	7	14	1,130	172	
2月	1,546	3		1	138	7	13	249	4	15	956	160	
3月	1,426				105	10	7	234	5	7	878	180	
4月	1,245				89	10		195	6	10	798	137	
5月	1,271	1			74	8		260	2	5	775	146	
6月	1,341			2	106	15	6	174	7	9	888	134	
7月	1,579	2	1	1	116	15	13	257	3	16	1,000	155	
8月	1,726				130	40	19	240	6	15	1,111	165	
9月	1,528	1			130	12	10	251	4	15	960	145	
10月	1,558				125	12	19	312	5	13	954	118	
11月	1,494				127	17	15	270	6	2	903	152	2
12月	1,610	6			110	8	5	340	4	6	971	160	

## 事故種別・曜日別 出動件数・搬送人員



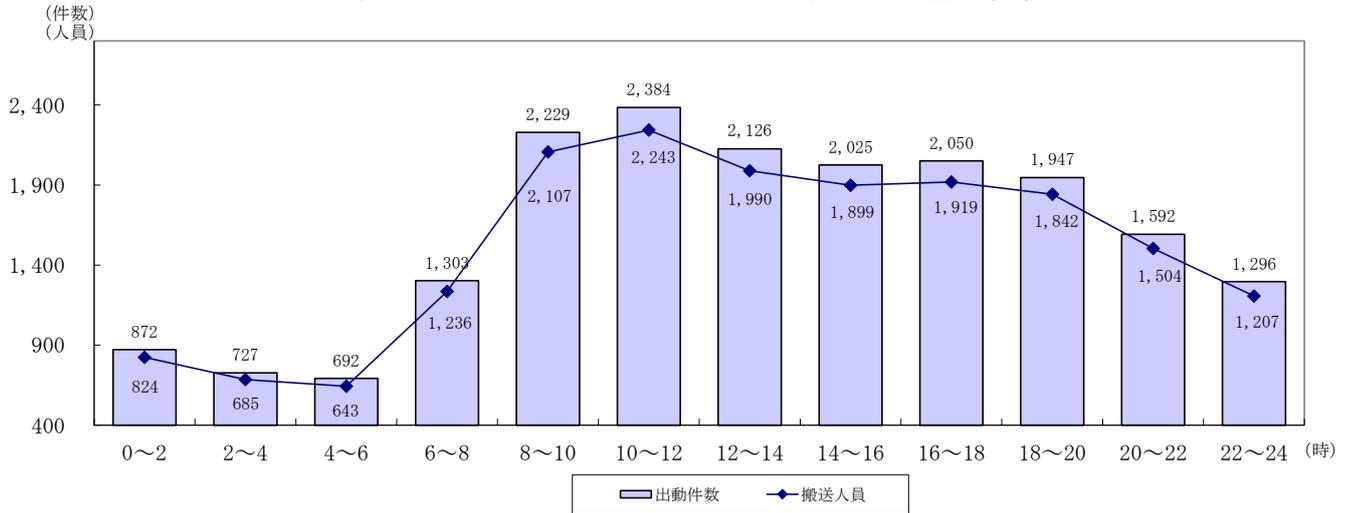
### 曜日別出動件数

事故種別 曜日別	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他
合計	19,243	14	6	15	1,370	164	112	3,206	62	168	11,834	1,828	464
日曜日	2,557			4	158	9	26	440	9	34	1,655	151	71
月曜日	2,875	3	4		190	23	7	463	8	25	1,806	282	64
火曜日	2,759	2		6	191	30	14	480	7	25	1,659	283	62
水曜日	2,829	1		2	220	29	14	446	6	23	1,734	293	61
木曜日	2,864	3		3	231	32	14	473	10	23	1,730	282	63
金曜日	2,700	2			194	24	15	453	8	23	1,602	307	72
土曜日	2,659	3	2		186	17	22	451	14	15	1,648	230	71

### 曜日別搬送人員

事故種別 曜日別	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他
合計	18,099	13	1	4	1,366	163	114	3,102	59	127	11,324	1,824	2
日曜日	2,390			1	158	9	25	426	11	29	1,581	150	
月曜日	2,703	2	1		184	21	7	450	7	17	1,732	282	
火曜日	2,592	2		3	188	30	14	466	6	18	1,584	281	
水曜日	2,654				218	30	14	434	5	13	1,646	292	2
木曜日	2,697	3			227	32	14	456	9	18	1,656	282	
金曜日	2,546	2			189	24	18	436	8	17	1,545	307	
土曜日	2,517	4			202	17	22	434	13	15	1,580	230	

## 事故種別・時間帯別 出動件数・搬送人員



### 時間帯別出動件数

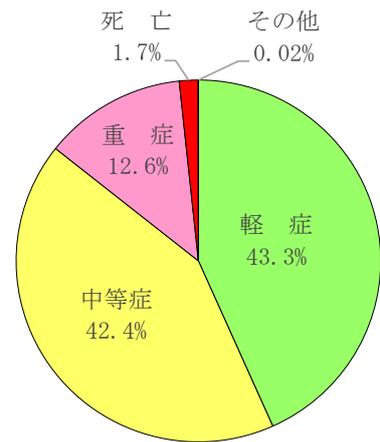
事故種別 時間帯別	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他
合計	19,243	14	6	15	1,370	164	112	3,206	62	168	11,834	1,828	464
0~2	872	1			26	3		106	10	7	669	33	17
2~4	727	1			12	2		85	7	13	555	33	19
4~6	692	1			24			101	3	9	508	24	22
6~8	1,303		2	2	103	4	1	189	2	11	933	33	23
8~10	2,229	1		1	173	20	7	444	3	19	1,350	167	44
10~12	2,384	3		1	181	38	24	415	3	11	1,241	414	53
12~14	2,126	3	2	2	156	22	23	358		14	1,161	332	53
14~16	2,025	3	1	2	190	41	17	326	3	16	1,118	254	54
16~18	2,050		1	5	199	24	12	382	8	19	1,069	277	54
18~20	1,947			1	180	4	15	359	7	16	1,187	129	49
20~22	1,592			1	72	4	12	236	7	21	1,120	84	35
22~24	1,296	1			54	2	1	205	9	12	923	48	41

### 時間帯別搬送人員

事故種別 時間帯別	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	転院搬送	その他
合計	18,099	13	1	4	1,366	163	114	3,102	59	127	11,324	1,824	2
0~2	824	1			27	3		102	9	5	644	33	
2~4	685	1			16	2		83	6	12	532	33	
4~6	643	1			24			99	3	7	484	24	1
6~8	1,236				102	4	1	186	1	8	901	33	
8~10	2,107	1			167	19	7	433	3	16	1,294	167	
10~12	2,243	2		1	174	38	24	398	2	6	1,184	414	
12~14	1,990	2	1		151	23	22	344		10	1,104	332	1
14~16	1,899	4			193	40	17	317	4	12	1,058	254	
16~18	1,919			2	202	24	12	368	8	10	1,017	276	
18~20	1,842				180	4	17	345	7	14	1,147	128	
20~22	1,504			1	73	4	13	230	7	17	1,076	83	
22~24	1,207	1			57	2	1	197	9	10	883	47	

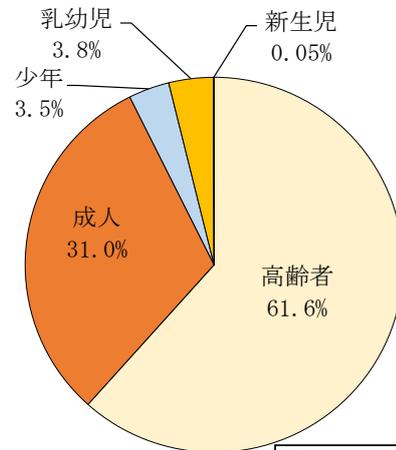
## 事故種別・傷病程度別 搬送人員

区分 事故種別	合計	傷病程度別				
		死亡	重症	中等症	軽症	その他
合計	18,099	302	2,289	7,666	7,839	3
火災	13		7	3	3	
自然災害	1				1	
水難	4	1	3			
交通	1,366	3	70	269	1,024	
労働災害	163	1	19	70	73	
運動競技	114		1	44	69	
一般負傷	3,102	42	241	1,411	1,408	
加害	59		4	11	44	
自損行為	127	27	38	34	28	
急病	11,324	220	1,365	4,693	5,044	2
その他	1,826	8	541	1,131	145	1



## 事故種別・年齢区分別搬送人員

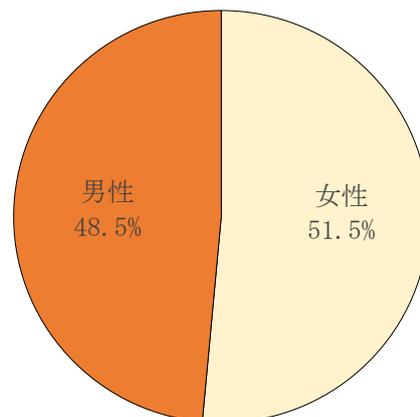
区分 事故種別	合計	年齢別				
		新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者
合計	18,099	9	690	633	5,613	11,154
火災	13				7	6
自然災害	1					1
水難	4			2		2
交通	1,366		26	152	799	389
労働災害	163				133	30
運動競技	114			50	58	6
一般負傷	3,102		191	81	457	2,373
加害	59		1	7	38	13
自損行為	127			9	95	23
急病	11,324	9	453	314	3,505	7,043
その他	1,826		19	18	521	1,268



新生児・・・生後28日以内  
 乳幼児・・・生後29日～6歳  
 少年・・・7歳～17歳  
 成人・・・18歳～64歳  
 高齢者・・・65歳以上

## 事故種別・性別搬送人員

区分 事故種別	合計	性別	
		男性	女性
合計	18,099	8,786	9,313
火災	13	5	8
自然災害	1	1	
水難	4	3	1
交通	1,366	757	609
労働災害	163	133	30
運動競技	114	93	21
一般負傷	3,102	1,295	1,807
加害	59	40	19
自損行為	127	53	74
急病	11,324	5,573	5,751
その他	1,826	833	993



※1 事故種別のその他には、転院搬送（病院間の搬送）を含む。

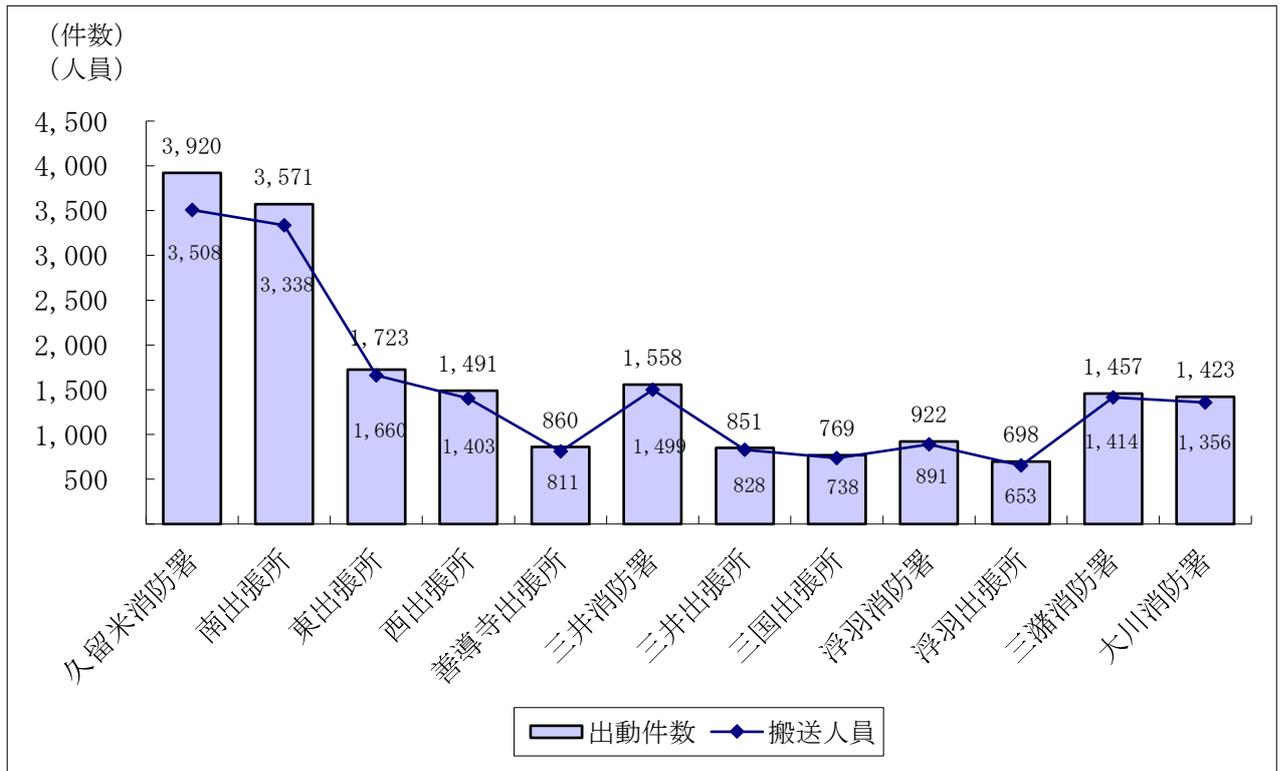
※2 グラフの割合は四捨五入しているため、割合の合計が100%とまらない場合がある。

## 年齢区分別・傷病程度別 搬送人員

傷病程度	合計	傷病程度別						
		死亡	重症	中等症	軽症	その他		
久留米広域消防本部	新生児	9		1	3	5		<p style="text-align: center;">傷病程度別搬送人員割合</p> <p>死亡 1.7%</p> <p>重症 12.6%    中等症 42.4%    軽症 43.3%</p> <p style="text-align: center;">年齢区分別搬送人員割合</p> <p>乳幼児 3.8%</p> <p>少年 3.5%    成人 31.0%    高齢者 61.6%</p> <p>新生児 0.05%</p>
	乳幼児	690	1	6	129	554		
	少年	633	4	23	141	465		
	成人	5,613	61	544	1,822	3,183	3	
	高齢者	11,154	236	1,715	5,571	3,632		
	合計	18,099	302	2,289	7,666	7,839	3	
久留米市	新生児	6		1	2	3		<p style="text-align: center;">傷病程度別搬送人員割合</p> <p>死亡 1.4%</p> <p>重症 13.1%    中等症 39.1%    軽症 46.4%</p> <p style="text-align: center;">年齢区分別搬送人員割合</p> <p>乳幼児 3.7%</p> <p>少年 3.5%    成人 33.4%    高齢者 59.3%</p> <p>新生児 0.05%</p>
	乳幼児	464	1	4	69	390		
	少年	440	1	14	85	340		
	成人	4,168	40	418	1,280	2,428	2	
	高齢者	7,397	136	1,202	3,437	2,622		
	小計	12,475	178	1,639	4,873	5,783	2	
大川市	新生児							<p style="text-align: center;">傷病程度別搬送人員割合</p> <p>死亡 3.3%</p> <p>重症 13.2%    中等症 49.2%    軽症 34.3%</p> <p style="text-align: center;">年齢区分別搬送人員割合</p> <p>乳幼児 3.1%</p> <p>少年 2.4%    成人 25.3%    高齢者 69.3%</p>
	乳幼児	42			15	27		
	少年	33	2	3	10	18		
	成人	345	6	35	124	180		
	高齢者	946	37	142	523	244		
	小計	1,366	45	180	672	469		
小郡市	新生児	1			1			<p style="text-align: center;">傷病程度別搬送人員割合</p> <p>死亡 1.8%</p> <p>重症 10.9%    中等症 50.1%    軽症 37.2%</p> <p style="text-align: center;">年齢区分別搬送人員割合</p> <p>乳幼児 4.1%</p> <p>少年 3.7%    成人 26.9%    高齢者 65.3%</p> <p>新生児 0.05%</p>
	乳幼児	88		1	21	66		
	少年	81	1	2	21	57		
	成人	584	8	46	235	294	1	
	高齢者	1,417	29	187	810	391		
	小計	2,171	38	236	1,088	808	1	
うきは市	新生児	2				2		<p style="text-align: center;">傷病程度別搬送人員割合</p> <p>死亡 1.9%</p> <p>重症 11.8%    中等症 49.5%    軽症 36.8%</p> <p style="text-align: center;">年齢区分別搬送人員割合</p> <p>乳幼児 4.7%</p> <p>少年 3.8%    成人 22.7%    高齢者 68.6%</p> <p>新生児 0.2%</p>
	乳幼児	51			14	37		
	少年	41		1	9	31		
	成人	245	4	24	87	130		
	高齢者	740	17	102	424	197		
	小計	1,079	21	127	534	397		
大刀洗町	新生児							<p style="text-align: center;">傷病程度別搬送人員割合</p> <p>死亡 1.7%</p> <p>重症 9.6%    中等症 50.3%    高齢者 38.4%</p> <p style="text-align: center;">年齢区分別搬送人員割合</p> <p>乳幼児 4.5%</p> <p>少年 4.5%    成人 29.7%    高齢者 61.4%</p>
	乳幼児	24		1	6	17		
	少年	24		1	13	10		
	成人	160	2	13	56	89		
	高齢者	331	7	37	196	91		
	小計	539	9	52	271	207		
大木町	新生児							<p style="text-align: center;">傷病程度別搬送人員割合</p> <p>死亡 2.5%</p> <p>重症 11.9%    中等症 49.7%    軽症 36.0%</p> <p style="text-align: center;">年齢区分別搬送人員割合</p> <p>乳幼児 4.7%</p> <p>少年 2.5%    成人 21.3%    高齢者 71.5%</p>
	乳幼児	21			4	17		
	少年	11		2	3	6		
	成人	95	1	7	35	52		
	高齢者	318	10	44	179	85		
	小計	445	11	53	221	160		

※1 上記のほか、管轄外等（高速道路及び管轄外）に出場し、24名の傷病者を搬送。  
 ※2 グラフの割合は四捨五入しているため、割合の合計が100%とならない場合がある。

## 署所別 出動件数・搬送人員



署所別	久留米消防署	南出張所	東出張所	西出張所	善導寺出張所	三井消防署	三井出張所
区分	久留米消防署	南出張所	東出張所	西出張所	善導寺出張所	三井消防署	三井出張所
出動件数	3,920	3,571	1,723	1,491	860	1,558	851
搬送人員	3,508	3,338	1,660	1,403	811	1,499	828

署所別	三国出張所	浮羽消防署	浮羽出張所	三瀨消防署	大川消防署	合計
区分	三国出張所	浮羽消防署	浮羽出張所	三瀨消防署	大川消防署	合計
出動件数	769	922	698	1,457	1,423	19,243
搬送人員	738	891	653	1,414	1,356	18,099

## 事故種別応急処置状況

事故種別	対象人員	止血	固定	人工呼吸	胸骨圧迫	心肺蘇生		酸素吸入	気道確保				保温	被覆	在宅療法継続			シヨックパンツ	除細動(AED)	静脈路確保(輸液)	静脈路確保		薬剤投与	血圧測定	聴診器	血中酸素飽和度	心電図	血糖測定	ブドウ糖投与	その他	処置合計		
						うち自動	うち自動		*1	*2	*3	*4			*A	*B	*C				CPA前	CPA後											
急病	11,324	58	172	47	1	301	11	2,788	374	47	10	178	3	395	29	58	2	1	55	1	41	113	53	60	48	10,643	5,772	11,013	5,954	41	16	3,083	41,368
交通事故	1,366	26	861	1		5		72	4			2		19	132					1	4	4				1,344	608	1,355	123			415	4,976
一般負傷	3,102	134	798	11		63	6	240	66	5	7	49	5	102	437	6		6		2	13		13	11	2,906	842	3,026	688			1,008	10,444	
その他	2,307	38	164	16		50		760	54	8	1	20		88	76	2	1	1		6	7	3	4	3	2,222	803	2,254	786			498	7,865	
計	18,099	256	1,995	75	1	419	17	3,860	498	60	18	249	8	604	674	66	3	1	62	1	50	137	60	77	62	17,115	8,025	17,648	7,551	41	16	5,004	64,653

(注) 気道確保欄の

- \* 1には、経鼻エアウェイを使用して気道確保を行った件数の内数
- \* 2には、喉頭鏡・鉗子等により異物除去を行った件数の内数
- \* 3には、救急救命士がラリングルマスク等を行った件数の内数
- \* 4には、救急救命士が気管挿管処置を行った件数の内数

(注) 在宅療法継続欄の

- \* Aには、在宅中心静脈栄養管理・在宅化学療法等により点滴が施されている傷病者に対して応急処置等を行った件数の内数
- \* Bには、気管切開孔又は、気管瘻・人工肛門等の外瘻が施されている傷病者に対して応急処置等を行った件数の内数
- \* Cには、\* A・\* B以外の傷病者に対し応急処置等を行った件数の内数

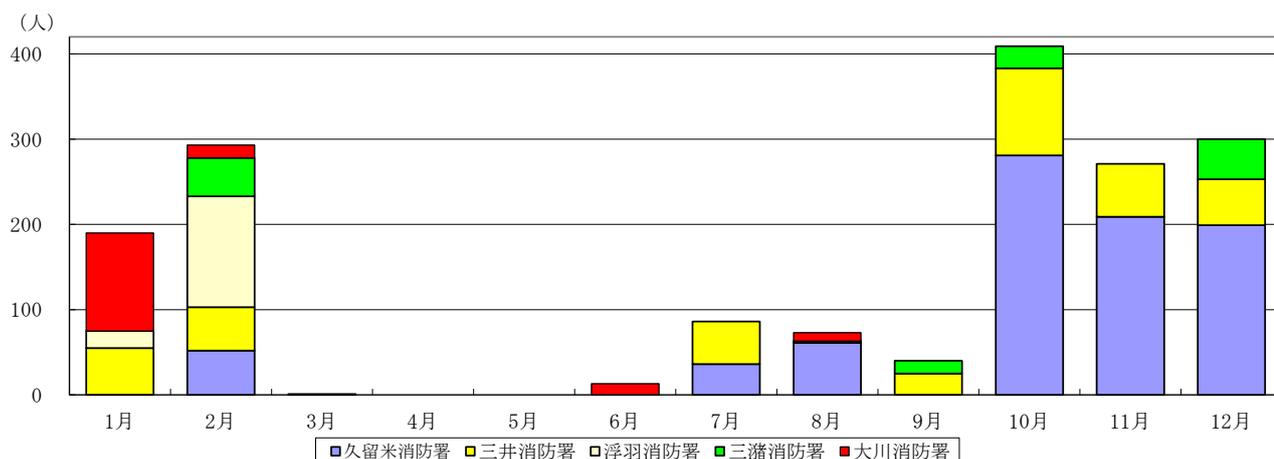
## 事故種別・校区別 出動件数

市町	種別	合計	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損	急病	その他				
	校区													200	400	600	800
	合計	19,243	14	6	15	1,370	164	112	3,206	62	168	11,834	2,292				
留米市	篠山	324			1	32	5	2	48		9	175	52	324			
	京町	273				16	3		40	2	2	195	15	273			
	荘島	229	1	1		21		3	40		1	149	13	229			
	鳥飼	378		2	1	19	1		63	2	6	241	43	378			
	金丸	634			1	42	1	2	99	1	7	370	111	634			
	日吉	705				47	2		130	17	7	415	87	705			
	西国分	668			1	34	3	2	107	1	4	361	155	668			
	南薫	583	2		1	41	4	4	100	3	10	376	42	583			
	東国分	574				42	7	26	81		5	316	97	574			
	小森野	152				12		3	15		1	108	13	152			
	長門石	274	1		1	10			31	1		206	24	274			
	御井	455		1		38	4	1	79	3	6	289	34	455			
	南	716				57	1	5	124	5	6	449	69	716			
	上津	712				64	6	2	114		11	439	76	712			
	山川	273				34	4		42		1	166	26	273			
	合川	724	1			75	9	3	124	3	10	436	63	724			
	高良内	356				16	2	1	77		6	231	23	356			
	青峰	79				3			10		1	58	7	79			
	宮ノ陣	454	2			32	7		74	2	2	268	67	454			
	山本	171				9	1	1	28	1	2	99	30	171			
	草野	92				7			13			68	4	92			
	善導寺	285				15	3	3	51		4	185	24	285			
	大橋	59				6	1		10			40	2	59			
	安武	220				17	1	1	41	2	1	137	20	220			
	大善寺	292				26	1	1	52		3	186	23	292			
	荒木	584				53	3		98	1	6	352	71	584			
	津福	599	3			42	2	1	95		6	400	50	599			
	水縄	104		1		5	1	1	7		3	58	28	104			
	竹野	68				4	2	1	9			48	4	68			
	川会	72				5		1	9	1	1	49	6	72			
	柴刈	68	2			7			18		1	37	3	68			
	田主丸	248				12	2	2	41		1	149	41	248			
水分	60				8			10			35	7	60				
船越	78				6	2	1	14			51	4	78				
北野	300				19	2	2	50	1	3	203	20	300				
弓削	92				17	1		12			59	3	92				
大城	137				10		3	28		2	91	3	137				
金島	139				4	4	1	9			55	66	139				

## 事故種別・校区别 出動件数

市町 校区	種別	合計	火災	自然 災害	水難	交通	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損	急病	その他	200 400 600 800			
久留米市	城島	204				14	3	5	37	1		136	8	204			
	下田	34				1			11			20	2	34			
	青木	133			1	5	1		18			73	35	133			
	浮島	21				2			3	1		14	1	21			
	江上	124			1	5	2		25		1	81	9	124			
	三瀧	279				28	7		38	1	1	169	35	279			
	犬塚	210				12	2	4	38			113	41	210			
	西牟田	122				9	1		19		2	87	4	122			
大川市	大川	531	1		1	33	3		84	1	7	288	113	531			
	三又	165			1	7	2		25			127	3	165			
	木室	185				9	5		30		1	120	20	185			
	田口	228				20	7	1	34	1	2	158	5	228			
	川口	214				13	5		21		3	161	11	214			
	大野島	110				6		3	19		1	81		110			
小郡市	小郡	592			1	27	2	1	99	1	3	256	202	592			
	三国	519	1		1	18		2	101	2	3	315	76	519			
	立石	273				20	2	6	42		2	133	68	273			
	御原	114				12	1		25			73	3	114			
	味坂	122				11		2	25			78	6	122			
	大原	235				15	1	3	57		1	150	8	235			
	東野	260				12	1		40		1	162	44	260			
	のぞみが丘	141				6		2	27	1		91	14	141			
うきは市	吉井	196				11	1	1	26	2		119	36	196			
	千年	167		1		12	1	2	25	1	1	101	23	167			
	福富	108				13	2		24			67	2	108			
	江南	100				5	1	1	26			59	8	100			
	御幸	258				12	5	4	44			168	25	258			
	姫治	18					1		4			13		18			
	山春	103				9	1	1	20		1	66	5	103			
	大石	141				6	3		25		1	85	21	141			
	妹川	16				2			3		1	10		16			
	小塩	27					2		6			19		27			
大刀洗町	大刀洗	174				19	2		35			111	7	174			
	本郷	150				14	4		27		1	102	2	150			
	大堰	79				8			21	1	2	42	5	79			
	菊池	164				17	2		27			111	7	164			
大木町	大堯	88				1	3		16		2	65	1	88			
	木佐木	156				7	4		35			104	6	156			
	大溝	222			2	17	2	1	31	3	3	153	10	222			
その他 管轄外等	高速	25				23						2		25			
	管轄外	3				2						1		3			
	県外	1			1									1			

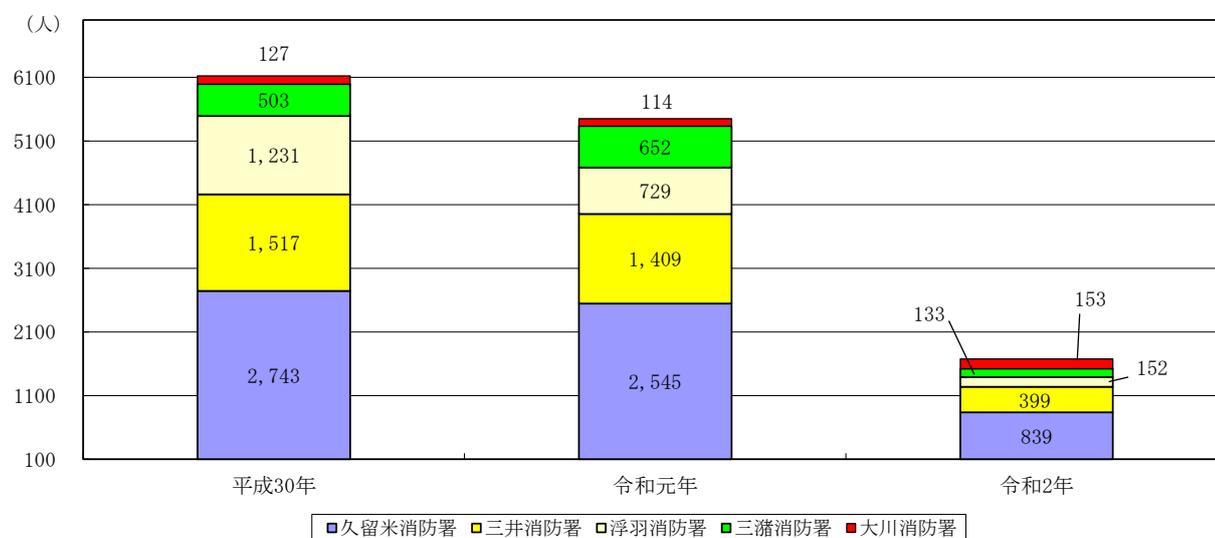
## 普通救命講習実施状況



受講者数 1,676名      人口受講率 0.4%

月	久留米消防署	三井消防署	浮羽消防署	三瀨消防署	大川消防署	合計(人)
1月	0	55	20	0	115	190
2月	52	51	130	45	15	293
3月	1	0	0	0	0	1
4月	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	13	13
7月	36	50	0	0	0	86
8月	61	0	2	0	10	73
9月	0	25	0	15	0	40
10月	281	102	0	26	0	409
11月	209	62	0	0	0	271
12月	199	54	0	47	0	300
合計	839	399	152	133	153	1,676

## 過去3年間の普通救命講習受講者の推移



年	久留米消防署	三井消防署	浮羽消防署	三瀨消防署	大川消防署	合計(人)
平成30年	2,743	1,517	1,231	503	127	6,121
令和元年	2,545	1,409	729	652	114	5,449
令和2年	839	399	152	133	153	1,676

# 救 助 統 計

# 救 助 の 概 要

## 1 救助出動件数は70件増加

令和2年中における救助出動件数は、305件（前年比+70件）、救助活動件数は189件（前年比+24件）となっており、出動件数、活動件数ともに増加しています。

構成市町別の出動件数は、久留米市239件（前年比+84件）、大川市8件（前年比-16件）、小郡市17件（前年比-9件）、うきは市20件（前年比+11件）、大刀洗町10件（前年比-3件）、大木町4件（前年比±0件）、その他7件（前年比+3件）となっています。

## 2 自然災害が59件増加

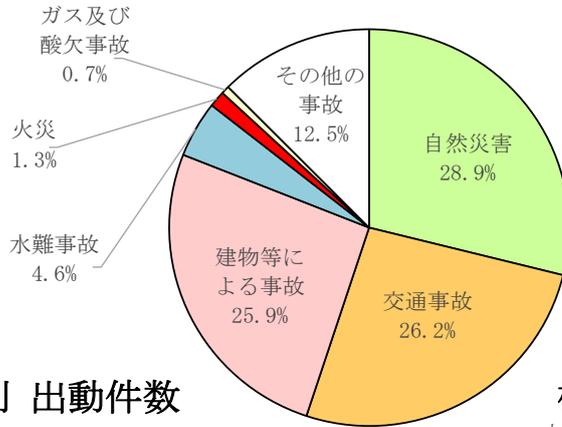
主な事故種別では、自然災害での事故が88件（前年比+59件）と全体の28.9%を占め、次いで交通事故80件（前年比+16件）で26.2%、建物等による事故が79件（前年比-1件）で25.9%となっています。

なお、自然災害のうち令和2年7月豪雨に伴い発生した災害は、83件となっています。

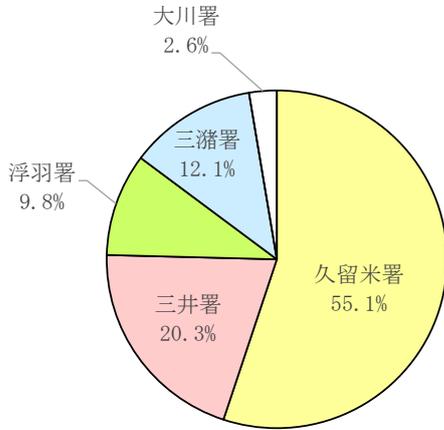
## 3 救出人員の年齢区分別1位は65歳以上

令和2年中における救出人員は323人で、年齢区分別による救出人員は、「65歳以上」が125人で全体の38.7%を占め、次いで「50～64歳以下」が79人で24.5%、「30～39歳以下」が31人で9.6%となっています。

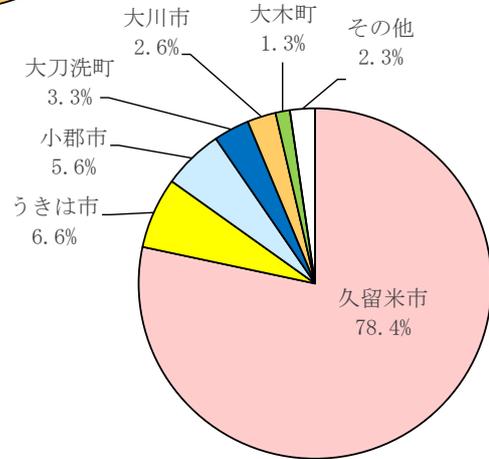
## 事故種別 出動件数 (総件数305件)



## 署別 出動件数



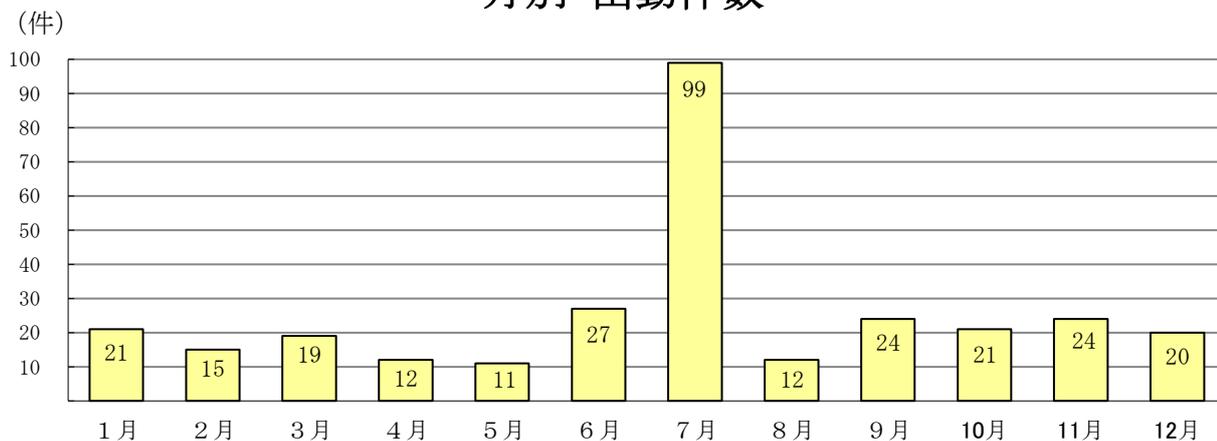
## 構成市別 出動件数



事故種別	合計	火災	交通事故	水難事故	自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	破裂事故	その他の事故
令和2年出動件数	305	4	80	14	88		79	2		38
令和元年出動件数	235	1	64	21	29	6	80	1		33
前年比	+70	+3	+16	-7	+59	-6	-1	+1		+5
令和2年活動件数	189	2	30	6	72		52			27
構成市町別出動件数	久留米市	239	3	45	8	82	74	2		25
	(前年比)	+84	+3	+1	+2	+67	-5	+8	+1	+7
	大川市	8		5	2					1
	(前年比)	-16	-1	+2	-5	-1	-7			-4
	小郡市	17	1	9	1		2			4
	(前年比)	-9	+1	+2	-3	-7	-1	-2		+1
	うきは市	20		8		3	3			6
	(前年比)	+11		+4	-1	+2	+2			+4
	大刀洗町	10		6		3				1
(前年比)	-3		+3	-1	-2	-1			-2	
大木町	4		1	2					1	
(前年比)				+1		-1				
その他	7		6	1						
(前年比)	+3		+4						-1	
署別出動件数	久留米消防署	168	3	40	7	25	69	2		22
	三井消防署	62	1	18	1	34	3			5
	浮羽消防署	30		11		8	4			7
	三瀧消防署	37		6	4	21	3			3
	大川消防署	8		5	2					1

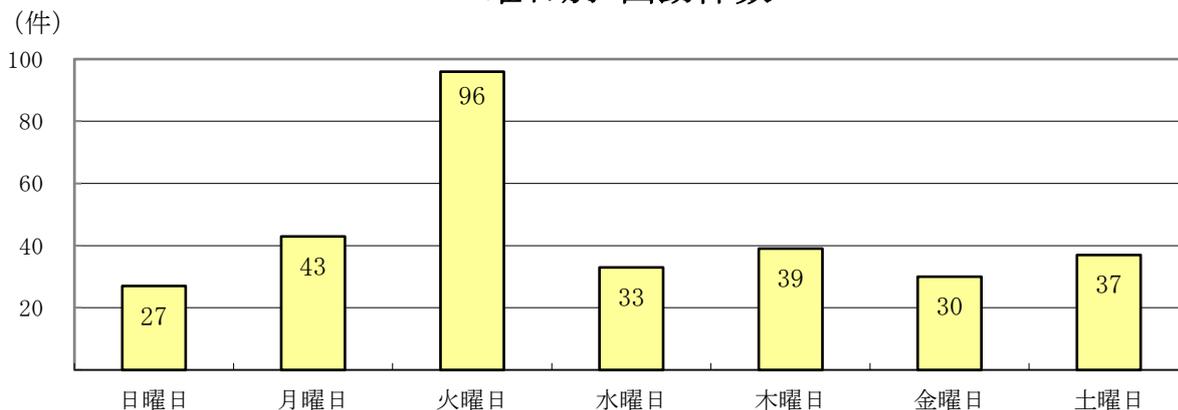
※ 各グラフ中の割合は、四捨五入しているため、割合の合計が100%とならない場合がある。

## 月別 出動件数



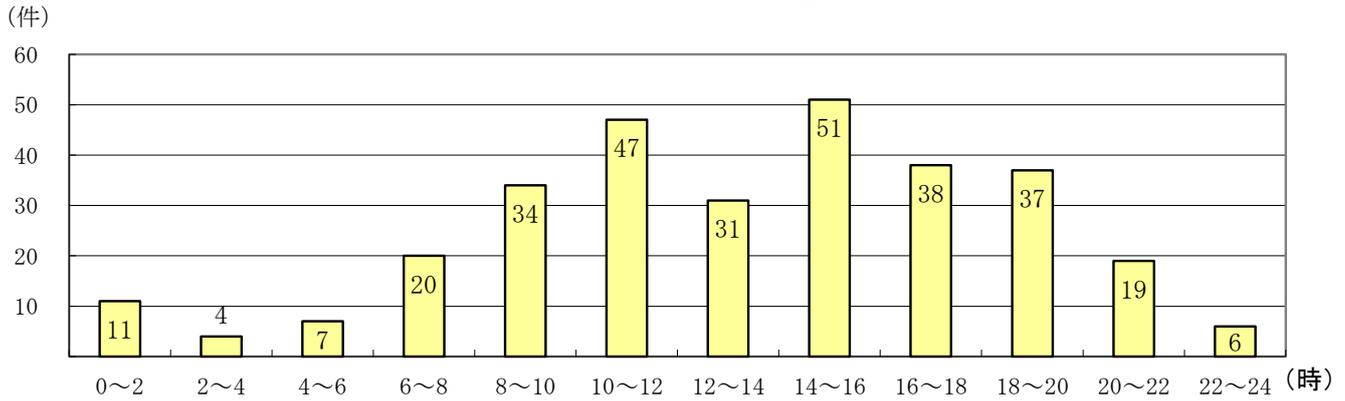
事故種別	合計	火災	交通	水難	自然災害	機械	建物	ガス酸欠	破裂	その他
合計	305	4	80	14	88		79	2		38
1月	21		7	1			10			3
2月	15	1	4	1			4			5
3月	19		7	1			8	1		2
4月	12		7				2			3
5月	11		5	1			3			2
6月	27		7	3	4		7	1		5
7月	99		7	1	83		6			2
8月	12		4	2			3			3
9月	24		5	1	1		12			5
10月	21	1	10	1			5			4
11月	24	1	9	2			10			2
12月	20	1	8				9			2

## 曜日別 出動件数



事故種別	計	火災	交通	水難	自然災害	機械	建物	ガス酸欠	破裂	その他
合計	305	4	80	14	88		79	2		38
日曜日	27	1	6	3			11			6
月曜日	43		13		14		12	1		3
火曜日	96		11	5	61		7			12
水曜日	33	1	9	3	7		8			5
木曜日	39		17	3			14			5
金曜日	30		13		1		11	1		4
土曜日	37	2	11		5		16			3

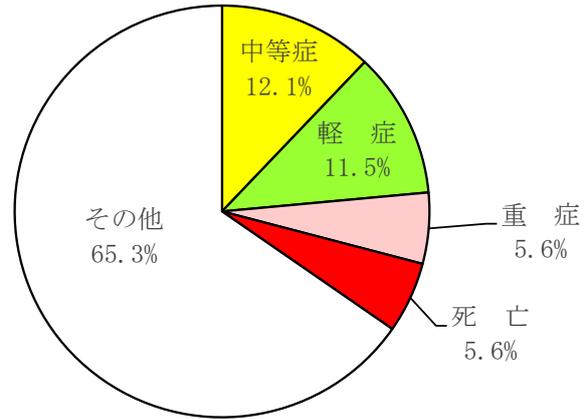
## 時間帯別 出動件数



事故種別 時間帯別	合計	火災	交通	水難	自然災害	機械	建物	ガス酸欠	破裂	その他
合計	305	4	80	14	88		79	2		38
0～2	11		3		2		5			1
2～4	4		1				3			
4～6	7		3				3			1
6～8	20		2	1	8		6			3
8～10	34		7	1	11		6	1		8
10～12	47	1	17	1	13		10	1		4
12～14	31		10	3	5		8			5
14～16	51	1	16	3	16		11			4
16～18	38		9	4	16		7			2
18～20	37	1	7	1	14		8			6
20～22	19	1	4		3		9			2
22～24	6		1				3			2

## 傷病程度別救出人員

程度別 事故種別	合計	死亡	重症	中等症	軽症	その他
合計	323	18	18	39	37	211
火災	2	1		1		
交通	36		5	9	22	
水難	7	4	1			2
自然災害	199			3	1	195
機械						
建物	52	9	8	20	6	9
ガス酸欠						
破裂						
その他	27	4	4	6	8	5

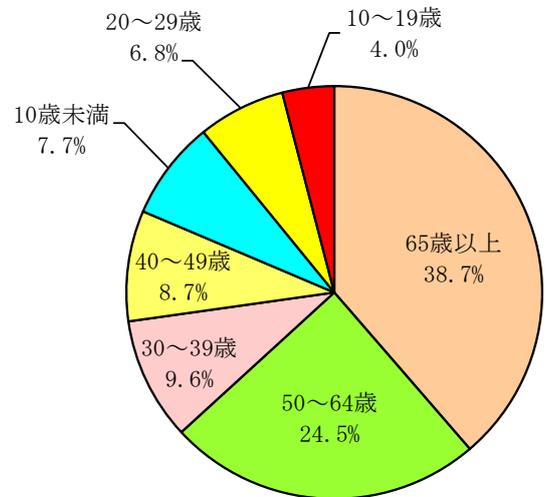


死亡…初診時において死亡が確認されたもの  
 重症…3週間以上の入院加療を必要とするもの  
 中等症…重症又は軽症以外のもの  
 軽症…入院加療を必要としないもの  
 その他…医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないもの

※ 傷病程度その他＝不搬送

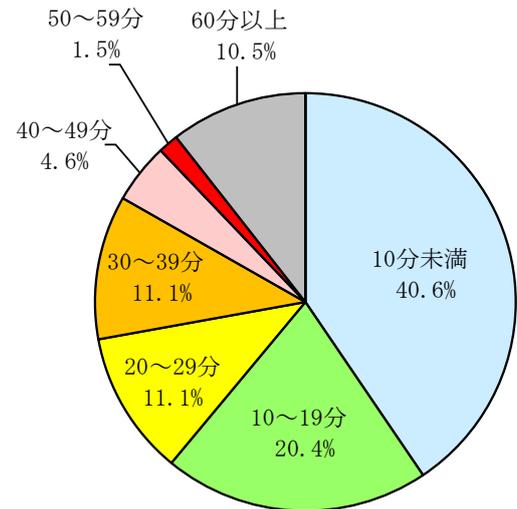
## 年齢別救出人員

年齢別 事故種別	合計	10歳未満	10歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～64歳	65歳以上	不明
合計	323	25	13	22	31	28	79	125		
火災	2						1	1		
交通	36			6	2	5	8	15		
水難	7		2				1	4		
自然災害	199	15	10	15	28	20	50	61		
機械										
建物	52	2		1	1	2	15	31		
ガス酸欠										
破裂										
その他	27	8	1			1	4	13		



## 救出時間別人員

救出時間 事故種別	合計	10分未満	10分～19分	20分～29分	30分～39分	40分～49分	50分～59分	60分以上	不明
合計	323	131	66	36	36	15	5	34	
火災	2	2							
交通	36	24	10	1	1				
水難	7	4		2				1	
自然災害	199	53	35	27	33	14	4	33	
機械									
建物	52	31	16	4	1				
ガス酸欠									
破裂									
その他	27	17	5	2	1	1	1		



※ グラフ中の割合は、四捨五入しているため、割合の合計が100%とまらない場合がある。

## 校区別 出動件数

市町	種別	合計	火災	交通	水難	自然災害	機械	建物	ガス酸欠	破裂	その他
	校区										
	合計	305	4	80	14	88		79	2		38
久留米市	篠山	3			2	1					
	京町	3			1			2			
	荘島	2		1				1			
	鳥飼	8		1		4		2			1
	金丸	12		1	1	1		8			1
	日吉	11			2			7			2
	西国分	5		1	1			2			1
	南薫	5			2			2			1
	東国分	10			2			6			2
	小森野	3		1	1			1			
	長門石	5						4			1
	御井	8			1		2	5			
	南	8	1					5			2
	上津	9			6			1	1		1
	山川	9	1		3		3	2			
	合川	17			1		12	2	1		1
	高良内	3			2						1
	青峰	4						4			
	宮ノ陣	7			2			5			
	山本										
	草野	2									2
	善導寺	5			1		2	1			1
	大橋	1									1
	安武	2			1			1			
	大善寺	3			1			2			
	荒木	6			2			1			3
	津福	10	1		2	1		5			1
	水縄	1			1						
	竹野	2			1		1				
	川会										
	柴刈	1			1						
	田主丸	5					3	1			1
	水分										
	船越	1					1				
北野	30			3		27					
弓削	2					2					
大城	2					2					
金島	2			1			1				
城島	18			1		14	2			1	
下田	1			1							
浮島											
青木	2					1				1	
江上	3				1	2					
三瀦	5			1		4					
犬塚	1			1							
西牟田	2			1			1				
小計	239	3		45	8	82		74	2	25	

## 校区別 出動件数

市 町	種別	合計	火災	交通	水難	自然災害	機械	建物	ガス酸欠	破裂	その他
	校区										
大川市	大川	1			1						
	三又	3		1	1						1
	木室										
	田口	3		3							
	川口										
	大野島	1		1							
	小計	8		5	2						1
小郡市	小郡	6		4	1						1
	三国	4	1					1			2
	立石	2		2							
	御原	1						1			
	味坂	2		2							
	大原	1		1							
	東野										
	のぞみが丘	1									1
小計	17	1	9	1			2			4	
うきは市	吉井	3		1				2			
	千年	5		2		2		1			
	福富	4		2		1					1
	江南										
	御幸	1		1							
	姫治										
	山春	2		1							1
	大石	1									1
	妹川	3		1							2
	小塩	1									1
小計	20		8		3		3			6	
大刀洗町	大刀洗	2		2							
	本郷	1									1
	大堰	6		3		3					
	菊池	1		1							
	小計	10		6		3					1
大木町	大莞										
	木佐木	1			1						
	大溝	3		1	1						1
	小計	4		1	2						1
その他 管轄外等	高速	5		5							
	管轄外	1		1							
	県外	1			1						
	小計	7		6	1						

# 資料編

# 歴 代 消 防 長

## 久留米広域消防本部

代	氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日
初代	野田 久雄	平成 21 年 4 月 1 日	平成 22 年 3 月 31 日
二代	岩橋 勝幸	平成 22 年 4 月 1 日	平成 24 年 3 月 31 日
三代	福田 義宜	平成 24 年 4 月 1 日	平成 27 年 3 月 31 日
四代	牟田 誠治	平成 27 年 4 月 1 日	平成 29 年 3 月 31 日
五代	井上 秀敏	平成 29 年 4 月 1 日	平成 31 年 3 月 31 日
六代	秋吉 弘章	平成 31 年 4 月 1 日	現在に至る

## 久留米市消防本部

代	氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日
初代	池上 秀吉	昭和 23 年 3 月 7 日	昭和 32 年 6 月 5 日
二代	中村恵三郎	昭和 32 年 9 月 2 日	昭和 40 年 5 月 31 日
三代	和田 正人	昭和 40 年 6 月 1 日	昭和 43 年 5 月 2 日
四代	野村 金吾	昭和 43 年 6 月 12 日	昭和 51 年 3 月 31 日
五代	後藤 時也	昭和 51 年 4 月 1 日	昭和 57 年 3 月 31 日
六代	中島 主税	昭和 57 年 4 月 14 日	昭和 63 年 3 月 31 日
七代	家中 一興	昭和 63 年 4 月 1 日	平成 6 年 3 月 31 日
八代	向 忠義	平成 6 年 4 月 1 日	平成 7 年 3 月 31 日
九代	石橋 郁朗	平成 7 年 4 月 1 日	平成 11 年 3 月 31 日
十代	塚本 篤行	平成 11 年 4 月 1 日	平成 12 年 3 月 31 日
十一代	上野 敏彦	平成 12 年 4 月 1 日	平成 15 年 3 月 31 日
十二代	板谷 克之	平成 15 年 4 月 1 日	平成 19 年 3 月 31 日
十三代	野田 久雄	平成 19 年 4 月 1 日	平成 21 年 3 月 31 日

## 福岡県南広域消防組合消防本部

代	氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日
初代	徳岡肇一郎	昭和 54 年 10 月 1 日	昭和 55 年 3 月 31 日
二代	矢野 正道	昭和 55 年 4 月 1 日	昭和 60 年 3 月 31 日
三代	大熊 正剛	昭和 60 年 4 月 1 日	昭和 62 年 3 月 31 日
四代	南 徳雄	昭和 62 年 4 月 1 日	平成 2 年 3 月 31 日
五代	宮崎 敬一	平成 2 年 4 月 1 日	平成 4 年 3 月 31 日
六代	安永 茂歳	平成 4 年 4 月 1 日	平成 7 年 3 月 31 日
七代	田中 政嗣	平成 7 年 4 月 1 日	平成 12 年 3 月 31 日
八代	権藤 英資	平成 12 年 4 月 1 日	平成 14 年 3 月 31 日
九代	岩橋 勝幸	平成 14 年 4 月 1 日	平成 21 年 3 月 31 日

## 大川市消防本部

代	氏名	就任年月日	退任年月日
	古賀 龍生	昭和 38 年 7 月 15 日	昭和 40 年 12 月 27 日
	井福志免夫	昭和 40 年 12 月 28 日	昭和 42 年 3 月 31 日
初代	井福志免夫	昭和 42 年 4 月 1 日	昭和 47 年 12 月 18 日
	田中 八郎	昭和 47 年 12 月 18 日	昭和 49 年 5 月 17 日
二代	宮崎 昌雄	昭和 49 年 5 月 17 日	昭和 50 年 8 月 12 日
	清松 利通	昭和 50 年 8 月 12 日	昭和 53 年 5 月 30 日
三代	清松 利通	昭和 53 年 5 月 31 日	昭和 57 年 1 月 18 日
	細川 孝冬	昭和 57 年 1 月 18 日	昭和 57 年 4 月 1 日
四代	水落 正人	昭和 57 年 4 月 1 日	昭和 58 年 4 月 30 日
	水落 正人	昭和 58 年 5 月 2 日	昭和 59 年 10 月 8 日
	福永 邦男	昭和 59 年 10 月 9 日	昭和 60 年 4 月 17 日
五代	田中 衛	昭和 60 年 4 月 17 日	昭和 63 年 11 月 22 日
六代	石橋 勇喜	昭和 63 年 11 月 22 日	平成 3 年 3 月 31 日
七代	長野 一生	平成 3 年 4 月 1 日	平成 5 年 9 月 6 日
	石井 忠晴	平成 5 年 9 月 7 日	平成 6 年 3 月 31 日
八代	田島 辰生	平成 6 年 4 月 1 日	平成 9 年 3 月 31 日
九代	古賀 昭夫	平成 9 年 4 月 1 日	平成 12 年 3 月 31 日
十代	岡 甚次郎	平成 12 年 4 月 1 日	平成 13 年 3 月 31 日
十一代	蔵森 洋	平成 13 年 4 月 1 日	平成 17 年 3 月 31 日
十二代	龍 巖	平成 17 年 4 月 1 日	平成 19 年 3 月 31 日
十三代	柿添 新一	平成 19 年 4 月 1 日	平成 22 年 3 月 31 日
十四代	今村 辰雄	平成 22 年 4 月 1 日	平成 24 年 3 月 31 日
十五代	田中 晴彦	平成 24 年 4 月 1 日	平成 26 年 3 月 31 日
十六代	大淵 慶人	平成 26 年 4 月 1 日	平成 27 年 3 月 31 日
十七代	持木 芳己	平成 27 年 4 月 1 日	平成 29 年 3 月 31 日
十八代	田中 嘉親	平成 29 年 4 月 1 日	平成 31 年 3 月 31 日

※「代」欄中の空欄は、他の職務と兼務で消防長を任命されていた者

# 久留米広域消防本部 沿革

年月	概要
21. 4	久留米広域消防本部発足 1 本部 4 署 7 出張所、職員定数 372 名 旧久留米市消防本部と旧福岡県南広域消防組合消防本部が統合し、久留米市、小郡市、うきは市、大刀洗町、大木町の 3 市 2 町を管轄する消防本部となる。
21. 8	財) 日本宝くじ協会より、消火・通報訓練指導車「けすゾウくん」の寄贈を受け、予防課に配置する。
21. 10	広報誌「久留米広域消防だより」を創刊する。
22. 6	位置情報通知システム（統合型）の運用実験に伴い、総務省より無償貸与される。救急車に映像伝送システムの導入を開始する。
22. 10	久留米市防災協会連合会より、事務連絡用車両（久防号）等の寄贈を受ける。
23. 3	東日本大震災被災地に、緊急消防援助隊として 3 隊 11 名を派遣する。
23. 10	高度救助隊が発足する。（久留米消防署 東出張所）
23. 11	消防音楽隊 30 周年記念演奏会開催
24. 3	久留米消防署本署及び南出張所を一部改築する。（女性専用浴室、仮眠室等）
24. 4	筑後地域 8 消防本部による指令センター共同運用開始に向けて、「筑後地域消防通信指令事務協議会」が発足する。 防災センターに防災映像システムを新設する。
24. 8	消防本部に全国瞬時警報システム（Jアラート）を整備する。
25. 1	第 59 回文化財防火デーにおける消防訓練が消防庁長官・文化庁長官視察のもと、大本山善導寺で実施される。
25. 3	総務省消防庁より、緊急消防援助隊都道府県隊の後方支援活動体制の充実強化を目的として、支援車（I 型）が無償貸与される。 株アサヒコーポレーション、株ブリヂストン久留米工場、株ムーンスターの 3 社より、消防本部防災インストラクター「スーパーラビット」の着ぐるみ受納
25. 4	南出張所に救急隊を増隊する。
25. 5	聖マリア病院設置の「高所カメラ」と消防本部庁舎を専用線で接続することにより災害現場のリアルタイムな映像が確認可能となる。 久留米消防署本署救急隊の派遣型救急ワークステーションの運用開始（久留米大学病院・聖マリア病院）
25. 6	水難救助用ボート 2 艇（浮羽消防署・三潴消防署）を整備する。
25. 10	東出張所の移転先用地拡張のため、用地（652 m <sup>2</sup> ）を購入する。
25. 10	久留米市防災協会連合会より、消防本部防災インストラクタースーパーラビット「ミミィ」の着ぐるみの寄贈を受ける。併せて、既存のスーパーラビットを「ハリィ」と命名する。
26. 9	消防体制整備計画・長期財政計画の策定

年月	概要
26. 1 1	緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練が久留米市にて開催される。 筑後地域消防指令センター・東出張所合同庁舎竣工
26. 1 2	久留米市建築協同組合等より、救急防災号受納
27. 1	久留米市ドクターカーの試験運行開始
27. 4	職員定数 381 名となる。
27. 5	善導寺出張所の移転（善導寺町島）のため、用地（2510.76 m <sup>2</sup> ）を購入する。 久留米市が高規格救急車を受納し、久留米消防署にて運用を開始する。
27. 7	ダイハツ工業株式会社より、査察検査車（軽乗用車）受納
27. 1 0	重大な消防法令違反対象物の是正に取り組む特別査察隊が発足する。 南出張所救急隊の派遣型救急ワークステーションの運用開始（聖マリア病院）
27. 1 1	筑後地域消防指令センターの仮運用開始・東出張所移転 消防救急デジタル無線の運用開始 Web119 の運用開始
27. 1 2	三潞消防署に資機材搬送車を新規配備する。
28. 4	筑後地域消防指令センターの本格運用開始 久留米市ドクターカー本格運行開始 三井消防署本署救急隊専従化
28. 4	福岡県総務部防災危機管理局へ職員派遣（1 名） 熊本地震被災地に、緊急消防援助隊として延べ 28 隊 97 名を派遣する。
28. 9	久留米市防災協会連合会より防火広報用着ぐるみ「アイリィ」受納 社会医療法人天神会より、事務連絡車受納
29. 1	善導寺出張所新庁舎竣工
29. 2	九州地区消防音楽隊フェスティバル in くるめを開催する。
29. 4	各消防署で実施していた検査事務等を消防本部予防課に一元化（事務移管）する。 防災センターをリニューアルし、体験施設の一部として地震体験車を導入する。 特別救助隊が発足する。（三井消防署本署）
29. 5	嘉麻市産業物火災被災地に、福岡県消防相互応援協定に基づき、延べ 26 隊 51 名を派遣する。
29. 7	平成 29 年 7 月九州北部豪雨被災地に、福岡県消防相互応援協定に基づき、延べ 156 隊 500 名を派遣する。 三潞地区防災協会より、事務連絡車受納
29. 8	消防広域化推進協議会の設置
29. 9	みい農業協同組合より、事務連絡車受納
29. 1 1	善導寺出張所新庁舎へ移転 三潞消防署新庁舎竣工 三井・小郡地区防災協会より、広報用ミニ救急車受納
30. 3	久留米消防署に支援車Ⅲ型を新規配備

年月	概要
30. 7	平成30年7月豪雨被災地に、緊急消防援助隊として延べ7隊35名を派遣する。 田中藍株式会社より、エアータント受納
31. 4	大川市消防本部と統合 1本部5署7出張所、職員定数429名 大川市消防本部との統合により、久留米市、大川市、小郡市、うきは市、大刀洗町、大木町の4市2町を管轄する消防本部となる。 浮羽消防署本署及び三潞消防署救急隊専従化
R 1. 8	株式会社樋口自動車より、事務連絡車を受納
2. 3	消防本部にドローンを新規配備 三井消防署に支援車Ⅲ型を新規配備 三潞消防署にポンプ機能付救助工作車を配備（更新） 大川消防署に資機材搬送車を配備
2. 7	令和2年7月豪雨被災地に、緊急消防援助隊として延べ10隊35名を派遣する。
2. 8	久留米市防災協会連合会より、アイソレータ（2台）受納 総務省消防庁より、緊急消防援助隊都道府県隊の救助活動体制の充実強化を目的として、津波・大規模風水害対策車が無償貸与される。
3. 3	日商保険コンサルティング株式会社より、消防音楽隊用制服を受納 久留米消防署（善導寺出張所及び西出張所）に、水害救助支援ボートを新規配備する。 浮羽消防署に、水槽ポンプ機能付救助工作車を配備する。（更新）

## 久留米市消防本部 沿革

年月	概要
M 22. 4	久留米市制施行
24. 7	久留米市消防組規約制定6組編成し、筒竜吐水台新調購入し各1台配置する。
27. 2	勅令第15号消防組規則公布
27. 10	県告示第8号により旧消防組を新組織に改組、組員370名6部編成
32. 2	消防組規則施行細則改正 当市消防組員に対して初めての被服が支給される。 当市消防組発足以来初めて自衛消防隊結成される。（鐘紡久留米支社）
T 6. 11	三潞郡鳥飼村合併により当市消防組は9部編成となる。
7. 2	久留米市消防議会結成される。（目的：消防事業の発達、警火思想の涵養、組員の功労表彰、組員及びその遺族の弔慰等）
12. 6	県告示第441号を以って新たに消防本部を設置

年月	概要
1 2 . 8	三井郡櫛原村合併の結果、県告示第 677 号により消防組本部他 11 部制とし定員 601 名となる。
1 3 . 8	女子消防組を組織し、組員 80 名を以って 2 部編成とする。
1 3 . 1 1	三井郡国分村合併の結果、県告示第 790 号を以って消防組本部他 15 部制とし、定員 872 名となる。
S 4 . 1	県告示第 52 号により消防組本部他 15 部制とし定員 614 名となる。
4 . 1 1	久留米市上水道敷設
6 . 4	県告示第 406 号により定員 527 名となり副組頭制度が設けられる。
9 . 1 2	県告示第 1321 号により消防組本部他 10 部、定員 478 名となる。
1 3 . 4	消防組本部を解散し、新に常備消防本部設置（自動車ポンプ 2 台、人員 29 名にて発足）
1 4 . 4	消防組は警防団に改組される。（久留米市警防団結成）
1 8 . 1 0	三井郡御井村合併
2 0 . 8	久留米市空爆受ける。（焼失戸数 4,506 戸、罹災者数 20,023 名、死者 118 名）
2 2 . 4	勅令第 18 号により、消防団令公布
2 2 . 1 0	常備消防本部解消 官設久留米消防署設置（自動車ポンプ 6 台、人員 62 名にて発足） 久留米市消防団結成（12 ヶ分団定員 620 名） 梅満町派出所開所
2 2 . 1 2	御井町派出所開所
2 3 . 1	梅満町派出所閉鎖
2 3 . 3	法律第 226 号消防組織法施行 久留米市消防本部並びに久留米市消防署開設 政令第 59 号消防団令公布
2 3 . 5	大石町派出所開所
2 3 . 7	消防法公布
2 4 . 5	消防団 1 ヶ分団増設し、13 ヶ分団となる。
2 6 . 3	消防団に対し、竿頭綬が授与される。
2 6 . 4	三井郡の山川・合川・上津荒木村 3 ヶ所合併（消防分団 16 ヶ所、団員数 820 名）
2 6 . 6	三井郡高良内村合併（消防分団 17 ヶ分団、団員数 870 名となる）
2 6 . 9	消防本部庁舎完成、移転並びに消防長公舎建築竣工
2 7 . 1	発信専用電話設置
2 8 . 6	久留米地域未曾有の大水害発生（筑後川堤防決壊）
2 9 . 3	当市消防本部並びに消防団に対し、総合消防力の強化拡充により国家消防本部より表彰旗が授与される。
2 9 . 5	当市水害一周年記念日に水難救助用鉄舟競漕に優勝旗一流授与される。
2 9 . 1 0	市庁舎屋上に消防信号用 10 馬力モーターサイレン取付（既在望楼に更に望楼室を増築竣工）

年月	概要
31. 4	久留米市危険物安全協会設立（S35.9久留米市石油防災協会と改称）
31. 8	消防専用無線局開局（電話）（中短波）
33. 7	久留米市一般危険物防災協会設立
33. 9	三井郡宮ノ陣村、山本両村と合併（消防分団19ヶ分団、団員数772名となる）
34. 5	大石町派出所閉鎖 御井町派出所閉鎖 東出張所開所（自動車ポンプ2台配置、人員20名配置）
34. 8	久留米市塗料防災協会設立
35. 7	三井郡草野町と合併（消防分団20ヶ分団、団員数810名となる）
35. 8	久留米市危険物安全協会設立（石油、一般危険物、塗料の3防災協会による）
36. 4	消防団員定数条例改正により消防団員668名となる。
37. 6	消防レンジャー部隊発足（隊員26名）
38. 10	消防庁舎完成移転（市庁舎併設） 消防通信施設を強化し、一斉指令付共電式交換機を新設
39. 7	天神町派出所閉鎖 南出張所開所（自動車ポンプ2台配置、人員19名配置）
40. 4	南出張所に救急隊を新設
40. 12	スノーケル車購入、本署に配置
41. 3	超短波無線局を併設し、消防通信の強化を図る。（基地局1、移動局7、携帯局2）
42. 2	三潁郡筑邦町と合併
42. 4	三井郡善導寺町と合併（消防分団25ヶ分団、団員数769名となる） 消防職員数132名となる。 大善寺派出所（仮称）開所
42. 9	久留米消防設備士会設立
43. 4	大善寺派出所閉所、西出張所開設（ポンプ車2台、人員15名配置）
44. 7	「市民防火の日」設定、毎月25日を市民防火の日と定め、市民に対する防火思想の普及徹底を図る。
45. 4	監視用テレビを本署に設置（10馬力サイレンも商工会館屋上に移設）
46. 4	救助隊発足
46. 6	久留米広域市町村圏において広域消防発足のため、関係市町（小郡市、大刀洗町、北野町、浮羽町、吉井町、田主丸町、三潁町、城島町、大木町）が政令指定を受け、久留米市に事務委託する準備に入る。
46. 11	上記1市8町により久留米地区広域消防組合を設立し、第1回組合会議において消防事務（消防施設、職員採用を除く）を久留米市に委託することを議決した。
46. 12	12月久留米市定例議会で上記消防の委託事務を受託する旨議決、消防事務委託に関する規約が成立し昭和47年1月1日から施行することになった。
47. 4	消防職員数196名（うち60名は広域組合からの派遣職員）となる。 久留米市灯油防災協会が設立され久留米市危険物安全協会に加盟する。

年月	概要
47. 8	三井消防署開設（ポンプ車2台、救急車1台、指令車1台、人員17名） 浮羽 "（ "）
47. 11	三瀨消防署開設（ポンプ車2台、救急車1台、指令車1台、人員17名）
47. 12	32mはしご車購入（久留米市消防署に配置）
48. 1	消防職員数217名（うち81名は広域組合からの派遣職員）となる。
48. 4	消防職員数232名（うち94名は広域組合からの派遣職員）となる。
48. 5	浮羽出張所開所（ポンプ車1台、救急車1台、人員13名）
48. 11	東出張所に救急隊を新設（19名となる）
48. 12	消防職員数236名（うち98名は広域組合からの派遣職員）となる。 三井出張所開所（ポンプ車1台、救急車1台、人員13名）
49. 4	潜水救助器具を購入し、救助隊の強化を図る。
49. 5	西国分校区婦人防火クラブ設立
49. 10	善導寺校区婦人防火クラブ設立
49. 11	40mはしご車購入（久留米市消防署に配置）
49. 12	消防職員数238名（うち98名は広域組合からの派遣職員、久留米市消防職員140名）となる。
50. 3	日吉校区婦人防火クラブ設立
50. 6	南薫校区婦人防火クラブ設立
50. 11	消防本部・消防署庁舎（通信指令室・訓練場兼会議室・車庫）増築竣工、旧通信施設を消防・救急指令台・自動交換機に大幅更新、復信式救急無線設備を新設 青峰校区婦人防火クラブ設立 高良内校区婦人防火クラブ設立
52. 7	南校区婦人防火クラブ設立 上津校区婦人防火クラブ設立
52. 9	合川校区婦人防火クラブ設立
52. 10	草野校区婦人防火クラブ設立 西出張所に救急分隊（1ヶ分隊）新設
52. 11	御井校区婦人防火クラブ設立
52. 12	金丸校区婦人防火クラブ設立
53. 3	救助工作車購入（久留米市消防署に配置） 自治体消防発足30周年記念事業として中央公園内に「消防の森」建設 山川校区婦人防火クラブ設立
53. 4	東国分校区婦人防火クラブ設立
53. 7	安武校区婦人防火クラブ設立 京町校区婦人防火クラブ設立
54. 3	化学車購入（東出張所に配置） 消防記念誌「消防のあしあと」発刊
54. 6	消防音楽隊発足

年月	概要
54. 7	宮ノ陣校区婦人防火クラブ設立
54. 8	荘島校区婦人防火クラブ設立 山本校区婦人防火クラブ設立
54. 10	職員定数 152 名となる。久留米地区広域消防組合分離独立
54. 11	鳥飼校区婦人防火クラブ設立 ポンプ車購入（南出張所に配置）
54. 12	大橋校区婦人防火クラブ設立 小森野校区婦人防火クラブ設立
55. 1	消防出初式にて消防音楽隊公式初演奏
55. 7	篠山校区婦人防火クラブ設立
55. 9	久留米市婦人防火クラブ連合会設立
56. 4	善導寺派出所開設（ポンプ車 1 台、救急車 1 台、人員 11 名配置）
57. 3	大型タンク車購入（本署に配置）
57. 4	消防団津福校区に 1 ヶ分団増設（消防分団 26 ヶ分団、団員数 799 名となる）
58. 4	久留米市危険物安全協会を久留米市防災協会連合会に名称変更
58. 11	久留米市幼年消防クラブ設立
58. 12	荒木校区婦人防火クラブ設立
59. 4	LP ガス販売組合が灯油防災協会へ入会し、久留米市灯油 LP ガス防災協会を設立 長門石校区婦人防火クラブ設立
61. 1	善導寺派出所を善導寺出張所に拡充
62. 3	久留米地区広域消防組合への職員派遣を解く。
62. 6	消防・救急通信施設（第 1 期分）完成
63. 2	東出張所用地取得（東合川 7 丁目）1,329.75 m <sup>2</sup>
63. 4	「市民防火の日」を毎月 9 日に変更
63. 7	久留米市少年婦人防火委員会設立
63. 12	大善寺校区婦人防火クラブ設立
H 1. 3	新東出張所（庁舎及び訓練塔）完成
1. 4	福岡県消防学校へ職員派遣（1 名）（H1. 4. 1～H2. 3. 31）
1. 12	津福校区婦人防火クラブ設立
2. 3	消防団第 14 分団格納庫新築（移転）
3. 3	消防・救急通信施設（第 2 期分）完成
3. 4	職員定数 164 名となる。
3. 11	ヘリコプター用資機材購入
4. 7	久留米市婦人防火クラブ連合会消防庁長官表彰受賞（安全功労者表彰）
4. 10	はしご付消防ポンプ自動車（15m級）購入（本署に配置）
5. 3	消防団第 22 分団格納庫新築
5. 4	福岡県消防学校へ職員派遣（1 名）（H5. 4. 1～H7. 3. 31） 消防署に課及び方面隊を設置

年月	概要
6. 4	女性消防団員が誕生する。
6. 10	新消防本部・署庁舎（防災センター併設）完成
7. 3	消防団第7分団格納庫新築
7. 9	緊急消防援助隊登録
8. 3	日吉町（三本松公園内）に耐震性貯水槽（100 t 級）設置
8. 4	職員定数 172 名となる。 消防署に警防指導課を新設
8. 12	救急救命士の誕生
9. 2	高規格救急自動車購入（本署）
9. 3	南出張所用地取得（1,330 m <sup>2</sup> ）
10. 1	小頭町（小頭町公園内）に耐震性貯水槽（100 t 級）設置（2 基目）
10. 2	消防団第10分団格納庫新築
10. 4	女性消防吏員の誕生
10. 7	新南出張所完成
10. 10	第16回全国消防操法大会優勝（ポンプ車の部、消防団）
10. 11	自治体消防50周年式典開催
11. 2	高規格救急自動車購入（南出張所）
11. 4	消防本部、消防署組織改正を行う。
11. 11	東町（東町公園内）に耐震性貯水槽（100 t 級）設置（3 基目）
12. 3	消防本部、消防防災情報ホームページ開設 消防団第2分団格納庫新築
12. 12	消防団第3分団格納庫新築
13. 1	救急普及啓発広報車受納
13. 2	高規格救急自動車購入（東出張所）
13. 3	通信施設更新（消防緊急通信指令システム）
13. 4	職員定数 180 名となる。
13. 9	消防音楽隊20周年記念演奏会開催
13. 11	蛭川町（蛭川公園内）に耐震性貯水槽（100 t 級）設置（4 基目）
14. 2	救助工作車Ⅲ型購入（東出張所） 消防団第4分団格納庫新築
14. 3	善導寺出張所のサイレン移設
14. 11	消防団第20分団格納庫新築
14. 12	荘島町（荘島公園内）に耐震性貯水槽（100 t 級）設置（5 基目）
15. 2	高規格救急自動車購入（西出張所）
16. 2	消防団第15分団格納庫新築
16. 8	久留米市、大川市及び福岡県南広域消防組合により、常備消防体制の広域化に関する事項等を協議することを目的とする久留米広域消防検討委員会を設置する。
16. 11	新西出張所完成

年月	概要
17.	1 久留米市の合併に向け、合併協定項目調整方針に従い、従前の福岡県南広域消防組合消防本部との応援協定を見直し、新たに応援協定を締結する。
17.	2 浮羽郡田主丸町、三井郡北野町、三潞郡城島町、三潞郡三潞町と合併（旧4町の区域の常備消防体制については、引き続き福岡県南広域消防組合に加入となる。消防団体制については、5消防団、44分団、団員定数1587名となる。）
17.	3 高規格救急自動車購入（善導寺出張所） 久留米市消防団第1分団格納庫新築
17.	4 職員定数194名となる。 5消防団の久留米支部統一 福岡県南広域消防組合消防本部との職員人事交流（2年間）を行う。 救急隊6隊体制による運用開始
17.	11 女性救急救命士の誕生 津福本町（津福公園内）に耐震性貯水槽（100t級）設置（6基目）
18.	2 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車購入（東出張所） 久留米市消防団が日本消防協会「特別表彰まとい」を受章
18.	3 久留米市消防団第25分団格納庫新築
18.	4 消防本部、消防署組織改正を行い、消防本部に情報指令課を新設する。
19.	2 久留米市消防団第19分団格納庫新築
19.	3 善導寺出張所車庫完成
19.	4 職員定数202名となる。 福岡県南広域消防組合消防本部と事務委託方式による消防緊急通信指令業務の共同運用を開始する。
19.	4 災害情報メール配信システム・メール119緊急通報システムの運用開始 特別救助隊発足
19.	12 消防用緊急自動車（警防号）受納
20.	1 高規格救急車受納
20.	3 久留米市消防団第6分団格納庫（日吉小学校屋内運動場等複合施設）新築 西町（西町公園内）に耐震性貯水槽（100t級）設置（7基目）
20.	9 査察車受納
20.	11 自治体消防60周年記念防災イベント開催
21.	3 久留米市消防本部解散

## 福岡県南広域消防組合消防本部 沿革

年月	概要
S45.	7 広域市町村圏振興整備措置要綱に基づく久留米広域市町村圏の設定がなされた。

年月	概要
45. 10	久留米市・大川市・吉井町・田主丸町・浮羽町・北野町・小郡町・大刀洗町・城島町・大木町・三潞町の2市9町をもって久留米広域市町村圏事務組合を設立し、自主的振興計画を樹立することになる。
46. 11	久留米広域市町村圏基本計画に基づき、広域的防災体制の確立を図るため、常備消防を持たない小郡町外8町で、久留米地区広域消防組合の設立を申請、同日県知事より設置許可 第1回消防組合議会を開催し、消防事務の一部を久留米市に委託するための「消防事務の委託に関する規約」及び関係条例等を議決
47. 1	「消防事務の委託に関する規約」が施行され、小郡町外8町管内における予防警防事務が久留米市において執行開始される。
47. 3	水槽付消防ポンプ自動車3台、救急自動車3台、指令車3台、消防用超短波無線電話装置(基地局1、移動局9)を購入整備、昭和47.4.1消防職員60名を採用する。
47. 6	浮羽・三井・三潞各消防署に配置する職員を発令し、久留米市消防局内に仮事務所を置き、それぞれの管内における予防事務管内調査、開庁準備事務開始
47. 8	浮羽・三井消防署庁舎落成及び開庁式を挙、それぞれ下記人員及び機械を配置して業務開始 職員数 署長以下17名 機械台数 水槽付消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台、指令車1台 三潞消防署仮庁舎を三潞郡大木町旧役場庁舎跡に置き、署長以下17名を配置して現地業務開始
47. 11	三潞消防署庁舎落成及び開庁式を挙、仮庁舎より移転する。 職員数 署長以下17名 機械台数 水槽付消防ポンプ自動車1台、救急自動車1台、指令車1台
47. 12	浮羽・三井出張所要員として消防職員22名を採用、職員数合計82名となる。 森田式中型消防ポンプ自動車3台を購入して、三井消防署に2台三潞消防署に1台を配置する。
48. 3	浮羽消防署長公舎落成 いちはら式中型消防ポンプ自動車2台を購入して、浮羽消防署に配置する。
48. 4	浮羽・三井各本署及び出張所要員として、消防職員12名を採用職員数合計94名となる。
48. 5	浮羽出張所庁舎落成及び開庁式挙 職員数所長以下13名、中型消防ポンプ自動車1台を配置する。
48. 9	福岡県共済農業協同組合連合会及び浮羽ライオンズクラブ助成による救急自動車2台を購入、浮羽・三井出張所用としてそれぞれ配置する。
48. 12	三潞消防署要員として消防職員4名を採用、職員定数98名となる。 三井出張所庁舎落成及び開庁式挙 職員数 所長以下13名、中型消防ポンプ自動車1台及び救急自動車1台を配置する。

年月	概要
49. 4	地元出身代議士檜橋進氏より消防用連絡車（自動二輪車）5台の寄贈を受け、浮羽・三井・三瀧各署所にそれぞれ1台ずつ配置する。
50. 3	三瀧消防署長公舎落成
50. 11	組合議会全員協議会開催、消防事務の委託を解除して自主運営に切替えるとの組合側の基本方針を協議決定
51. 1	浮羽ライオンズクラブより救助器具積載自動車1台の寄贈を受け、浮羽消防署に配置する。
52. 2	組合議会定例会において、委託解除の時期は昭和53年4月を目標とし、執行部に久留米市との話し合いをするよう要望する。
52. 5	小郡ライオンズクラブより指令車1台の寄贈を受け、三井消防署に配置する。
52. 7	消防専門委員会（関係市町助役で組織）を設立し、消防事務委託解除及び組合財政問題について検討を始める。
52. 9	組合議会全員協議会を開催、久留米市に対し事務委託解除に関する要望書を提出することとし、その内容を協議決定する。
52. 10	組合代表（正副組合長及び正副議会議長）が久留米市長と会談し、事務委託解除について基本的に了解を得、以後双方において事務的折衝が進められることになった。
52. 11	第2回消防専門委員会開催、委託解除に伴う消防本部の設置、職員の身分、給与その他具体的問題について検討する。 日本損害保険協会より小郡市に消防ポンプ自動車1台の寄贈を受け、三井消防署に配置する。
52. 12	組合議会全員協議会開催、組合長より委託解除に関する準備事務の経過報告ののち、具体的諸問題は担当課長及び助役会で検討するよう付託する。
53. 1	第3回専門委員会開催、委託解除後の消防体制等について執行部案を検討、同意する。
53. 2	組合議会全員協議会開催、委託解除の時期について昭和53年4月を目標としていたが無線免許の関係で延期することを了承確認
53. 8	浮羽町浮羽外科病院より救急自動車（2B型）1台の寄贈を受け、浮羽出張所に配置
54. 1	日本自動車工業会より救急自動車（2B型）1台の寄贈を受け三井消防署に配置する。
54. 2	組合議会定例会において、委託解除に伴う消防本部及び消防署設置条例、火災予防条例その他関係条例8件を議決 小型動力ポンプ積載自動車1台を購入して、浮羽消防署に配置する。
54. 3	三井・浮羽消防署にそれぞれ簡易車庫増設 三井・浮羽・三瀧各消防署の通信指令業務の合理化を図るため大興電機製作所による一斉通報装置を整備する。
54. 7	54年第2回組合議会において、「消防事務の委託に関する規約を廃止する規約」を議決（施行期日を3ヶ月以内とする。）
54. 8	組合構成市町議会の議決を経て、事務委託廃止に伴う組合規約の一部変更許可申請を福岡県知事あて提出する。

年月	概要
5 4. 9	54 地行第 280 号をもって同上規約変更が許可される。 組合消防自主運営のため、三井・三瀧消防署に新たに無線基地局を設置、従来の浮羽基地局及び各署移動局を統合して組合独自の無線業務を開始する。
5 4. 1 0	久留米市への消防事務委託を廃止し、派遣中の消防職員 98 名を引取り、本部要員 3 名を増員して 1 本部 3 署 2 出張所の体制（職員定数 101 名）で自主運営による消防業務を開始する。
5 4. 1 1	無線連絡車 4 台を購入して、本部及び三井・浮羽・三瀧各消防署に 1 台ずつ配置するとともに小型乗用車 1 台を購入して、本部に配置する。
5 5. 2	職員定数 2 名を増員し、消防職員定数 103 名となる。
5 5. 3	三井・浮羽・三瀧各消防署及び構成市町の消防用サイレン（有線操作）を無線操作装置に切替える。
5 5. 7	三井消防署に高圧空気充てん室を設置する。
5 5. 1 0	福岡県共済農業協同組合連合会より消防用指令車 1 台の寄贈を受け、浮羽消防署に配置する。
5 5. 1 1	浮羽ロータリークラブより消防広報車 1 台の寄贈を受け、浮羽消防署に配置する。 吉井町奥村精神神経科病院より中型消防ポンプ自動車 1 台の寄贈を受け、浮羽消防署に配置する。
5 6. 3	三瀧消防署簡易車庫増設 三瀧消防署訓練場拡張用地購入整備（995 m <sup>2</sup> ） 浮羽出張所訓練場拡張用地を購入整備（2,339 m <sup>2</sup> ）訓練塔設置 （鉄骨造 3 階建 17.5 m <sup>2</sup> ）
5 6. 6	小型乗用車 1 台を購入して、消防本部に配置する。
5 6. 9	組合発足 10 周年記念式典を挙
5 7. 3	三井・浮羽・三瀧消防署の通信指令業務の充実を図るため、一斉通報装置を増設 三井・三瀧各消防署に非常用自家発電装置を設置
5 7. 9	小郡市嶋田病院より自動ホース洗浄機 1 台の寄贈を受け、三井消防署に配置する。
5 8. 2	職員定数 6 名を増員し、消防職員定数 109 名となる。
5 8. 3	福岡県農業協同組合連合会より、消防用広報車 1 台の寄贈を受け三瀧消防署に配置する。 三井消防署に簡易車庫増設 三瀧消防署訓練場拡張用地購入整備（2,012 m <sup>2</sup> ） 三井出張所訓練場拡張用地購入整備（4,414 m <sup>2</sup> ）
5 8. 4	人員輸送車（29 人乗）を購入して、消防本部に配置する。
5 8. 7	消防本部庁舎建設用地購入（1,673 m <sup>2</sup> ）
5 9. 3	消防長の階級を消防監から消防正監に改める。 連絡車 1 台を購入して三井消防署に配置する。 三井消防署三国出張所（仮称）用地購入（3,314.4 m <sup>2</sup> ）する。 小型動力ポンプ積載自動車 1 台を購入して、三井消防署に配置する。

年月	概要
59. 1 2	三井消防署三井出張所庁舎を増改築（会議室等設置 135.27 m <sup>2</sup> 増）
60. 1	組合名称を「久留米地区広域消防組合」から「福岡県南広域消防組合」に変更するための組合規約一部変更申請書を福岡県知事あて提出する。 59 地行第 691 号をもって同上規約変更が許可される。 連絡車 1 台を購入して、消防本部に配置する。
60. 6	水難救助用ボートを 3 隻購入して、三井・浮羽・三潯各消防署にそれぞれ 1 隻を配置する。
60. 9	浮羽消防署浮羽出張所庁舎を増改築（会議室等を増築 66.86 m <sup>2</sup> 増）する。
60. 1 1	三潯消防署訓練場用地（2,536 m <sup>2</sup> ）を購入する。
61. 2	職員定数条例を改正（8 名増員）し、職員定数 117 名となる。
61. 3	小型動力ポンプ積載自動車 1 台を購入して、浮羽消防署に配置する。
62. 1	貨物自動車（資材運搬車）を購入して、消防本部に配置する。 組合事務局及び消防本部の所在地を「久留米市荒木町白口 55 番地」から「久留米市山川町 2828 番地 1」に変更するための組合規約一部変更申請書を福岡県知事あて提出する。 消防本部庁舎完工（鉄筋コンクリート造 2 階建、敷地面積 1,673 m <sup>2</sup> 建築面積 564.4 m <sup>2</sup> 、延床面積 934.2 m <sup>2</sup> ）
62. 2	61 地行第 308 号をもって規約変更許可される。 消防本部庁舎竣工式を挙げる。 組合議会全員協議会にて組合章（シンボルマーク）を制定する。
62. 3	久留米市との「消防職員の相互派遣協定」を解除する。
62. 5	三潯地区防災協会より消防広報車 1 台の寄贈を受け、三潯消防署に配置する。
62. 1 0	国庫補助による 15m 級はしご付消防ポンプ自動車を購入し三井消防署に配置する。
62. 1 1	三井消防署の救急無線基地局及び移動局を複信式とする。
62. 1 2	三井消防署本署庁舎を増改築（事務所、車庫等 285.9 m <sup>2</sup> 増）する。 日本損害保険協会より、救急自動車 1 台の寄贈を受け、三井消防署に配置する。
63. 1	久留米市東部地域の住居表示変更に伴い、組合事務局及び消防本部の所在地「久留米市山川町 2828 番地 1」を「久留米市山川杵形町 3 番 15 号」に変更するための組合規約の一部変更申請書を福岡県知事あて提出する。
63. 2	62 地行第 418 号をもって規約変更許可される。
63. 3	三井消防署に救助工作車を配置する。 浮羽消防署訓練場用地（819.9 m <sup>2</sup> ）を購入する。
63. 1 0	浮羽消防署本署庁舎を増改築（事務所、車庫等 295.6 m <sup>2</sup> 増）する。 三井消防署三国出張所開庁式を挙げる（敷地面積 3,314.4 m <sup>2</sup> 、鉄骨造 2 階建延べ面積 378.5 m <sup>2</sup> ）する。
63. 1 1	三井消防署三国出張所完成 職員数 所長以下 7 名、消防ポンプ自動車 1 台及び救急自動車 1 台を配置する。 浮羽消防署の救急無線基地局及び移動局を複信式とする。

年月	概要
H 1.	1 浮羽消防署に電動ホースカー付消防ポンプ自動車（CD-I）を配置する。
1.	2 職員定数条例を改正（6名増員）し、職員定数123名となる。
1.	3 浮羽消防署に救助工作車を配置する。 三井消防署三国出張所に水槽付ポンプ自動車（水-I A）を配置する。
1. 1 2	日本防火協会より、防火広報車の寄贈を受け、浮羽消防署に配置する。 三瀧消防署庁舎増改築（事務所、車庫等 327.58 m <sup>2</sup> ）する。
2.	3 三瀧消防署に救助工作車を配置する。 消防本部、財務会計・人事管理・給与計算の電算処理を開始する。
3.	2 職員定数条例を改正し、職員定数123名から133名とする。
3.	3 三井消防署消防緊急情報システムを更新する。
3. 1 0	国庫補助による15m級はしご付消防ポンプ自動車を購入し浮羽消防署に配置する。
4.	2 平成3年9月27日福岡県下を襲った台風19号の災害活動に対し、福岡県知事防災功労者表彰を受賞する。
4.	3 浮羽・三瀧消防署の消防緊急通信指令施設を更新する。
4.	8 平成3年9月27日福岡県下を襲った台風19号の災害活動に対し、消防庁長官防災功労者表彰を受賞する。
4. 1 1	応急処置拡大に伴い「9項目資機材」を積載した2B型救急車を購入して三井消防署に配置する。
4. 1 2	全消防署、全出張所の非常用自家発電設備を更新、新設する。 消防無線の充実のため全基地局、全移動局に第2市町村波を増波する。
5.	2 県費補助による林野火災空中消火用バケットを購入して、浮羽消防署に配置する。
5.	4 4週8休制を導入する。
5. 1 0	救急救命東京研修所に職員1名を入所させる。
5. 1 1	日本防火協会より、優良市町村幼年婦人防火委員会表彰を受賞する。
6.	2 職員定数条例を改正（15名増員）し、職員定数148名となる。
6.	3 三井消防署三井出張所訓練場用地（3,572 m <sup>2</sup> ）を購入する。
6.	4 救急救命士誕生する。
6.	9 県知事より、救急医療功労者表彰を受賞する。 9項目資機材を積載した2B型救急車を購入して、三瀧消防署に配置する。
6. 1 1	9項目資機材を積載した2B型救急車を購入して、浮羽消防署に配置する。
7.	3 株式会社田中チェーンより救急車1台寄贈を受け、9項目の資機材を積載し、三井消防署に配置する。 浮羽消防署の消防団緊急伝達システム（アンサーバック方式）を更新する。
7.	7 阪神・淡路大震災の消防応援に対し、消防庁長官から感謝状を受賞する。
7.	9 緊急消防援助隊に救急隊として登録される。 三瀧消防署の消防団緊急伝達システム（アンサーバック方式）を更新する。
8.	1 三井消防署にて救急救命士による高規格救急車の運用を開始する。
8.	2 J A福岡共済連より救急車1台の寄贈を受け、浮羽消防署に配置する。

年月	概要
8.	8 消防組織法に基づく消防職員委員会制度が発足する。
8.	9 三井消防署の消防団緊急伝達システム（アンサーバック方式）を更新する。
8.	10 浮羽消防署にて救急救命士による高規格救急車の運用を開始する。
9.	1 9 項目資機材を積載した 2B 型救急車を購入して、三井消防署三国出張所に配置する消防無線の充実を図るため全国共通 2 波・3 波を増波する。
9.	2 職員定数条例を改正（4 名増員）し、職員定数 162 名となる。
9.	5 三瀧地区防災協会より、防火広報車 1 台の寄贈を受け、三瀧消防署に配置する。
9.	11 浮羽町大栄製作所より、防火広報車 1 台の寄贈を受け、浮羽消防署に配置する。
10.	2 三瀧消防署にて救急救命士による高規格救急車の運用を開始する。
10.	4 全救急車に携帯電話を配置する。
10.	9 災害時の救護活動等に使用するエアートントを浮羽消防署に配置する。
11.	3 消防庁長官より、消防功労者表彰竿頭綬を受賞する。 救急隊員研修の充実を図るため、高度救急処置シミュレーターを消防本部に配置する。
11.	7 災害時の救護活動等に使用するエアートントを三井消防署及び三瀧消防署に配置する。
11.	10 組織機構改革に伴い、消防署に課制を導入する。
12.	2 三井消防署にクレーン等をフル装備した救助工作車（Ⅱ型）を配置する。
13.	3 県道拡幅工事に伴い、三井消防署三井出張所庁舎を同敷地内に移転・新築し、落成式を挙げる。（13.2.28 竣工） 「鉄筋コンクリート造一部鉄骨 2 階建・（訓練塔部分 3 階建）、 延べ面積 1,014.92 m <sup>2</sup> 」
13.	4 高度情報通信社会に対応するため、消防本部及び三井・浮羽・三瀧各消防署にインターネットを整備する。
14.	6 高度情報及び IT 化推進計画に基づき、消防本部及び各署所にパソコンを増設し、庁内 LAN を整備する。
14.	8 制服・作業服等を国の基準に基づき一新し、エンブレムを作製する。
15.	4 三井消防署三井出張所にて救急救命士による高規格救急車の運用を開始する。
16.	2 職員定数条例を改正（16 名増員）し、職員定数 178 名となる。
16.	12 浮羽消防署浮羽出張所にて救急救命士による高規格救急車の運用を開始する。
17.	2 浮羽郡田主丸町、三井郡北野町、三瀧郡城島町及び三瀧町が久留米市に編入合併し、この 4 町区域に限り久留米市が新たに組合に加入する。
17.	3 浮羽郡吉井町と浮羽町が合併して「うきは市」となり、新たに組合に加入する。
18.	2 国庫補助による災害対応特殊はしご付消防ポンプ自動車（30m 級）を購入し、三井消防署に配置する。
18.	12 三井消防署三国出張所にて救急救命士による高規格救急車の運用を開始する。
19.	4 「福岡県南広域消防組合と久留米市との間における消防緊急通信指令業務に関する事務の委託に関する規約」により、久留米市消防本部にて消防緊急通信指令業務の共同運用を開始する。

年月	概要
19. 4	「消防緊急通信指令業務委託に係る職員の派遣に関する協定書」により、久留米市消防本部情報指令課へ職員8名を派遣する。
19. 5	三漕地区防災協会より、防火広報車1台の寄贈を受け、三漕消防署に配置する。
19. 8	各消防署の気象観測装置を更新する。
19. 11	三井・小郡地区防災協会より、防火広報車1台の寄贈を受け、三井消防署に配置する。
20. 2	浮羽消防署本署庁舎を増築（車庫88.82㎡増）する。
20. 3	小郡市より広報車1台の無償譲渡を受け、三井消防署に配置する。 小型動力ポンプ付大型水槽車（9t水槽）を購入し、浮羽消防署に配置する。
20. 4	うきは市浮羽町樋口自動車より、軽貨物自動車1台の寄贈を受け、浮羽消防署に配置する。
20. 7	携帯・IP電話の発信地表示通知システム（簡易型）を久留米市消防本部と共同導入し運用を開始する。 化学防護服4体及び除染シャワー一式（増強・更新）を購入し、三井消防署に配置する。
20. 9	簡易画像探査機2機を購入し、浮羽、三漕消防署の救助工作車に配置する。
20. 10	組合構成市町議会の議決を経て、福岡県南広域消防組合の解散届出を福岡県知事あて提出し、同日付けで受理される。 福岡県南広域消防組合と久留米市消防本部との統合に伴う、久留米広域市町村圏事務組合の規約の一部を変更する申請を福岡県知事あて提出する。 久留米広域市町村圏事務組合の規約変更が許可される。 三井・浮羽・三漕消防署及び浮羽出張所の耐震補強工事が完了する。
21. 3	福岡県南広域消防組合解散

## 大川市消防本部 沿革

年月	概要
S 6. 7	三漕郡大川町初の消防自動車配置
14. 4	警防団令（勅令第20号）制定により警防団結成
22. 4	消防団令（勅令第185号）制定により消防団結成
22. 4	三漕郡大川町消防団水槽付消防自動車配置
26. 4	三漕郡大川町消防団本部開設
26. 10	三漕郡大川町消防団音楽隊結成、団歌誕生
28. 4	三漕郡大川町消防団各部消防自動車配置
28. 6	大雨により筑後川堤防決壊大水害

年月	概要
29. 4	一町五村合併大川市誕生（大川町、三又村、木室村、田口村、川口村、大野島村） 市制施行により大川市消防団結成
29. 6	大川市消防団条例施行（団員 1,202 名）
34. 4	消防団第一次機構改革（44 部、995 名）
36. 2	日本消防協会長表彰受賞（竿頭綬）（消防団）
36. 4	消防団第二次機構改革（22 部、354 名）
37. 1	大川市消防葬挙行（故 志岐伝太郎 氏）
37. 6	志岐弘 氏よりジープを受納
37. 7	大川市火災予防条例施行
38. 2	日本消防協会長表彰受賞（表彰旗）（消防団）
38. 7	消防本部開設（職員定数条例改正 6 名）
38. 10	消防庁舎開庁（所在地：大川市大字榎津）
39. 2	消防本部、署義務設置政令指定
39. 3	日本損害保険協会より消防自動車を受納（第 1 分団第 5 部配置）
39. 10	大川市消防本部署設置条例施行
39. 12	消防ポンプ自動車を消防署に配置 職員定数条例改正（25 名）
40. 3	消防庁舎新築移転（所在地：大川市大字津） 救急業務開始（任意実施） 消防署開設
40. 10	水槽付消防ポンプ自動車を署に配置
41. 3	消防団第三次機構改革（22 部、345 名） 職員定数条例改正（27 名）
42. 3	消防庁長官表彰受賞（竿頭綬）〔消防本部、消防団〕 大川ライオンズクラブより救急車を受納（消防署配置） 筑後地区消防設備士会大川部会発足
43. 4	政令指定救急業務実施義務
43. 6	職員定数条例改正（29 名）
44. 3	消防庁長官表彰受賞（表彰旗）〔消防本部、消防団〕
45. 3	大木町との救急業務協定締結
45. 9	職員定数条例改正（31 名）
46. 4	職員定数条例改正（33 名）
46. 12	火災多発に伴う非常事態宣言（大川市議会）
47. 3	化学消防ポンプ自動車を消防署に配置
47. 4	職員定数条例改正（37 名） 大川市危険物安全協会発足
47. 7	消防本部機構改革（2 課 4 係）
47. 10	消防専用超短波無線機設置

年月	概要
47. 1 1	大木町との救急業務協定廃止
48. 4	消防庁舎新築移転（所在地：大川市大字郷原） 職員定数条例改正（40名）
48. 1 2	消防指令装置設置
49. 4	職員定数条例改正（42名） 大川市消防設備士会発足
49. 7	消防指令車を消防団本部に配置
50. 3	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車を受納（消防署配置） 職員定数条例改正（44名）
50. 5	大川市危険物安全協会規約改正により大川市防災協会と名称変更
50. 1 1	消防専用超短波無線傍受機を消防団全分団各部に設置 消防専用中短波無線機廃止
51. 6	貞包武人氏より救急車を受納（消防署配置）
52. 1 0	大川ライオンズクラブより携帯用無線機（2機）を受納
53. 7	大川市防災協会より救助安全ネット（一式）を受納
54. 7	大川市防災協会より査察広報車を受納（消防署配置）
54. 1 0	大川市制施行 25 周年記念式典
55. 2	内閣総理大臣表彰（紺綬褒状）[大川市防災協会]
55. 3	救急医療体制システム端末装置設置
55. 9	消防団第四次機構改革（21部、339名）
56. 2	日本損害保険協会より救急車を受納（消防署配置）
58. 8	日本消防協会より消防指令車を受納（消防団本部配置） 大川中央ライオンズクラブより査察車を受納（消防署配置）
58. 1 2	福岡県共済農業協同組合連合会より消防指揮車を受納（消防署配置）
59. 4	大川市制施行 30 周年記念式典
60. 1	工業再配置促進補助事業で消防ポンプ自動車を受納（消防署配置）
60. 9	日本損害保険協会より消防ポンプ自動車を受納（第4分団第1部）
61. 1 0	大川市消防団葬挙行（故 橋本利興氏）
62. 3	隣接常備消防相互応援協定締結
62. 4	大川市少年消防クラブ結成（1クラブ）
63. 1 0	資器材搬送車を消防団本部に配置
63. 1 1	消防本部機構改革（2課6係） 大川市幼年消防クラブ結成（19クラブ）
H 1. 2	大川市婦人防火クラブ結成 日本自動車工業会より救急車を受納（消防署配置）
1. 3	防災センター落成 消防緊急情報システム装置（指令台設置） 消防緊急伝達システム装置（無線サイレン設置）

年月	概要
1. 3	福岡県消防相互応援協定締結（県内各市町村、組合消防本部）
2. 3	地図検索システム装置設置
2. 7	消防庁長官表彰受賞（安全功労）〔大川市防災協会〕
3. 7	内閣総理大臣表彰受賞（安全功労）〔大川市防災協会〕
3. 8	日本消防協会より小型動力ポンプ付積載車を受納（第 2 分団第 2 部）
3. 10	大川市防災協会より指揮車を受納（消防署配置）
4. 2	福岡県知事表彰受賞（台風 17 , 19 号活動）〔消防本部、消防団] 日本消防協会表彰受賞（竿頭綬）〔消防団〕
4. 3	救助工作車を消防署に配置
4. 8	消防庁長官表彰受賞（防災功労）〔消防団〕
4. 9	内閣総理大臣表彰受賞（防災功労）〔消防団] 職員定数条例（48 名）
5. 2	福岡県共済農業協同組合連合会より救急車を受納（消防署配置）
5. 5	大川ライオンズクラブより査察車を受納（消防署配置）
6. 3	消防専用電話装置設置（救急波）
7. 4	消防本部機構改革（2 課 7 係）
7. 6	緊急消防援助隊「消防隊 1 隊」登録
7. 8	日本損害保険協会より水槽付消防自動車を受納（消防署配置）
8. 12	大川ライオンズクラブ、ライオネスクラブより消防団指令車を受納 （消防団本部配置）
10. 3	佐賀空港周辺航空機災害消防相互応援協定締結
10. 9	大川三瀦医師会より心肺蘇生用訓練人形 2 体を受納
10. 12	第 3 分団第 2 部ポンプ庫新築移転
11. 1	救急救命士 誕生
11. 12	第 5 分団第 3 部ポンプ庫新築移転
12. 9	大川三瀦医師会より心肺蘇生用訓練人形 2 体を受納
13. 7	第 1 分団第 4 部ポンプ庫新築移転
13. 8	高規格救急自動車を消防署に配置
13. 9	大川三瀦医師会より心肺蘇生用訓練人形 1 体を受納
14. 2	久留米大学病院ドクターヘリ運行開始
15. 7	地図検索システム装置更新
15. 9	大川三瀦医師会より心肺蘇生用訓練人形 1 体を受納
15. 10	大川中央ライオンズクラブ、大川中央ライオネスクラブより広報査察車を受納 （消防署配置） 第 2 分団第 2 部ポンプ庫新築移転
15. 11	第 1 分団第 1 部ポンプ庫新築
16. 9	大川三瀦医師会より心肺蘇生用訓練人形 1 体を受納
16. 11	大川市防災協会より指揮車を受納（消防署配置）

年月	概要
17. 3	消防緊急情報システム装置更新（簡易型指令台導入）
17. 9	大川三瀧医師会より自動体外式除細動器（AED）トレーナー 2 台を受納
18. 7	㈱シギヤマ家具工業より空気呼吸器用ボンベ 14 本を受納
18. 9	大川三瀧医師会より人工呼吸用キューマスク 300 個を受納
19. 9	大川三瀧医師会より心肺蘇生用訓練人形 1 体を受納
20. 3	有明海沿岸道路消防相互応援協定締結
20. 5	㈱シギヤマ家具工業より空気呼吸器 4 式・空気呼吸器用ボンベ 2 本を受納
20. 9	大川三瀧医師会よりプロジェクターを受納
21. 3	大川中央ライオンズクラブより災害支援車を受納
21. 6	㈱シギヤマ家具工業より空気呼吸器 4 式・空気呼吸器用ボンベ 2 本を受納
21. 9	大川三瀧医師会よりノート型パソコン、キューマスクを受納 高木病院より消防防災エアータントを受納
22. 6	㈱シギヤマ家具工業より水難救助資器材及び AED 一式を受領
22. 9	大川三瀧医師会より心肺蘇生用訓練人形 6 体を受納
23. 3	東日本大震災に伴う緊急消防援助隊派遣 東日本大震災に伴う災害医療チーム派遣（消防本部から救急救命士 1 名派遣）
23. 9	大川三瀧医師会より AED トレーナー、キューマスクを受納
23. 12	第 5 分団第 2 部ポンプ庫新築移転
24. 3	筑後地域消防通信指令事務協議会設置に関する協議書締結（8 消防本部）
24. 8	㈱シギヤマ家具工業より水難救助資器材（救命ボート一式、潜水用器材一式） を受納
24. 9	大川三瀧医師会より心肺蘇生訓練人形（成人）、バックマスク一式を受納
24. 12	第 3 分団第 1 部ポンプ庫新築移転
25. 6	㈱シギヤマ家具工業より署活動用携帯無線機 13 台を受納
25. 9	大川三瀧医師会より AED トレーナー、ポータブルスクリーンを受納
25. 12	第 6 分団第 1 部・3 部ポンプ庫新築移転
26. 6	㈱シギヤマ家具工業より水難救助資器材（ドライスーツ 2 着、船外機 1 機）、 救急資器材（酸素バッグ 2 個、酸素ボンベ 1 本、減圧弁 1 個）を受納
26. 9	大川三瀧医師会より AED トレーナー 2 台を受納
26. 12	日本損害保険協会より救急 1 号車を受納
27. 6	㈱シギヤマ家具工業より水難救助資器材（潜水用器材一式）、消防資器材（防爆 ライト 5 個、赤外線温度計 1 個）を受納
27. 9	大川三瀧医師会より AED トレーナー 2 台を受納
27. 12	公益財団法人 日本消防協会より団指令車を受納
28. 4	筑後地域消防指令センター運用開始 平成 28 年熊本地震に伴う緊急消防援助隊派遣
28. 6	㈱シギヤマ家具工業より水難救助資器材 2 組（潜水用器材一式）を受納
28. 9	大川三瀧医師会より実物投影機・キューマスク（130 個）を受納

年月	概要
29.	4 第1分団第3部ポンプ庫新築移転
29.	5 嘉麻市産業廃棄物火災に伴う福岡県消防相互応援協定に基づく応援隊派遣
29.	6 ㈱シギヤマ家具工業より消防活動用軽トラック1台を受納
29.	7 平成29年7月九州北部豪雨に伴う福岡県消防相互応援協定に基づく応援隊派遣
29.	9 大川三瀧医師会よりワイヤレスアンプ、ワイヤレスマイク、有線マイク（ケーブル付）を受納
30.	6 ㈱シギヤマ家具工業より空気呼吸器用ボンベ8本を受納
30.	9 大川三瀧医師会よりAEDトレーナー、心肺蘇生訓練人形（小児）を受納
31.	3 大川市消防本部解散

# 令和3年度 消防本部 施策概要

## 1 人員の配置・育成

- (1) 定員管理計画に基づく適正な要員配置及び組織規模に応じた体制  
検討 重点項目
- (2) 再任用職員の有効活用
- (3) 将来を見据えた人材育成 重点項目
- (4) 働きやすい職場環境の確保

## 2 消防施設等の整備

- (1) 消防署所施設の整備 重点項目
- (2) 消防車両の更新・整備
- (3) 消防資機材の更新・整備
- (4) 署活動用無線機の更新整備計画作成

## 3 消防サービスの質の向上

- (1) 災害対応力の強化
- (2) 火災現場活動の質の向上
- (3) 救急業務の高度化
- (4) 病院前救急医療体制の充実
- (5) 高度救助体制の充実
- (6) 指令管制能力の向上
- (7) 近代的な消防活動指針の構築 重点項目

## 4 広域連携体制の強化

- (1) 受援体制の確立 重点項目
- (2) 消防相互応援体制の充実
- (3) 緊急消防援助隊支援体制の強化
- (4) 消防通信指令業務の充実

## 5 関係機関との連携による災害対応力の強化

- (1) 自助・共助体制構築の支援
- (2) 構成市町及び消防団との連携

## 6 防火施策の充実

- (1) 防火思想の普及啓発の推進
- (2) 重大な消防法令違反対象物の是正推進 重点項目
- (3) 大規模物品販売店舗の火災予防策の強化
- (4) 防火対象物利用者等の安全確保策の充実
- (5) 建築予定の大規模対象物等の防火安全性確保
- (6) 危険物施設の自主保安体制の確立促進

# 消防本部・消防署の事務分掌

## 消防本部

### 総務課

- (1) 総合企画及び調整に関すること。
- (2) 予算及び事業に関する事務の総括に関すること。
- (3) 公印の保管に関すること。
- (4) 文書事務の総括に関すること。
- (5) 本部に属する条例、規則及び規程等の制定改廃に関すること。
- (6) 構成自治体との連絡調整に関すること。
- (7) 本部に属する財産の管理に関すること。
- (8) 庁舎等の整備に関すること。
- (9) 本部に属する情報の公開に関すること。
- (10) 本部に属する個人情報保護に関すること。
- (11) 公益通報者保護に関すること（外部の労働者からの通報に限る。）。
- (12) 消防広報広聴の総括に関すること。
- (13) 消防年報に関すること。
- (14) 消防音楽隊に関すること。
- (15) その他各課に属さない事務に関すること。

### 人事研修課

- (1) 組織に関すること。
- (2) 職員の定数及び配置に関すること。
- (3) 職員の任免、分限、懲戒その他身分に関すること。
- (4) 職員の服務規律に関すること。
- (5) 職員の給与、勤務時間その他勤務条件に関すること。
- (6) 報酬、費用弁償及び旅費の基準に関すること。
- (7) 職員の能力開発及び研修計画に関すること。
- (8) 表彰に関すること。
- (9) 福岡県市町村職員共済組合に関すること。
- (10) 職員の福利厚生に関すること。
- (11) 職員の安全衛生管理に関すること。
- (12) 職員の公務災害補償に関すること。
- (13) 消防職員委員会に関すること。
- (14) 公益通報者保護に関すること（内部の職員等からの通報に限る。）。
- (15) その他人事研修事務に関すること。

### 予防課

- (1) 火災予防の対策に関すること。
- (2) 予防査察及び違反処理の事務に関すること。
- (3) 建築確認等の同意事務に関すること。
- (4) 危険物施設の許可及び認可等の事務に関すること。
- (5) 消防用設備等の検査及び指導に関すること。
- (6) 火災調査事務に関すること。
- (7) 危険物災害調査事務に関すること。
- (8) 火災予防に係る広報及び広聴に関すること。
- (9) 火災予防に係る調査及び統計に関すること。
- (10) 防火管理者及び防災管理者の資格認定に関すること。
- (11) 自主防災組織の育成に係る事務に関すること。
- (12) 外郭団体の育成に関すること。
- (13) 防災センターに関すること。
- (14) その他火災予防に係る事務及び予防行政の総括調整に関すること。

### 救急防災課

- (1) 水火災その他の災害の総合的な警防計画に関すること。
- (2) 救急、救助対策の総合企画に関すること。
- (3) 各種災害の出動計画に関すること。
- (4) 総合的な訓練及び計画に関すること。
- (5) 救急、救助その他災害の統計及び報告に関すること。

- (6) 消防の国民保護措置に関する事。
- (7) 消防相互応援協定に関する事。
- (8) 緊急消防援助隊に関する事。
- (9) 消防活動及び消防訓練の安全管理の総括に関する事。
- (10) 消防車両の安全運転管理の総括に関する事。
- (11) 消防車両及び装備に関する事。
- (12) 応急手当の普及啓発に関する事。
- (13) 医療関係機関との連絡調整に関する事。
- (14) メディカルコントロールに関する事。
- (15) その他救急、救助及び防災の事務に関する事。

#### 情報指令課

- (1) 災害通報の受信及び出動指令に関する事。
- (2) 指令管制業務に関する事。
- (3) 消防情報の収集及び伝達に関する事。
- (4) 関係機関への災害情報の連絡及び出動要請に関する事。
- (5) 関係団体への連絡に関する事。
- (6) 消防通信施設の保安全管理及び運用に関する事。
- (7) 消防活動支援システムに関する事。
- (8) 通信情報管理の総括に関する事。
- (9) 消防信号に関する事。
- (10) 筑後地域消防通信指令事務協議会に関する事。
- (11) その他消防通信事務に関する事。

### 消 防 署 (各消防署共通)

#### 警防課

- (1) 署に属する事務事業の総括及び企画調整に関する事。
- (2) 署に属する文書の管理に関する事。
- (3) 署に属する公印の保管に関する事。
- (4) 署に属する職員の配置及び勤務に関する事。
- (5) 署員の研修及び訓練計画に関する事。
- (6) 署に属する統計及び報告に関する事。
- (7) 部隊の編成及び運用に関する事。
- (8) 安全管理に関する事。
- (9) 建築確認等の同意及び危険物施設の許認可並びに消防用設備等の検査及び指導に関する事。
- (10) 消防対象物の査察及び違反処理の指導に関する事。
- (11) 液化石油ガス、旅館等の意見書の交付に関する事。
- (12) 火災の原因及び損害の調査に関する事。
- (13) 危険物災害の調査に関する事。
- (14) 火災の予防及び防火思想の普及啓発に関する事。
- (15) 外郭団体等の育成指導に関する事。
- (16) 応急手当の普及啓発に関する事。
- (17) 庁舎等の維持管理に関する事。
- (18) 各種証明に関する事。
- (19) 消防団の訓練及び指導に関する事。
- (20) 消防気象に関する事。
- (21) その他火災予防及び警防業務に関する事。

#### 消防課

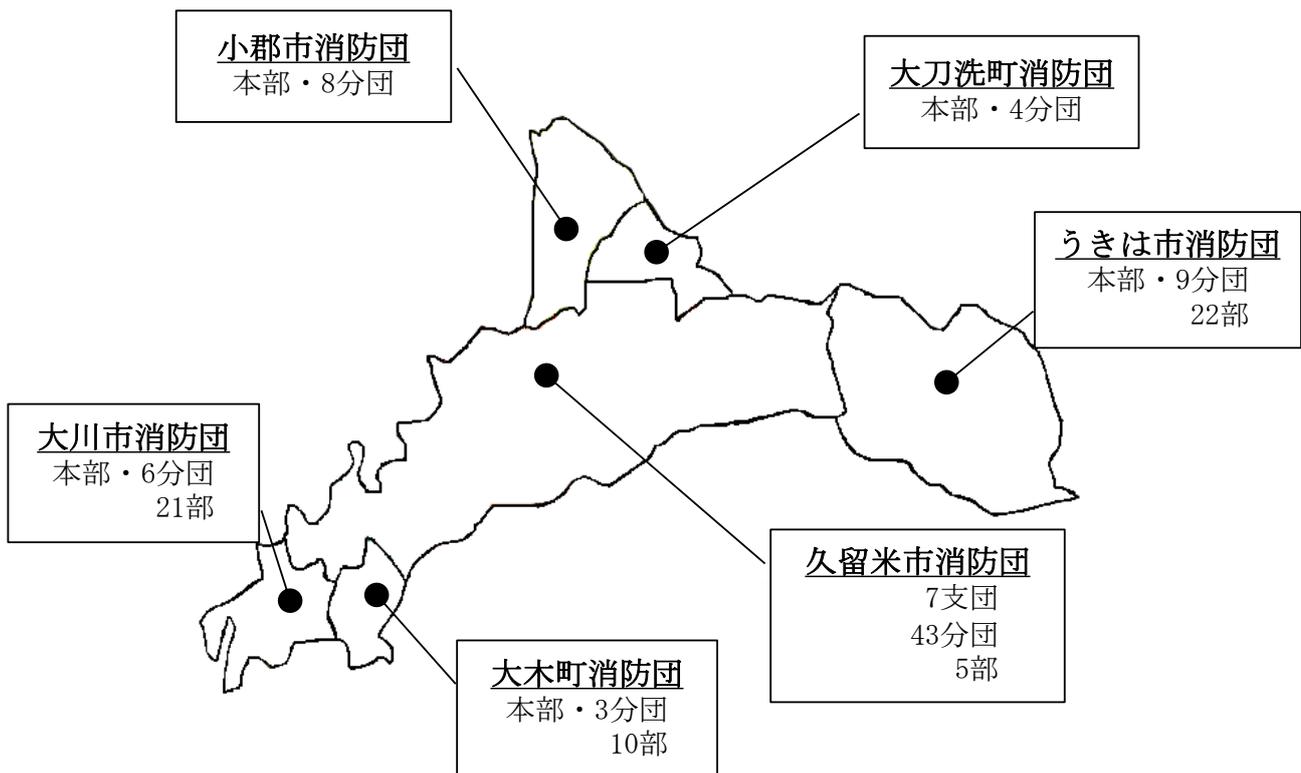
- (1) 水火災その他の災害の警戒及び防除に関する事。
- (2) 救急及び救助業務に関する事。
- (3) 警防計画に関する事。
- (4) 訓練及び演習の計画に関する事。
- (5) 消防車両及び資機材の運用管理に関する事。
- (6) 消防水利の調査に関する事。
- (7) 消防対象物及び危険物施設の査察及び指導に関する事。
- (8) 火災の原因及び損害の調査に関する事。
- (9) 危険物災害の調査に関する事。
- (10) 防火及び救急指導に関する事。
- (11) 消防団の訓練及び指導に関する事。
- (12) その他警防業務に関する事。

## 久留米広域消防本部管内消防団の概要

(令和3年4月1日)

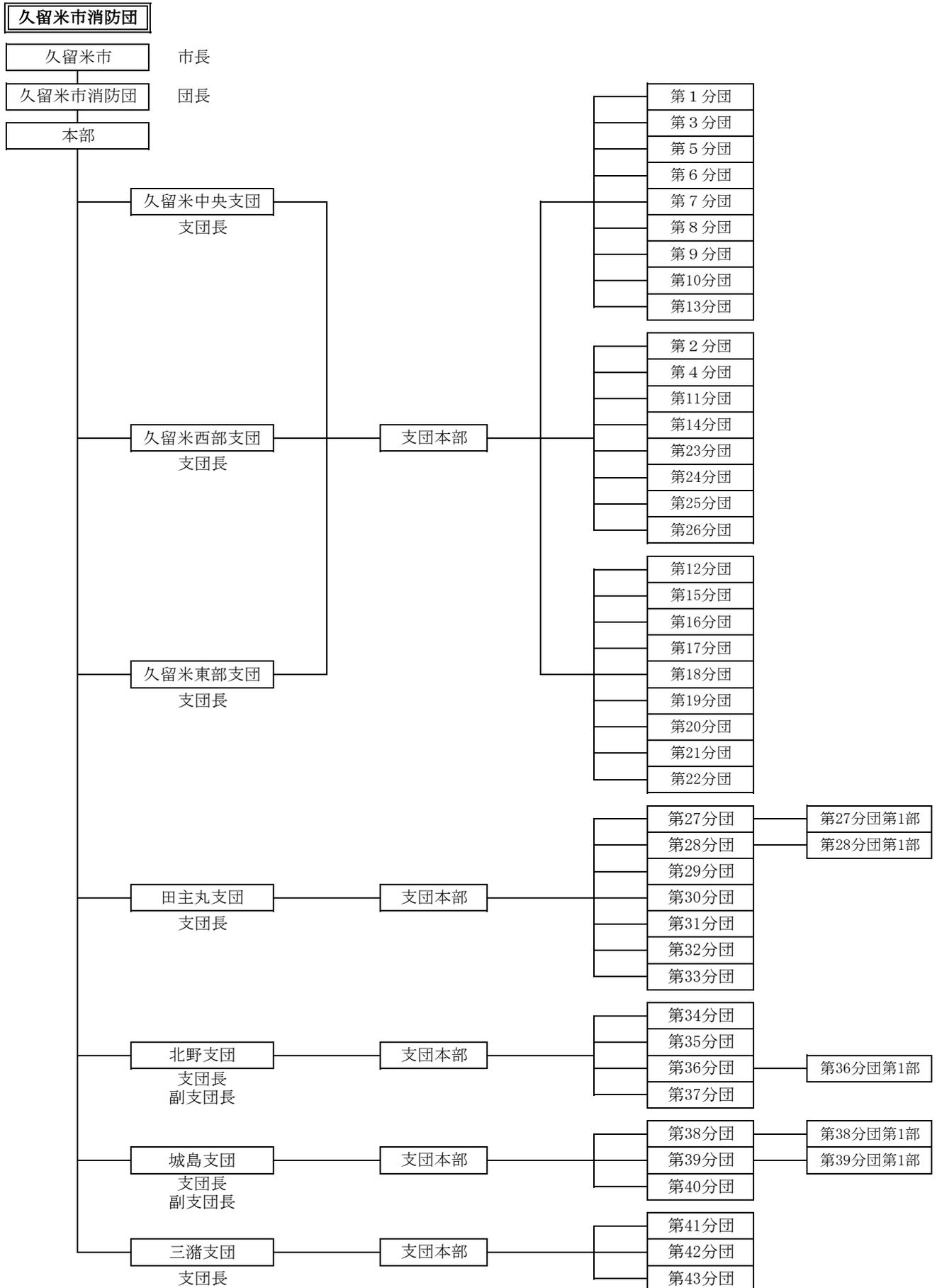
消防団名	団本部所在地	消防団長	支団	本部分団	分団	部	定員	実員
久留米市消防団	久留米市東櫛原町999番地1	水田 信行	7	/	43	5	1,587	1,505
大川市消防団	大川市大字酒見256番地1	吉川 昌徳	/	1	6	21	339	286
小郡市消防団	小郡市小郡255番地1	柳原 和敏	/	1	8	/	255	237
うきは市消防団	うきは市吉井町新治316番地	松村 康之	/	1	9	22	520	486
大刀洗町消防団	三井郡大刀洗町大字富多819番地	大場 雅之	/	1	4	/	100	93
大木町消防団	三潞郡大木町大字八町牟田255番地1	中島 豊記	/	/	3	10	168	167
管内総数			7	4	73	58	2,969	2,774

### 構成市町消防団配置図

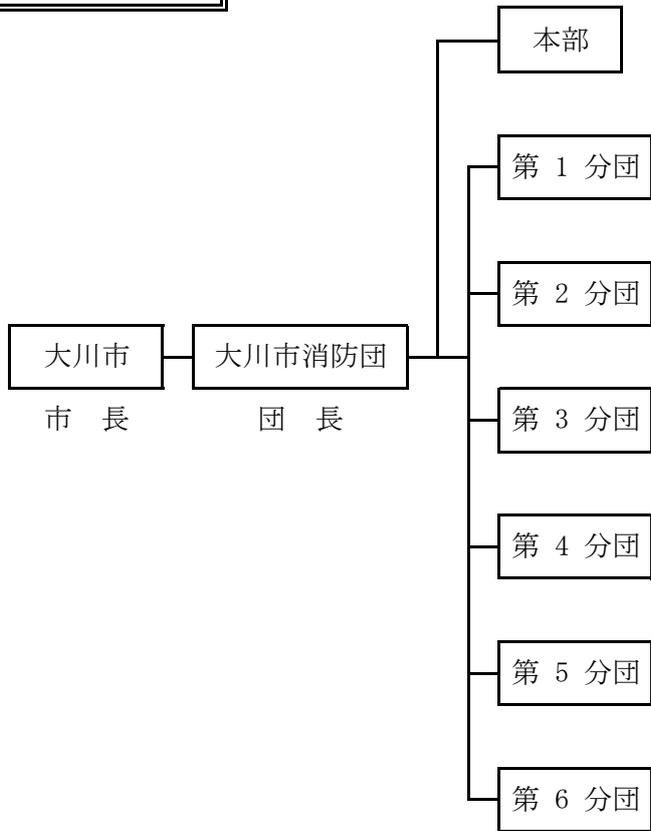


# 構成市町消防団組織系統図

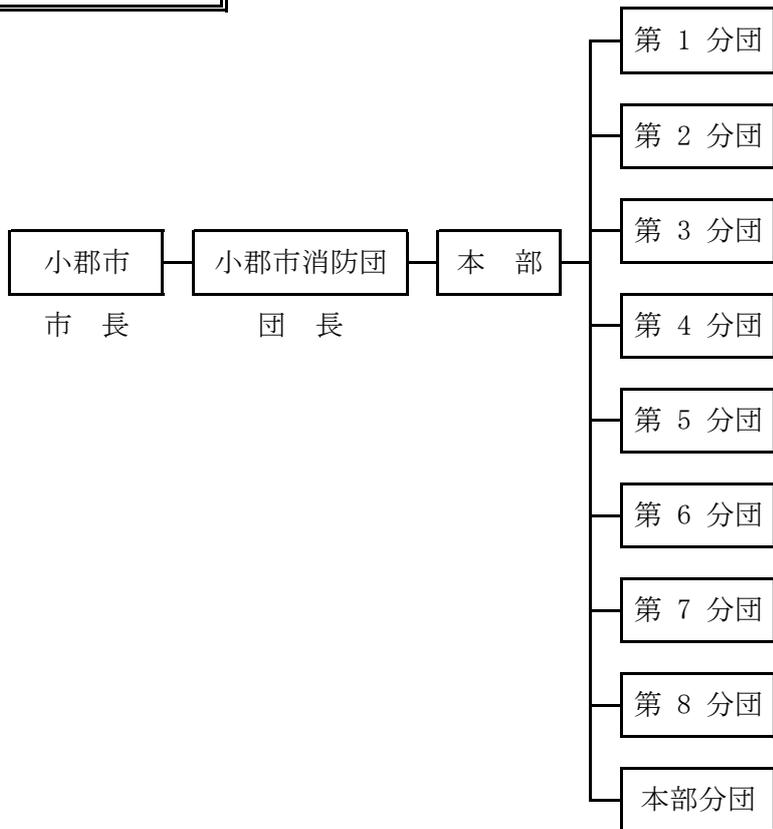
令和3年4月1日



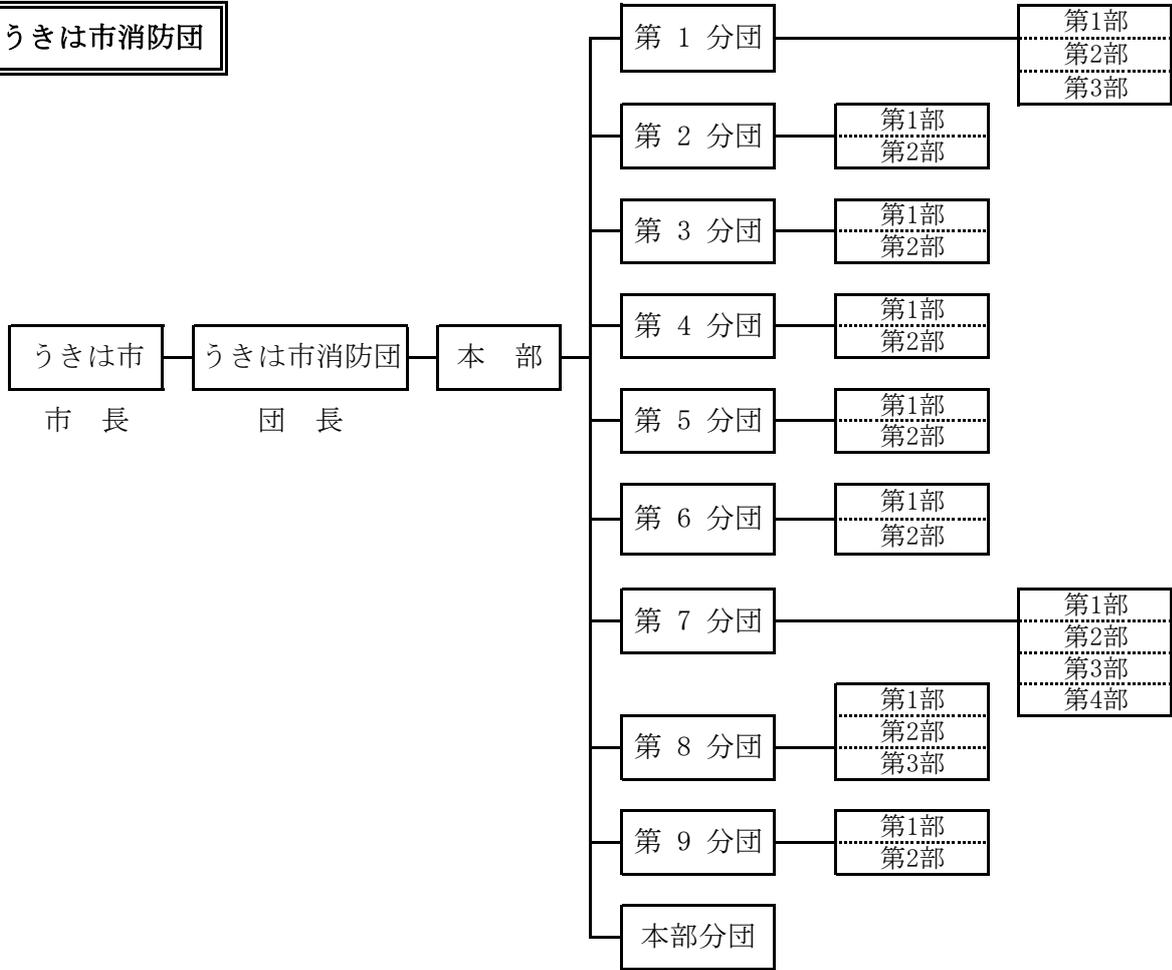
大川市消防団



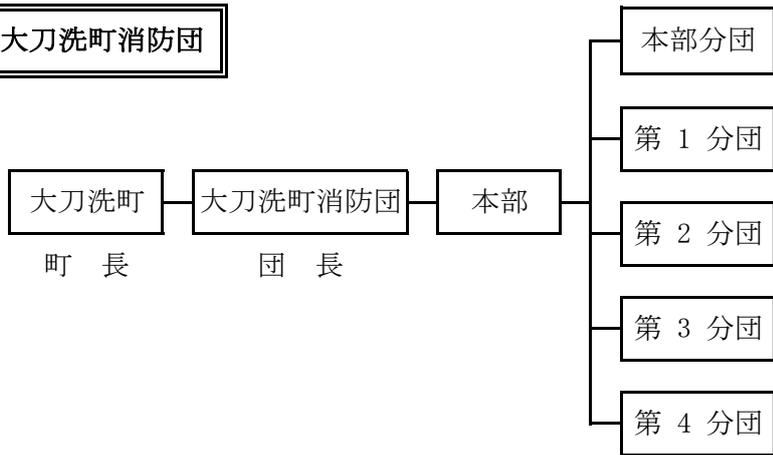
小郡市消防団



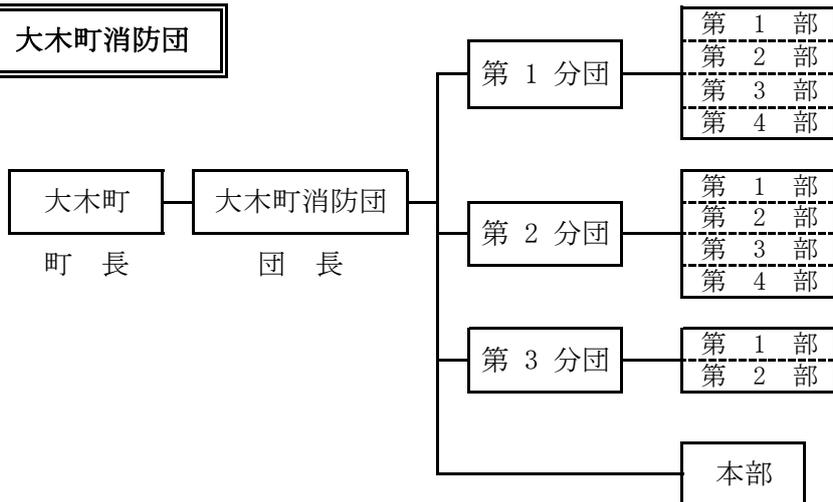
うきは市消防団



大刀洗町消防団



大木町消防団





消 防 年 報  
(令和2年版)

発行日  
発行者

令和3年8月  
久留米広域消防本部  
久留米市東櫛原町999番地1  
T E L 0942(38) 5151